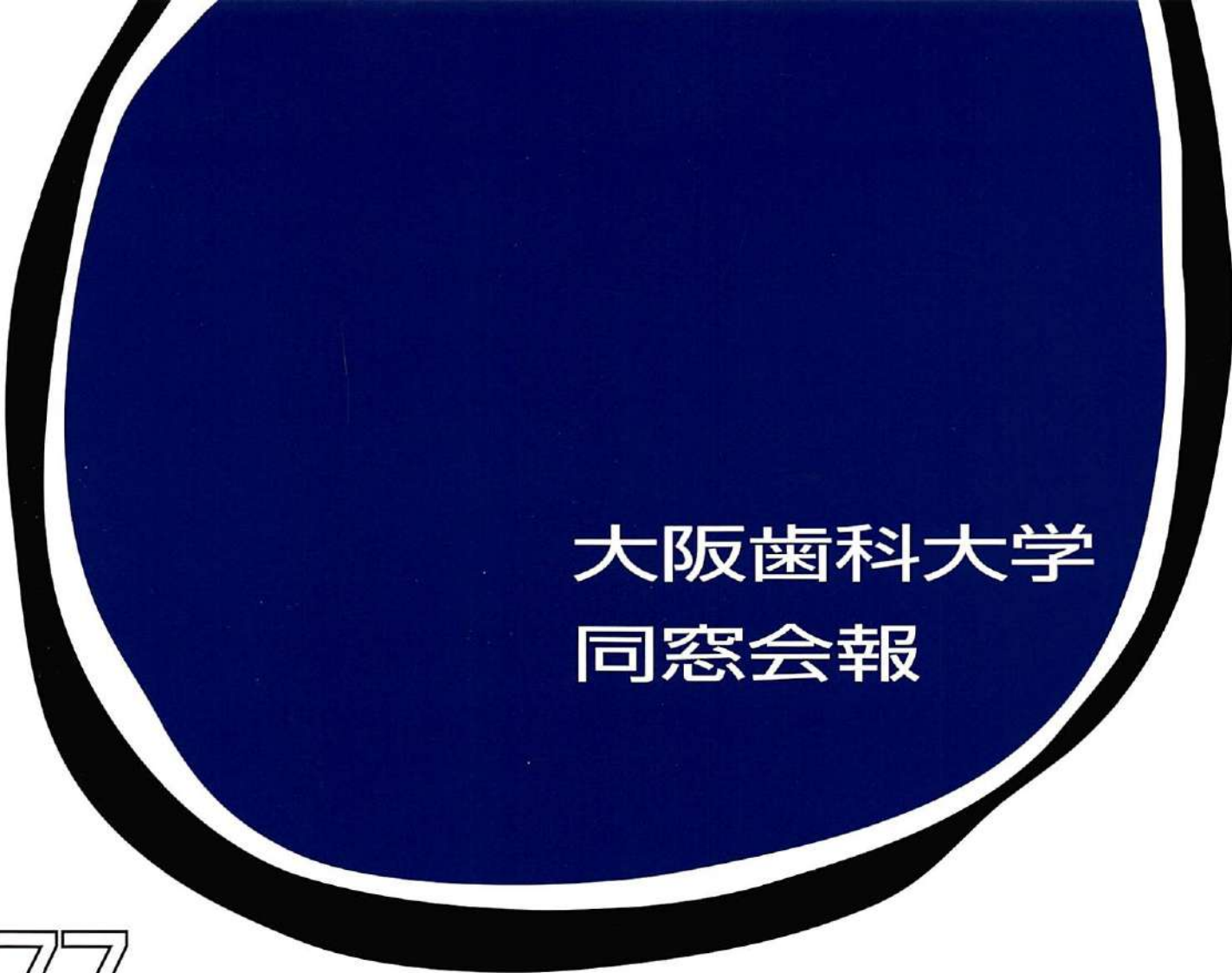




大阪歯科大学 同窓会報

177
2008
冬

年頭所感

第16回 全国同窓会会員大会

故今井久夫理事長・学長 大学葬
歯科臨床とニューロサイエンス

目 次

年頭所感 三谷会長	2
新年挨拶 川添理事長・学長	3
第16回全国同窓会会員大会	4
故今井理事長・学長 大学葬	18
平成19年度 大阪歯科学会大会・同窓会学術研修会	21
[学術] 歯科臨床とニューロサイエンス	25
支部だより	40
滋賀県 香川県 高知県 佐賀県 長崎県	
クラス会だより	44
専15 専21 専22 専23 専27 専29	
専30 専32	
大 2 大 5 大 6 大 7 大 8 大 9	
大10 大12 大14 大15 大16 大19	
大21 大25 大27 大28	
紫媛会 漕艇部松籟会 相撲部OB会	
ラグビー部OB会	
学内ニュース	78
学位取得者紹介	82
2007年版 同窓会会員名簿訂正表	83
編集後記	89

年頭所感



大阪歯科大学同窓会会長 三谷 卓

平成20年は十二支の干支頭である戊子の年でありますので、会員の皆様におかれましてはご家族共々、新たな気持ちでご健勝に新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

年頭にあたり願うところは皆様ご家族の安全平穩、ご発展であります。

昨年は歯科界全体にとりまして大変不本意な一年でありましたが、本年は医療費改定の年として過去の理不尽な改定をどう修正するか歯科医として大変関心のあるところであります。これ以上の抑制は医療格差そのものであり忍耐の限度であります。歯科にとりましては健康生活維持のための医療として、生命力、体力維持の医療としての評価を得られるように視点を変えていかねばならないところであります。

さて昨年10月20日の全国大会には全国から多数の同窓がご参加頂き、盛会裡に開催できましたが、これはまさに会員の熱意の結集であり大学・同窓会が一体となったパワーを感じたところです。早朝からの星野氏の講演にもかつてない感動がありましたが、式典・懇親会を通じて同窓会としての意志の伝承を込めたものになりました。このことは参加して頂いた会員の皆様と、準備にあたられた役員皆様の同窓会愛の賜物と心から感謝申し上げます。

大学にとりましては受験者数の減少は最も厳しい事柄であります。ここ数年本学も歯科界の閉塞感と少子化に加えていろいろの課題のなかで入学志望者が減少の傾向にあります。一方で学内改革に向けて改善の取り組みが進みつつありますが、総合的な改革はこれからであります。同窓会は大学発展のための支援を目的の一つとしていますので、受験生確保のための協力が是非とも必要になってくると思います。また文科省、私学協会等でも今後の大学の在り方について真剣な論議がなされていますが、この情勢が続くなかで大学間の競争、歯科大学の存続にかかる危機感はこの一、二年で表面化してくると思われます。教育機関であるのであまり経営を考えることは好ましくないとの従来の意見もありますが、大局的な視点に立って我が校がこれにどう対応するべきか、今後の舵取りを新しく就任された川添理事長・学長に期待するところであります。

同窓会活動としては佐川前会長の後を受け、この二年間同窓会の活性化に努めてまいりました。とくに各府県ならびに学年同窓会を通じて関係情報の開示と会員各位のご意見の聴取に努めてきました。同窓会がどうあるべきか、大学への希望・要望の窓口としても、さまざまなご意見を頂きましたのでより良い方向に反映して参りたく思います。

いよいよ大学創立100周年に向けて準備に入らねばなりません。100周年は創立以来の大きな祭典であります。それに相応しい理念と体制が必要であります。大学は委員会が発足し基本構想が出来ていますので、我々同窓会はこれに呼応しながら多くの会員が参加できる大会になるよう準備を始めなければなりません。第16回全国大会が活気ある雰囲気で開催できたことは、100周年に向けての足掛りとなり、意義ある100周年記念第17回全国大会が開催できると確信を致しております。

歯科界がさらに厳しさを増す中ではありますが、新しい年に向けて自己改革と心の余裕と健康を維持し、希望を持って連帯して歩み続けましょう。

皆様のご発展とご多幸を祈念して新年のご挨拶と致します。

新年のご挨拶



大阪歯科大学理事長・学長 川添 堯 彬

新年明けましておめでとうございます。

全国同窓会の皆様方へこの立場から初めてご挨拶申し上げます。私、昨年10月1日に本学の学長を拝命し、続いて同月25日に理事長を拝命致しました。もとより浅学菲才の未熟者でございますが、97年の伝統ある母校大阪歯科大学の責任ある職位として、この上ない榮譽とともに重責を痛感しております。諸所万端に皆様方のご助力を頂きながら精一杯この職務に務めてまいる覚悟でございます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

本年は、平成20年戊子（つちのえね）歳であり、十干の戊は変化して成る、十二支の子は種子の芽生え・胎児ができるの字義があるといわれます。近時歯科界や本学を取り巻く状況はどの側面を見ても厳しいものばかりで著しい逆境にあると思われれます。しかしここを何とか脱却して克服しなければなりません。このような苦境の今年こそ、思い切った変革・改革を果たして積極的になるのが良いのかも知れません。

本学にとって今最も果たさなければならない大きな課題は、「国試合格率向上策」と「本学受験志願者の増加策」であると認識しています。前者の国試合格率向上策は、確かに重大問題と受け止めているのですが、本学過去10年間以上の低迷した成績を見ても改善の易しいものでないことはお分かりのことと思います。ここでは詳述できませんがいくつかの確かな原因はすでに分析して把握していますので、本年から教授会、理事会および教職員などのご理解とご協力を得ながら、順次改革、実施していきたくと決意しています。また、後者の「受験志願者の増加策」も国試合格率と深く関連しますので、同窓の先生方のご協力をお願いをはじめオープンキャンパス、高校・受験予備校への訪問など種々の方策を実施したいと思ひます。

最近のいつときも眼を離せない本学および周囲状況により、理事会で検討を行っている審議事項は、格段に項目数も多くなっており、内容的にも重くなっています。中でも大学および関連施設の財務・財政に関する状況と諸問題は重要ですので、慎重に審議を重ねています。これからの課題は、各施設部門ごとの収支会計を出来るだけ独立的に把握する必要があるため、この面に改革的方法を導入、実施する必要があります。

今から3年後の平成23（2011）年に本学は、1911年以来100年目にあたり創立100周年を迎えますので「創立100周年記念行事企画委員会」を発足させました。これを中心に企画を進め、理事会、教授会、同窓の連携協力態勢で実施に向けたいと思ひます。全国の同窓の先生方からのご意見・ご要望を奮ってお寄せ頂きたいと存じます。さらに翌年の平成24（2012）年に「第22回日本歯科医学会総会」が本学を主幹校として大阪で開催されることが決まりました。これもあわせて、同窓会の皆様にご協力を願うこととなりますのでよろしくお願い致します。

歯科界の逆風や18歳人口の減少などに伴って、歯科大学という単科大学の財政基盤は危機に瀕するといわれますように、歯学部受験志願者の減少と入学定員の10%削減が、現実問題となって襲ってきました。これらは、単科大学の財政を圧迫し、歯学生の質の低下、国試合格率低下の悪循環を招きます。そこで本学受験倍率を少しでも向上させることが最重要課題となります。同窓会に最も大きく希望することは、一人でも多く本学受験を勧めて頂きたいこととあります。当然本学としましても、授業料の減額や国試合格率の向上に対しては、最大の努力を払っていきたくと存じます。

同窓会の皆様方、本年もどうぞよろしくお願い致します。

第16回全国同窓会会員大会

叡智と英断 ― 誇りある発展のために ―
1,500名大阪に集結！



日時 平成19年10月20日(土)

場所 リーガロイヤルホテル

式典 午前11時

「叡智と英断 ― 誇りある発展のために」

司会 同窓会専務理事 生駒 等
アナウンサー 三島栄実子

開式のことば

同窓会副会長 権田 悦通

物故会員に対する黙祷

式 辞

同窓会会長・大会会長 三谷 卓

来賓紹介

来賓祝辞

大阪歯科大学理事長職務代行 村上 勝
大阪歯科大学学長 川添 堯彬
日本歯科医師会会長 大久保満男
全国歯科大学・歯学部同窓会・校友会代表 光安 一夫
日本歯科大学校友会会長
参議院議員 石井みどり

祝電披露

閉式のことば

同窓会副会長 白神 進

式典



式辞 会長・大会会長 三谷 卓



開式のことば 副会長 権田悦通



開式のことば 副会長 白神 進



司会 専務理事 生駒 等

平成19年10月20日(土)、第16回全国会員大会を「叡智と英断—誇りある発展のために—」をテーマに掲げて、大阪のリーガロイヤルホテルにて開催された。大学関係、歯科医師会、全国同窓会・校友会代表者等の来賓と、多数の同窓会会員および家族など、1,500名を超える参加者を得た。

この会員大会は2011年の大学創立100周年に向けての前段階として位置付けられていたが、予想をはるかに超える盛大な大会となった。

式典に先立って行われた星野仙一氏の講演が少しのびたが、式典は11時から生駒専務理事の司会

で進められ、権田副会長の開会のことばで始まり、物故者会員への黙祷に続き三谷会長が式辞を述べられた。その中で、多数の会員が参加してくれたことに対し、母校愛・同窓会愛があればこそと思うと、感謝の意を表された。またこの大会を期に先人への感謝と大学発展への願いを新たにしたい、100周年に向けて真実の誇りある発展を両手に握りしめようと、呼びかけられた。

その後、来賓の祝辞等があり、白神副会長の閉会のことばで終了した。

その後、光琳の間で懇親会が催された。

来賓祝辞



理事長職務代行 村上 勝



学長 川添亮彬



日本歯科医師会常務理事 太田謙司
(日本歯科医師会会長 大久保満男 代理)



全国歯科大学・歯学部同窓会・
校友会代表 光安一夫



参議院議員 石井みどり

懇親会

懇親会 午後0時30分

司会 大阪府同窓会専務理事 恩田 信雄
アナウンサー 三島栄実子

開宴のことば

大阪府同窓会副会長 井上 武

乾 杯

アトラクション

ジャズライブ 大塚善章クインテット

学歌斉唱

閉宴のことば

大阪府同窓会副会長 小野 勝
大会準備委員長



司会 大阪府専務理事 恩田信雄

開宴



開演のことば 大阪府副会長 井上 武



乾杯 名誉学長 古跡養之眞





和やかに





ジャズライブ 大塚善章クインテット





学歌・閉宴



閉宴のことば
大阪府副会長・大会準備委員長 小野 勝



学歌斉唱



星野仙一監督大いに語る！

—北京オリンピック・アジア予選を前にして—

指導者とは何か



講演会 午前10時

司会 同窓会専務理事 生駒 等
アナウンサー 三島栄実子

開会のことば

大阪府同窓会副会長
大会準備委員長 小野 勝

記念講演

講師 星野 仙一氏
(阪神タイガース
オーナー付シニアディレクター)

お礼のことば

同窓会会長
大会会長 三谷 卓

式典に先立ち、阪神タイガース オーナー付シニアディレクターの星野仙一氏が記念講演を行った。

午前10時と早い開始にもかかわらず、全国からの会員の来場で満席となるという喜ばしい出だしとなった。

星野氏は阪神監督時代、北京オリンピック出場にかける思いなどを語るとともに、指導者の役割とはいかなるものかについて、ユーモアを交えて話された。

予定の時間を大幅に超える氏の情熱あふれる講演に対し、また北京オリンピック出場予選の勝利を祈念して、会場から盛大な拍手が送られた。

式 辞

同窓会会長
大会会長 三谷 卓

第16回全国会員大会を開催致しましたところ、ご来賓の日本歯科医師会大久保会長をはじめ各歯科大学・歯学部同窓会光安一夫会長、参議院石井みどり議員、母校より川添学長、村上理事長代行、大学法人役員の方々、教授・名誉教授の先生方、並びに全国の各大学でご活躍されてきた同窓の教授の各位におかれましては、公私とも何かとご多忙のところご臨席賜り、大会に錦上添花を添えて頂きまことに有難うございます。

また、全国からご出席の会員の皆様には、歯科界のたいへん厳しい経済状況の中、遠路を厭わず多数の皆様にご参加頂き、また大会当番県の大阪府の方々には、準備のためにいろいろとご苦勞頂き心から感謝申し上げます。まさに母校愛であり、同窓会愛があればこそです。

わが校は2011年に100周年を迎えますが、今まで1万5,200余名の卒業生を輩出してまいりました。大学史によりますと、創設された明治44年より幾度かの苦難を乗り越えて発展してきました。しかしその道のりは決して順調ではありませんでしたが、幸運に恵まれ今日を迎えたといえます。その幸運とは、三つの要因があった、すなわち、関西・西日本で唯一の歯科大学であったこと。二つ目は歴代教学の先生方の叡智であります。そして三つ目は同窓の結束した母校愛です。この三本の柱に支えられてきたと思います。

我々にとりましては、卒業してきた時代はちがっておりましても、同じ学窓に青春を過ごした思いが同窓の大きな絆です。そこには先輩への尊敬があり、後輩への期待と励ましがあります。この大会を機に、先人への感謝と今後の大学の発展への願いを新たにします。

この数年、各大学を取り巻く環境は厳しくなり、少子化・多様化の中で存立をかけた競争が厳しく

なると予想されております。即ち、大学力が問われてまいります。過剰といわれている歯科大学は、急速にその渦に巻き込まれるだろうと皆様も危機感を持っておられると思います。大学のみならず歯科界そのものが競争、淘汰の時代に入ってきています。ダーウィンの進化論ではありませんが、生き残れるものは強いものではなく、変化に順応する能力のあるものと言っております。強さも兼ねながら誇りある発展を続け、我々自身も自己改革し、叡智をもって苦境を乗り越えていかなければなりません。

母校は今、新しく川添学長が就任されました。心よりお祝い申し上げますとともに、これからのご活躍を期待するところであります。同窓会としても、大学のこれからの改革のために、今まで以上に結束して支援していかなければならないと決意するところです。

本日は星野監督のご講演を聴くことができました。苦しい監督生活の中で、強い意志と気配りをしながら成果をあげてこられたご経験をお聞きし、大いに勇気づけられました。

我々は母校から多くのものをもらってきました。これからの母校の発展のために同窓会の支援が不可欠となってまいります。その中心になるのは今日ご出席の皆様です。100周年に向けて真実の誇りある発展を皆さんの両手に握り締めようではありませんか。

最後になりましたが、大学改革の第一歩を踏み出し同窓会会合に常に出席して頂いた故今井前学長ののご冥福を祈り、また佐川前同窓会会長・元理事長のご病気のご快癒を願い、併せて本日ご出席の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、式辞と致します。

祝 辞

大阪歯科大学理事長職務代行 村上 勝

会長のご挨拶にもございましたように、今井理事長が8月16日に急逝されました。その後、大学葬も行いました。少し落ち着いてきてはおりますが、まだ理事長が決まっておりませんので、私が一応、職務代行ということで、今その職に就かせて頂いているところです。こういう時期でございますので、同窓の皆様方の積極的なお力添えを頂き、大学改革のためにご協力を賜りたいと存じているところです。

今、大阪歯科大学に限らず全国の歯科大学すべてそうだと思いますが、内憂外患と申しますか、大変な時期を迎えております。例えば大阪歯科大学をとりますと、経費の面で非常に支出が高まっています。経営を圧迫していることは事実です。

一方、外の方で見ますと18歳人口が非常に減少しています。この減少はこれから先も続いていく予定です。今、150万人から140万人といわれる18歳人口が、ここ10年、20年の間に120万人に、あるいは20年後には100万人を切って96万人になるという数字も出ています。

こういう時代ですので、私共も大学のイメージアップに努め、そして一般の社会の方々から大阪歯科大学を志向して歯科医になられる方が増えることを期待しております。その基本になるところ

は、本日ご出席頂いている同窓の先生方をはじめ、全国の8,000有余の同窓生の方々、あるいはそのご子弟です。これからご子弟が歯科大学にお入りになるのであれば、すべての先生方のご子弟が大阪歯科大学を受験して頂くことをお願い申し上げたいと存ずるところです。

我々が大阪歯科大学のイメージをアップしなければ、他の大学を受験する方々が増えるかもしれません。それでは困るのです。そのためには、一般社会で一番分かりやすい、国家試験の合格率を上げるということが必要かと思えます。今回、新しく就任された川添学長は、決意として国家試験の合格率を上げる、そのためには入学者の質の向上を図る、ということを言明しておられます。私共も学長を支え、大学の質を上げるために、そして国家試験の合格率を上げて地域社会に高い評価を頂くために頑張っていかなければいけないと思っています。

今後とも同窓の皆様方、全国の皆様方にお力添えを頂戴できますようお願い致しまして、本日の第16回全国同窓会会員大会が成功裏に終わりますことを祈念して、ご挨拶にかえさせていただきます。本日はおめでとうございます。

祝 辞

大阪歯科大学学長 川添 堯彬

このたび新しく、母校大阪歯科大学の学長を拝命致しました川添と申します。極めて若輩で浅学非才の身ですが、この母校大阪歯科大学のために粉骨砕身、全身全霊でこれから職務に当たりたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。大変高い所からでございますが、一言、本日のお祝いと御礼を申し上げさせていただきます。

まずもって、ご多忙の中、万障繰り合わせて遠

路よりご臨席下さいました光安先生、石川みどり先生、日本歯科医師会の太田先生をはじめ、多数の内外のご来賓の方々に厚く御礼申し上げます。また、全国同窓会各支部の会員諸兄、ご家族の皆様方にはとくに有難く存じております。

母校大阪歯科大学は、間もなく100周年になろうとする歴史の中で、多くの同窓生、先輩諸氏の社会におけるご活躍、ご尽力のお陰で今日の誇り

ある伝統を築いてまいりました。そこには強い絆で結ばれた会員相互の団結力によって、まさしく叡智と英断を発揮できたことは間違いないことと確信しております。

今、大学、特に歯科大学に対して、取り巻く環境は大変厳しいものがございます。本学におきましても例外とは申せません。私は学長として、これからこの歴史ある母校に対して改革を行おうと思っております。詳しくは来年正月の互礼会で発表させていただきますが、まずは亡くなられた今井理事長・学長の立てられた基本計画に沿った改革を踏襲する一方、特に教学においては、学生の質を上げていかなければこれからの学術界全体に太刀打ちできないでしょう。もちろん、同窓の先生方の子弟に大勢受験して頂きたいという中であって、一定の基準の学力をキープすることと、学生

だけでなく教員の質の向上も同時に再評価していかなければならないと思います。できるだけ早く教員評価の項目を実施するべく、今、計画中でございます。もう一つは、財政的なことですが、簡単には経費をできるだけ削減して効率化を図ると同時に、これから学生数を減らさざるを得ない事態になっても、十分な教育ができるような財政基盤を作り、理事長職務代行と力を合わせて運営に努めてまいりたいと思います。時間の関係もありますので詳しくは申せませんが、やはり最後は同窓会の会員諸氏からの母校に対しての温かいご支援を今後とも賜りますよう、そして母校のために同窓会の会員の先生方が共にご活躍、ご尽力して頂きたいとお願いを申し上げまして、簡単ではございますがご挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。

祝 辞

日本歯科医師会会長 大久保満男

(代読 日本歯科医師会常務理事 太田謙司)

大阪歯科大学の第16回全国会員大会、まことにおめでとうございます。日本歯科医師会から大久保会長が参りまして親しくご挨拶を申し上げるところでございますが、本日は日本歯科医師会の会務のためにどうしても来られないということで祝辞を預かっておりますので、述べさせていただきますと思います。

祝 辞

本日第16回大阪歯科大学全国同窓会会員大会の開催にあたり、日本歯科医師会を代表して一言お祝いを申し上げます。

まずもって、全国同窓会会員大会が盛大に開催されましたことを、心よりお祝い申し上げます。また、平素の日本歯科医師会に対する先生方並びに貴会の温かいご支援に対しまして心より感謝を申し上げます。本来ならば出席させて頂きお祝いを申し上げるべきではありますが、本日は川崎市におきまして十二大都市歯科医師会役員連絡協議会が開催されておりますので、出席ができません。心よりお詫びを申し上げます。

ここで私が申し上げるまでもなく、大阪歯科大学は、わが国の歯科教育の歴史の中で多大なご功績をあげられました歯科大学であります。従って、その卒業生によって組織される大阪歯科大学同窓会は、わが国の歯科界の発展のために大きな役割を果たされました。そのことに私は深い敬意と厚い感謝を申し上げる次第でございます。

今、わが国の歯科医療は近年の医療費抑制策によって、まさに崩壊の道を歩みつつあります。さらに国の医療保険制度に不満や批判があっても、しかし我々の犠牲的な精神によって地域の歯科医療の現場を見守ってきた診療所を切り捨てるが如きレセプトオンライン義務化のような、国民の生命と健康を守るといふ国家の最も大きな責務を捨て去るが如きこれらの政策に我々は断固として抵抗し、我々が歯科医療という職務に誇りを持って日々診療に従事できるような環境を、一刻も早く取り戻さなければなりません。そのために、日本歯科医師会は先生方のご支援を得て、全身全霊を込めて邁進致す所存でございます。どうかご理解

を頂き、大きなお力をお寄せ頂きたくお願いを申し上げますとともに、さらに本日の大会が先生方にとって有意義なものであることを祈念申し上げ、私の祝辞とさせていただきます。

平成19年10月20日

日本歯科医師会会長 大久保満男

代読 太田 謙司

本日はおめでとうございます。

祝 辞

全国歯科大学・歯学部同窓会・校友会代表

日本歯科大学校友会会長 光安 一夫

全国の歯科大学・歯学部同窓会・校友会を代表致しまして一言お祝いの言葉を述べさせていただきますと思います。

このたびは第16回全国同窓会会員大会が盛大に開催されまして、まことにありがとうございました。私共、全国の歯科大学・歯学部の同窓会・校友会では、大阪歯科大学のように3年に1回会員大会を開くということはとても想像できません。せめて10年に1回ぐらいこのような大会を開くというのが、せめてもの私共の今までのあり方だと思っておりました。3年に1回会員大会を開催するということは、同窓会の役員の先生方のご努力もさることながら、大勢の先生方がこのようにお集まりになるという熱意をひしひしと感じしているところです。敬意を表したいと思います。

このたびは川添学長をお迎えになり、大阪歯科大学の同窓会もさらに充実して、100周年に向かってご努力をされるということでございましょう。私共もぜひ見習って、今後も私共の参考にさせて頂ければと思っているところでございます。

思い起こせば、奥野喜一同窓会会長のときから村上先生、佐川先生、三谷先生と、各会長には大変お世話になりました。ある時にはご指導頂いたり、ご忠言を頂いたり、あるいは示唆を頂いてまいりました。私共同窓会・校友会も、それなりに少しずつではありますが、力を蓄えていくことができました。ここに併せて御礼を申し上げたいと思っております。

少し口幅ったいことですが、2月の社会保障審議会、歯科のあり方についてのご提言が記載されておりました。口腔ケアの重要性については、これから生きる力に、口腔の機能向上も含めて大

変重要だということが言われました。特別部会でこのことが提言され、おそらく中医協で十分議論されて来年の改定に目の目を見ることになるかと思っています。

考えてみれば、私共の需給問題も真っ暗闇の中に入ってしまった、どこに出口があるのかよく分からないという状況です。東京では各医療機関のレセプトもだんだん少なくなってきた、というようなことも言われておりまして、来年の診療報酬改定の中で後期高齢者の歯科訪問診療が恐らく浮上してくるだろうと思っているわけです。その際、日本歯科医師会におかれましては、この運用のあり方について私共にも十分理解できるような方策をとって頂くのはもちろんですが、私共会員に対してそのことの理念をお示し頂けるだろうと考えております。

私共同窓会・校友会は、そういう点では私共の所属している会の会合の時には、日本歯科医師会の理念を会員として理解して頂くように私共も努力する必要があるかと考えており、同窓会・校友会も日本歯科医師会を支えているという点で大きな力になろうかと自負しているところです。

私共は大阪歯科大学同窓会には大変お世話になりましたが、今後とも三谷会長には変わらぬご指導を賜りますようお願いを申し上げたいと思っております。最後になりましたが、本日ご参集頂いております会員の先生方のご健勝とご多幸を祈念致しまして、さらに大阪歯科大学がますます発展し、同じく同窓会もご繁栄を極められますように、心から祈念致しまして、粗辞ではございますがお祝いの言葉にさせていただきます。本日はおめでとうございます。

祝辞

参議院議員 石井みどり

本日は大阪歯科大学同窓会第16回全国同窓会会員大会が、かくも盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。また、私もお招きを賜りましたことを心から御礼申し上げます。

私事で大変恐縮でございますが、去る7月29日に投開票されました第21回参議院議員通常選挙におきまして、無事職域代表として当選を果たすことができました。これは大阪歯科大学同窓会の先生方の大きな大きなお力添えのお陰で、無事当選することができました。公職選挙法の関係上、お礼の文書、ファックス、メールができませんでした。本席をお借り致しましてお礼を申し上げる機会が頂けましたことを感謝申し上げ、お礼を言わせて頂きたいと存じます。ありがとうございました。

高い壇上からお礼を申し上げるといふ失礼をしてしまいました。先生方から賜りました熱いご支援にお応えする道はただ一つです。冒頭の三谷会長の式辞の中にありました、まさに今、未曾有の苦難に直面しているこの歯科界を、少しでも未来の展望の開ける明るい歯科界にしていくこと。まず何よりも今、本当に苦しい診療環境で最善の努力をしておられる先生方の、その診療環境を少しでも改善し、そして経営を脅かしている診療報酬のマイナス改訂の痛手をいくらかでも回復していく。そのために永田町で全力を尽くして働いていくことだと思っております。

現在、第187回臨時国会が開会中です。やっと国会運営も軌道に乗ってまいりましたが、私は現在、自民党が第二党になっている参議院に所属しておりますが、国会運営は未踏の、まさに何が起

こるかわからない状況で日々運営されています。来週からやっと厚生労働委員会も始まります。火曜日に舩添大臣の所信、あるいはご挨拶がございます。そして木曜日には大臣の挨拶、総括質問が行われる予定です。

新人議員ですが、できるだけ歯科界の代表として声を上げていきたい。そして多くの政治家の力を結集してネットワークを作り歯科界の力を永田町に見せ、何としても年末に向けて来年度予算の獲得、また来春の診療報酬改定のプラス改定に持っていく、歯科の医療費の総枠を拡大する、そのために身命を賭して働かせて頂くことをお誓い申し上げます。何としても、日本の歯科医療を支えているこの歴史と伝統のある大阪歯科大学同窓会の先生方が、ますます日本全国の国民の方々のために活躍して頂ける体制を作っていくことこそが、私の使命と心得ております。

厳しい大学運営の中にありまして、新しく川添学長をはじめとし、また三谷同窓会長を先頭に、大阪歯科大学同窓会が叡智と英断という素晴らしいテーマを掲げられ、そして誇りある発展のためという、さらに100周年という輝かしい飛翔に向けて発展されますことを心からご祈念申し上げます。

最後になりましたが、本日ご参集の先生方のますますのご活躍と、そしてご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、併せて政治家石井みどりに対しましても更なるご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。お祝いの言葉、と申しますより、お礼とお願いの言葉とさせていただきます。本日はまことにおめでとうございました。

故 今井久夫 理事長・学長 学校法人 大阪歯科大学葬



葬送の辞

葬儀委員長
学校法人大阪歯科大学理事長職務代行
村上 勝

今井理事長・学長の遺影を前に、葬儀委員長としてここに一言葬送の辞を述べさせていただきます。

今井先生が、平成19年8月16日夕刻に亡くなられて、早くも一カ月となります。時を経ることに、お顔を拝見することやお話しすることができないことへの喪失と深い悲しみをかみしめております。

先生は昭和13年6月15日、大阪府に生まれ、昭和38年3月大阪歯科大学を卒業、同年5月には、助手として教員生活をスタートされました。その後、助手、講師、助教授を経て、平成7年8月に本学歯周病学講座教授に就任されました。平成12年5月には附属病院長に、そして平成16年9月には学長となり、学生のためにモットーにカリキュラムの改革、教員の資質向上など積極的に推進してまいられました。平成18年4月、理事長に就任されてからは、教学と経営の両面からリーダーシップを発揮され、常に学生、教職員、法人役員の先頭に立って多大の貢献をされました。

学長就任早々の平成16年9月、本学広報誌の中で、先生は、「立派でなくても慕われる学長を目

指して」と題する一文で、次のように述べられておられます。「本学教職員すべての方々から慕われ、親しまれる、開かれた学長を目指してがんばりたく考えております」。先生はまさにこの文章の通り、開かれた学長として、学内外を問わず、誰からも信頼され、高潔無比、かつ謙虚な人格者でありました。なぜこのような逸材をこの時期に失わねばならないのか、運命の過酷な現実に悲しみは止まるところがありません。

学長職、理事長職として、誠実に職務を遂行されていた矢先、本年1月23日、体調を崩されて入院を余儀なくなされました。しかし、その後も病室にパソコンを持ち込まれ、本学のさまざまな諸課題解決案を作成されました。本学の平成18年度事業報告、平成19年度事業計画も、先生のまさに心血を注いだ力作であります。そして5月には退院され、理事会、教授会にも元気なお姿を見ることができ、本当に安堵を致しました。しかしその後再度入院となり、心配をしていたところ、急逝をされました。

人間はその生命が終わる瞬間に、人生のすべての出来事を走馬燈のように見ることができるとよく言われています。病室で、奥様とご家族に看取られ、その生涯を終わるその時に、先生の目にはいったいどのような情景が去来したことでありま



「一 齒 一 歩」

故 今井久夫理事長・学長の座右の銘

平成19年 9 月16日(日) 午後2 時
於 大阪歯科大学楠葉学舎講堂

式 次 第

開 式
黙 祷
葬送の辞

葬儀委員長
大阪歯科大学理事長職務代行 村上 勝

弔 辞

大阪府知事 太田房江
日本歯科医学会会長 江藤一洋
日本私立大学協会会長 大沼 淳
日本私立歯科大学協会会長 中原 泉
大阪歯科大学同窓会会長 三谷 卓

弔電紹介

挨 拶

葬儀副委員長
大阪歯科大学常務理事 新田 孟

献 花
閉 式

しょう。学生たちに人気の先生でしたから、質問にもていねいにお答え頂いたのではないかと思います。学生からの質問攻めにあったある日の講義風景だったのでしょうか。先生は患者様にとってとても人気があり、ユーモアのこもった語り口で日頃診察されていたと思います。もしかしたら、先生のファンの患者様に対する心のこもった治療情景だったかもしれません。もう先生に対して何を問いかけてもお返事がないことはわかっていながら、つい問いかけてしまう気持ちに立たれてしまいます。今先生が傍らにおられたらどんなにか心強いことでしょう。かなわないこととは知りつ

つ、今一度励ましの言葉をかけてほしいとの念に駆られております。しかし悲しみは絶対に乗り越えなければなりません。なぜなら、私たちは先生が見ることのできなかったこれからの未来に生きていくからであります。本日この時から、先生のご遺影を前に、未来に向かって大阪歯科大学のますますの発展を期することを強くお誓い申し上げます。どうかいつまでも見守っていて下さい。我々の心の中に、先生は生きています。

ここに今井先生を偲びつつ、心から尊敬と感謝を捧げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げ、葬送の辞の結びと致します。



略 歴

昭和13年 6月15日 大阪府にて出生
昭和38年 3月 大阪歯科大学卒業
昭和38年 5月 大阪歯科大学副手
昭和39年 4月 大阪歯科大学助手
昭和44年 4月 大阪歯科大学大学院助手
昭和45年10月 大阪歯科大学講師
昭和45年11月 大阪歯科大学大学院講師
昭和47年 3月 歯学博士（大阪歯科大学）
昭和47年 4月 大阪歯科大学助教授（歯周病学講座）
昭和47年 5月 大阪歯科大学大学院助教授
平成 7年 8月 大阪歯科大学教授（歯周病学講座）
平成 7年 9月 大阪歯科大学大学院教授（歯周病学）
平成 9年 4月 大阪歯科大学附属病院 副病院長
平成12年 9月 大阪歯科大学附属病院 病院長
平成13年 4月 学校法人大阪歯科大学理事
平成16年 9月 大阪歯科大学学長
平成16年11月 学校法人大阪歯科大学常務理事
平成16年12月 学校法人大阪歯科大学評議員
平成17年 9月 学校法人大阪歯科大学理事長職務代行
平成18年 3月 定年退任
平成18年 4月 大阪歯科大学名誉教授
平成18年 4月 学校法人大阪歯科大学理事長
平成19年 8月16日 逝去（69歳）

主な社会活動

昭和46年 4月 日本歯周病学会評議員
昭和46年 4月 日本歯科保存学会評議員
昭和47年 2月 大阪歯科学会評議員
平成 7年 8月 大阪歯科学会理事
平成 7年10月 日本歯周病学会理事
平成 8年 4月 日本歯科保存学会理事
平成 9年 4月 日本歯周病学会常任理事
平成13年 4月 日本口腔衛生学会評議員
平成13年 6月 日本歯科医学教育学会評議員
平成14年 1月 大阪歯科学会監事
平成17年 7月 日本歯科医学教育学会理事
平成18年 4月 日本再生歯科医学会理事
平成18年 5月 特定非営利活動法人日本歯科保存学会
名誉会員
平成18年 6月 社団法人日本私立歯科大学協会監事
平成18年 6月 財団法人歯科医療研修振興財団監事
平成19年 2月 日本私立大学協会理事
平成19年 4月 財団法人ライオン歯科衛生研究所理事
平成19年 5月 特定非営利活動法人日本歯周病学会名
誉会員
平成19年 8月 大阪口腔衛生協会顧問

弔 辞

大阪歯科大学同窓会会長 三谷 卓

全国1万有余の会員を代表して、謹んで故今井久夫学長・理事長の御霊に哀悼の誠を捧げます。

先生は、学長、理事長にご就任以来、その役職に精力的に取り組まれ、大学財政の改善、教育の向上のために寸暇を惜しんで真剣に取り組み、努めてこられました。ようやくこれからその成果を見ようとするとき、ご病氣になられ、今ご霊前にあらためて葬送の言葉を申し上げることは、私どもにとってまことに慚愧に耐えない思いであります。先生は常々、同窓会と大学は両者が唇齒輔車の関係にあり、同窓会は大学にとって大きな後ろ盾として結束し、発展することを願ってこられました。全国各地での同窓会の会合には、いつもお元気なお姿で出席され、広く同窓会員との交流に

努めて頂きました。また、少子化、定員削減の中で、各地からの母校への進学を気遣われ、県支部同窓会のためにもご尽力頂きました。学長としてのこの温情とご熱意は、母校を支える根柱であり、会員も広く信頼と期待を寄せていたところであり

ます。思い返せば先生は、ボクシング部での青春、歯周病教室の育成、徳子奥様とのおしどり二人三脚、そして学長としての大輪の花咲く立派な道のりでありました。同じ世代を歩んできたものとして、懐かしさとともに感謝の念でいっぱいであり

ます。今こうして、幽明境を異にしましたが、この上は、ご家族のみなさまへのご加護を賜りますように、また同窓会後輩たちが、先生のご遺志を対し、それぞれの場で活躍発展できますようにお守り下さい。最後のお願いとして、お守り下さることをお願い申し上げます。お別れの言葉と致します。

プレ大阪歯科大学創立100周年記念事業

平成19年度

大阪歯科学会大会
大阪歯科大学同窓会学術研修会
「口腔機能再建への新しい流れ」



大阪歯科学会・大阪歯科大学同窓会 共催

と き 平成19年11月25日(日) 午後1時～4時
と こ ろ 大阪国際会議場
開会のことば 大阪歯科学会会長 神原 正樹
あいさつ 大阪歯科大学理事長 川添 堯彬
大阪歯科大学学長
大阪歯科大学同窓会会長 三谷 卓
司 会 大阪歯科大学同窓会学術部常務理事 加藤 信次
テーマ 口腔機能再建への新しい流れ

1. インプラント治療の新たな潮流

—インプラントによる顎口腔機能と形態の回復—

菅井 敏郎(東京医科歯科大学インプラント治療部臨床教授)
(銀座UCデンタルインプラントセンター所長)

2. 歯周病治療の最前線

—歯周病診断・治療の将来—

伊藤 公一(日本大学歯学部保存学教室歯周病学講座教授)
(日本大学歯学部付属病院院長)

閉会のことば 大阪歯科大学同窓会学術部常務理事 黒川 森夫

秋も深まる11月25日、中之島の大阪国際会議場で開かれた学術研修会は、大学関係者ならびに同窓会会員が多数参加し開催されました。

「口腔機能再建への新しい流れ」というテーマのもと、歯科臨床上、その大きな役割を果たしているインプラント治療および歯周病治療の現在および将来について菅井敏郎、伊藤公一両講師の情熱あふれる講演で、参加者にはまたたく間の3時間であった。

インプラント治療の新たな潮流 —インプラントによる顎口腔機能と形態の回復—

菅井 敏郎

(東京医科歯科大学インプラント治療部臨床教授)
(銀座UCデンタルインプラントセンター所長)



骨結合（オッセオインテグレーション）の概念に基づいたインプラントの臨床応用が開始されて40年以上が経過し、その臨床成績の高いことからインプラント治療は歯科治療の一分野として確立されてきました。そのインプラント治療も、毎年のように発表される新たな製品や技術、さらには患者の要求の高まりから、時代とともに大きな変遷を遂げています。

インプラントの開発当初は、治療の目標として咀嚼機能を中心とした口腔機能回復に主眼がおかれていました。しかしながら今日では、患者のニーズから、より審美性の回復に重点がおかれる傾向にあります。審美性と機能性の両面の回復には、トップダウントリートメントプランニングに基づき、補綴物の形態を予め設計したうえで理想的な位置へのインプラント埋入が求められます。その理想的なインプラントポジショニングのためには既存の骨への埋入では限界があり、埋入部位確保のためにサイナスリフトやベニアグラフト等のさまざまな骨造成法が行われています。

近年では、このようなインプラント治療のための骨造成に、「再生医療、ティッシュエンジニア

リング」という新たな医療技術の応用が試みられ話題となっています。欧米では骨形成に関与するrhPDGFやrhBMP 2が商品化されてインプラント治療に用いられ、我が国では幹細胞を培養した培養骨の臨床研究も進んでいます。また、インプラント治療期間の短縮化や即時荷重も、オッセオインテグレーションのために厳守されてきた原則を破る大きな変化です。さらには、最新のデジタル技術を利用したインプラント用シミュレーションソフトや手術支援ツール等も続々と開発され、インプラント治療をより安全で確実なものへと導く一助となっています。インプラント治療は、患者の要望の高まりとともに、現在最も発展し続けている歯科医療分野の一つといえるでしょう。

今回の講演では、インプラントによる顎口腔機能ならびに形態再建の新たな潮流に関して、最新の技術と知見を網羅しながら解説致します。

略 歴

1978年 松本歯科大学卒業

同 年 大阪大学歯学部口腔外科学第一講座入局

1986年 大阪大学歯学博士

1986年 インディアナ大学歯学部客員研究員
 1989年 松本歯科大学講師
 1990年 UCLA歯学部臨床フェロー
 1992年 UCLA歯学部客員准教授
 1994年 松本歯科大学新宿診療所所長
 1998年 菅井歯科口腔インプラントセンター開設
 大阪大学歯学部、富山医科薬科大学医学部非常勤講師
 2002年 東京医科歯科大学臨床教授
 2006年 銀座UCデンタルインプラントセンター開設

学会活動等
 日本顎顔面インプラント学会 編集委員・理事
 日本アンチエイジング歯科学会 理事
 日本顎顔面補綴学会 評議員
 日本顎咬合学会 評議員・指導医
 日本歯科人間ドック学会 理事
 UCLAインプラントアソシエーションジャパン会長
 再生歯科フォーラム 関東支部長
 Academy of Osseointegration 正会員

歯周病治療の最前線

— 歯周病診断・治療の将来 —

伊藤 公一

(日本大学歯学部保存学教室歯周病学講座教授)
 (日本大学歯学部付属病院院長)



1. はじめに

21世紀になって、再生医療、遺伝子治療、臓器移植などに焦点があてられ、これまで以上に精力的に研究が行われるようになった。歯は乳歯から永久歯に生え変わるが、永久歯が抜去されると、咀嚼、咬合、発音機能を回復するために、ブリッジ、局部床義歯、総義歯、あるいはインプラントに頼らなければならない。これまでの歯科疾患関連の調査報告によれば、歯肉になんらかの所見のあるものは国民の約70%以上にも及んでおり、成人の抜歯原因の約50%以上が歯周病に起因するという。

そこで、本講演では、歯周病治療の現状を概説し、さらに歯周病の検査・診断法および治療法の将来展望について述べてみたい。

2. 歯周病の特徴と治療原則

歯周病である歯肉炎や歯周炎の原因は、プラーク（バイオフィルム）であることが基礎的ならびに臨床的研究によって証明されており、プラーク中の細菌による感染症であることでコンセンサスが得られている。

あらゆる疾病の治療原則は、原因除去療法を基盤とした早期発見、早期治療であり、この基本原則が、歯周病治療にも当てはまる。したがって、歯肉炎については付着喪失や歯槽骨吸収が起こっていないことから、早期発見、早期治療を行うことで完治させることができる。しかし、進行した歯周炎では病変の進行を阻止することが可能であっても、喪失した付着レベルや歯槽骨吸収を正常レベルまで回復することは困難である。

歯周基本治療とは、プラークコントロールを基

盤としたスケーリング、ルートプレーニング (SRP) である。一般的に中等度以上に進行した歯周炎に対して歯周外科手術 (MWF) が適応されている。しかし、SRPおよびMWFによって生じるのは長い上皮性治癒である。この治癒形態は、われわれの最終目標とする再生 (regeneration) とは異なり、いわゆる修復 (repair) による治癒である。

3. 歯周領域における再生療法の変遷と展望

- 1) 骨移植術
- 2) 歯周組織／骨再生誘導法
- 3) エナメルマトリックスタンパク質
- 4) 今後の再生医療
- 5) 期待される検査法と診断法

4. まとめと展望

国民が人生80年の超高齢化社会を迎えるにあたり、生涯丈夫で美しい歯や口の健康を保ち、全体的にも健康でかつ快適で豊かなQOLを送るためには、歯の寿命を短くする最大の原因である歯周病を幼少時から、予防することが極めて大切である。また、歯周病は生活習慣病ともいわれていることから、歯科医師の努力のみでは治療が困難な疾患であり、再生治療を含む歯周病治療に対する患者の理解と協力が不可欠となる。また、歯周病は理想的な原因除去療法を施しにくい疾患であるが、早期発見、早期治療に心がけ、再生療法を含む歯周病治療を行うことで、歯周病の進行を阻止し、歯を保存することが可能となってきた。そのためには、患者個人個人の病態を的確に把握するための検査法や治療法を開発し、患者の歯科医療に適応できるオーダーメイド医療を実現化することが急務であろう。

さらに、最近マウスの胎児歯胚から「上皮細胞」と「間葉細胞」を取り出して培養し、器官原基を

作成した。それをマウスの抜歯窩に移植し、歯を再生させることに東京理科大学の辻 孝助教授 (再生医工学) らの研究グループが成功した。今世紀中には歯周組織再生療法においても、この技法をさらに発展させることで、破壊された歯周組織を完全に再生することは言うに及ばず、欠損部位に歯を再生させる治療法が確立されることが期待できると思われる。

略 歴

1972年 3 月 日本大学歯学部卒業

1976年 3 月 日本大学大学院歯学研究科 (歯科保存学専攻) 修了

1980年11月～1983年 8 月

米国インディアナ大学歯学部留学、
Dr. O'Learyに師事、歯周病専門医
(MSD) の資格取得

1999年 4 月 日本大学教授 (歯周病学担当)

2002年 4 月 日本大学歯学部付属病院長

著書・論文等

歯の健康学 (分担執筆) : 歯周病 岩波新書
2004年

ビッグ・ドクター家庭医学大全科 (分担執筆) :
歯と歯肉の病気 法研 2004年

歯周病と全身の健康を考える (分担執筆) :
第3章1 歯周病の予防 セルフケアによる歯
周病予防—物理的コントロール 医歯薬出版
2004年

学会活動等

日本歯周病学会 理事・専門医・指導医

日本歯科保存学会 理事・保存治療認定医・指導
医

日本歯科教育学会 理事

日本口腔機能水学会 理事・指導医

歯科臨床とニューロサイエンス

—— 歯髄を支配する中脳路核一次ニューロンの発見 ——

九州歯科大学名誉教授

天野 仁一郎

(大歯大 14回卒)

はじめに

昨年3月末、23年間勤務した九州歯科大学を定年退職した。しばらくご無沙汰していた母教室の大阪歯科大学生理学講座を表敬訪問した際、偶然にも本誌編集委員の方と出会い、永年他大学で教育・研究に従事した経験の一端を一文にまとめ、母校の同窓会報に報告するよう求められた。そこで本稿では、九歯大で取り組んだ研究の一端をご報告することにする。

本すじに入る前に、まず簡単な自己紹介をさせて頂く。私は大歯大昭和41（1966）年卒の14回生で、同期の11名が大学院に進んだが、折りしも自民党の『1県1医大』政策にのっとり全国各地に医大・歯大がつぎつぎに新設された。大学院を修了した我々のほとんどは、母校または新設校において教職に就くことができたが、あれから40年近く経った今、母校で理事長・学長を務めている川添亮彬君だけを残して皆定年退職している。

私は大歯大の大学院では生理学を専攻し、指導教授の覚道幸男先生よりストレインゲージを用いた生体力学研究法を教わり、『咬合、咀嚼運動および嚥下運動時の顎骨のひずみ』の論文で歯学博士の学位を得た。大学院を終えて1年間大歯大生理学講座の助手を務めたのち、昭和46（1971）年4月より新設の岐阜歯科大学（現、朝日大学歯学部）の口腔生理学講座へ転出した。

当時大阪大学歯学部には、世界的に認知された和製学問であるOral Physiology（口腔生理学）の創始者、河村洋二郎先生が現職でおられたが、阪大歯学部1回生で永年河村教授の助教授を務められた船越正也先生が岐阜歯大の口腔生理学講座における私の上司となった。カナダ・トロント大学歯学部のセスル（B.J. Sessle）教授の研究室に滞在して、舌筋の痛みの神経経路をネコにおいて

電気生理学的に探索する協同実験に参加した2年間を含めた13年間、船越教授の助教授として微小電極法や筋電図法を駆使して咀嚼運動の中枢神経機構に関する動物実験に従事した。

昭和59（1984）年6月より、全国公募を経て北九州市小倉北区に所在する福岡県立九州歯科大学の口腔科学講座を担当することになった（なお、九歯大は昨年度より公立大学法人にかわっている）。この口腔科学講座は、「咬合・咀嚼機能を総合的に研究し、その研究成果を教育に反映させること」を講座目標に昭和54（1979）年九歯大が独自に創設した基礎系講座の一つであった。しかし、『口腔科学』という講座名は漠然とした意味を人に与え、他大学の先生方はもちろん、学内の先生や学生たちからも口腔科学講座は何を教える講座ですか、と問われ続けてきた。そこで私は、口腔科学講座の英語表記名をDepartment of Oral Neuroscience（和訳：口腔神経科学講座）と改称し、講座目標に定められた咬合・咀嚼の総合的研究を神経科学の局面から開始することにした。

図1は23年間の九歯大在職中に行なった私の研究テーマとその年代を示している。『中脳路核の歯髄支配ニューロン』の研究は、岐阜歯大時代からあたためてきたものであって、色々な動物の歯髄に極微量の西洋ワサビ過酸化酵素（horseradish

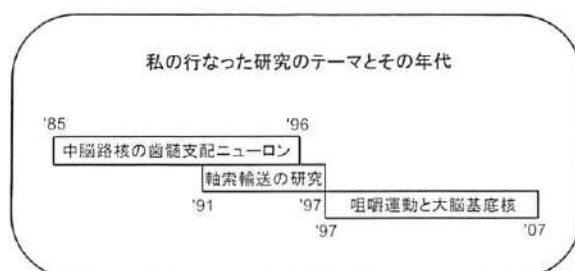


図1 九歯大における研究

peroxidase、略してHRP)を投与して、HRPの神経軸索輸送を利用して歯髄を支配する感覚一次ニューロン細胞体の所在を究明する神経解剖学的な仕事である。赴任の翌年から10年間にわたり教室員一丸となって取り組んだ思い出かい仕事である。『軸索輸送の研究』は、三叉神経中脳路核の歯髄支配ニューロンの研究から派生したものであって、ラット咬筋運動ニューロンにおけるHRP逆行性軸索輸送の分子メカニズムをレセプターレベルから追究した、河岸重則助教授(生化学専攻)との協同の仕事である。『咀嚼運動と大脳基底核』の研究は、軸索輸送の研究から派生したものであって、パーキンソン病との関わりの深い運動脳である大脳基底核がどのように咀嚼運動を調節しているかを、ラットに微小電流刺激法とGABA微量注入法を用いて私ひとりでコチコチやってきた仕事である。

以上の3つの研究テーマのうち、赴任当初に行なった『中脳路核の歯髄支配ニューロン』の研究は、今では少し古くなったが、最も歯科的で、歯科臨床に直結した歯髄ニューロンに関する実験結果であるので、これを本稿において分かりやすく解説する。

いま、なぜニューロサイエンスなのか

20世紀の医学・生物学領域における最大の功績は、ヒトゲノムの全塩基配列の解読であった。21世紀はどうかと予測すると、自然科学に残された最大の課題、人間の精神を生み出す脳を研究するニューロサイエンスの時代であろうと、多くの賢人が証言している。昨今の分子生物学や情報科学、あるいはイメージング技術等の進歩が複雑怪奇な脳の研究を可能にしたのである。わが国はもちろん、多くの先進諸国が脳・神経を研究対象とするニューロサイエンスを21世紀の最重要研究課題に位置づけ、研究推進の国家的プロジェクトを立ち上げている。米国における『脳の10年 (Decade of the Brain)』、欧州における『ヨーロッパ脳の10年 (European Decade of Brain)』、あるいはわが国における『脳科学研究の推進10ヵ年』等の施策がその例である。

人間の精神現象を司る脳を対象とするニューロサイエンスは、医学だけにとどまらず、理学、工学、農学、薬学、心理学、哲学など、多くの分野にわたって研究されている。ニューロサイエンスは学際的研究の性格をもっているわけである。

我々が研究発表の場に利用している日本神経科学学会 (Japan Neuroscience Society) は、いろいろな学問分野からの4,500人余の会員を擁し、毎年大都市のコンベンションセンターで3日間にわたり開催される学術大会では1,200題を越える演題が発表されている。

料理を目で楽しみ、口で咀嚼し、舌で味わうような摂食行動においては、脳がその主役を演じていることは明らかである。しかし、摂食と脳の関係についての研究はまだ始まったばかりである。10年前九歯大が当番をした第39回歯科基礎医学会における特別シンポジウム『摂食と脳の老化』はこの分野の研究集会の嚆矢であった。一般市民にも公開されたこのシンポジウムでは、摂食が学習・記憶能力に影響を及ぼす可能性や、摂食によって脳の発達・老化がコントロールされている可能性を提議する動物実験データが報告された。摂食に関する脳科学研究が、歯科医学界において新しい切り口を開く戦略的研究であることを我々に強く印象づけた。

あれから10年、わが国は未曾有の高齢社会を迎えて、パーキンソン病、アルツハイマー病、脳卒中中等による食べる機能に障害をもつ患者が急増している。食べる機能の障害の原因に脳・神経系が関与する割合は非常に高い。このような患者の摂食機能リハビリテーションの受け皿として、歯科医師、歯科衛生士等への世間の期待感も高まっている。わたしたち歯科界にもニューロサイエンスの波が押し寄せてきている。

「歯医者者の神経アレルギー」とか「歯医者に脳の知識が要るのか」といった発言をなさる古いタイプの歯科医の先生方の意識を啓蒙する目的もあって、わたしたちは3年前クインテッセンス社から『絵でわかる ― 歯科臨床に役立つ脳と神経の話』のタイトルの、約200頁の漫画のような本¹⁾を出版した。この本の第1章には、歯科臨床とニューロサイエンスの密接な関係について、たとえば「歯根膜求心性神経は4ビットの信号を脳に伝えている」とか「抜髄や抜歯は脳の構造と機能を狂わせる」などといった10の項目を取り上げて、絵入りで簡潔平易に解説している。

脳の最小構成単位、ニューロン

わたしたちの脳の中には、莫大な数の、約1,000億(10の11乗)個の神経細胞、すなわちニューロンがおさまっている。世界の人口は最新の

報告では66億人であるから、世界人口の15倍ほど多いニューロンが複雑な神経回路網を形成して脳に組み込まれている。この複雑な神経回路網が人間の精神を生み出し、自意識を形成し、記憶や学習を行い、さらには喜怒哀楽の感情を作り出す。

中枢と呼ばれる脳・脊髄には、図2のようにいろいろな形のニューロンが存在するが、どのニューロンも基本的には細胞体、樹状突起、軸索（神経線維と同義）の3つから成り立っている。ニューロンは自分の担当する情報伝達の機能に合わせて、このような種々の形態に分化してしまった。

たとえば、小脳のプルキンエ細胞（図2のC）には、体のあらゆる感覚受容器からの情報が入ってゆくが、情報を受け取るアンテナの樹状突起はこのように非常に発達していて、味覚情報までが入ってゆくことがわかっている。後述する歯根膜や歯髄の一次感覚ニューロン（図2のD）は2本足の双極性で、末梢性軸索を感覚受容器に、もう一方の中枢性軸索を二次ニューロンにシナプスを介して結合する。

軸索はインパルス（伝播性の活動電位）を軸索終末に向けて伝える電線の役割を果たす。インパルスの伝導速度は軸索の太さに正比例し、筋紡錘の信号を伝える最も太いA α 線維（直径12~20 μ m）は時速432 kmで情報を運ぶ。樹状突起は前述のように、他のニューロンからの情報を受け取るアンテナの役目を果たす。細胞体の役割はインパルスを作り出すことであるが、もう一つの役割である神経伝達物質の合成については後述する。

同一ニューロン内では神経情報は電気的な信号、つまりインパルスとして伝わるのに対して、

ニューロンとニューロンの間では、シナプスという細胞膜2枚合わさった程度（約20 nm）の間隙があるので、化学物質である神経伝達物質を介して伝わる化学的伝達である。

軸索輸送

細胞体の神経伝達物質の合成機能であるが、核に蓄えられた遺伝子情報に従いニューロンの生存に必要なタンパク質の合成を行う。そのなかに神経伝達物質の生合成も含まれる。ほとんどの伝達物質が放出される軸索終末部で合成されるのに対して、図3の左上Aのような物質は細胞体で部分的に合成され、一旦ゴルジ装置に運ばれて細胞膜と同じ成分の被膜に包まれたcoated vesicle（被膜小胞）に処理された後、微小管と呼ばれる直径24 nmの中空管状タンパク線維をレールとして、細胞体から軸索終末に向けて自走してゆく。この運搬過程を順行性軸索輸送といい、そのスピードは速いものでは1日に30~40 cmである。

シナプス間隙に流れ込んできた周囲環境からの外来物質（図3の右下B）は、伝達物質の放出を終えた帰りのcoated vesicleに処理されて、細胞体に向けて自走してゆく。この運搬過程を逆行性軸索輸送という。西洋ワサビの辛み成分である過酸化酵素のHRP（horseradish peroxidase）は逆行性軸索輸送によく乗っかり、ベンチジン反応処理すれば黒紫色の物質を作るので、現在、神経解剖学における神経線維追跡実験に盛んに用いられている。本稿で述べる「中脳路核の歯髄支配ニューロン」の話において主役を務めるHRPはシグマ社のType VIである。このType VIは、予期に

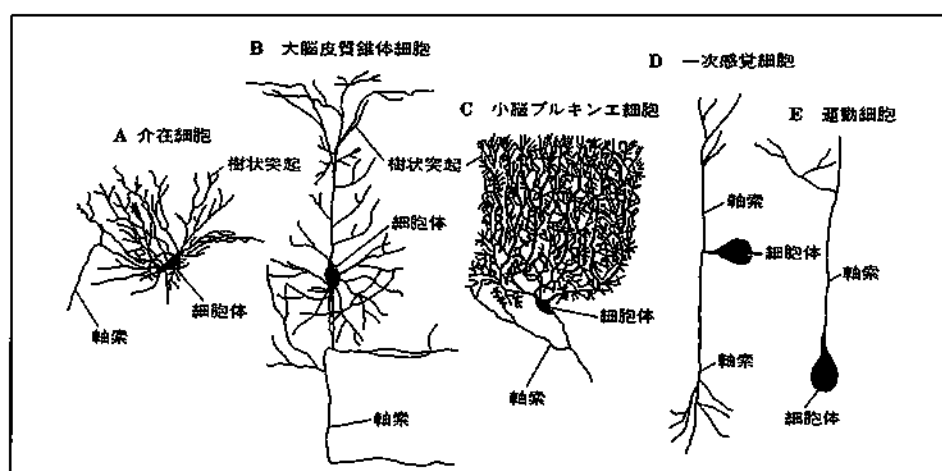


図2 異なる形の神経細胞（ニューロン）の例

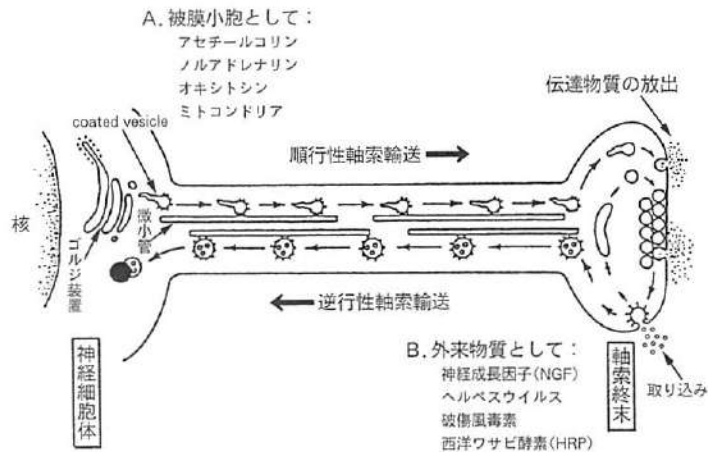
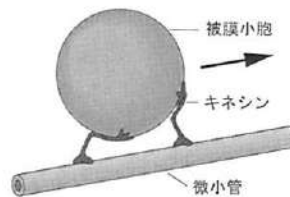
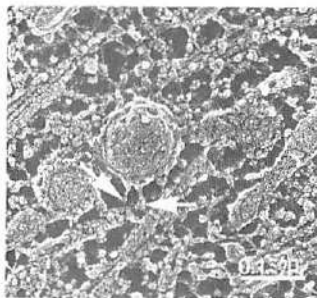


図3 軸索輸送の模式図

廣川信隆は急速凍結法を完成させ、微小管に1対の球状頭部(白矢印)をくっつけ、ラテックス・ビーズを輸送しているキネシン・モーター分子を、世界で最初に映像化した。



キネシンは分子量60万のモーター蛋白質で、1対の球状頭部(ATP分解酵素をもつ)を微小管にくっつけ、手の平状の尾部を輸送する被膜小胞にくっつけている。微小管の+端に向かって歩くように移動する。



図4 順行性軸索輸送の分子メカニズム (Principles of Neural Science, 4th ed., 2000, Kandel, Schwartz, Jessell, eds., Figure 5-11より改変)

反して、実際になめても無味であるが、起炎作用はあるようである。なお、図3の細胞体内の黒丸はライソゾームであって、輸送されたHRPは最終的にここで加水分解処理されて消失する。

ニューロンの生存に必須の神経成長因子(nerve growth factor: NGF)は唾液腺などで生合成され、逆行性軸索輸送によってニューロンの細胞体に運ばれ、そこで効果を現す。反対に、破傷風毒素などは細胞体に逆行性輸送されると、そのニューロンは死滅してしまうので、自殺輸送と呼ばれている。今日では順行性、逆行性軸索輸送においてcoated vesicleを動かすモーター分子は同定されていて、それぞれキネシン、ダイニンと名づけられている。

順行性軸索輸送の分子メカニズム(図4)

右：微小管上のcoated vesicle(被膜小胞)を

自動車にたとえれば、それを動かすエンジンがキネシンで、ガソリンに相当するのがATP(アデノシン三リン酸)である。

左：東大解剖学講座の廣川信隆先生は急速凍結法を完成させ、2001年にキネシン・スーパーファミリー蛋白(KIFs)の遺伝子をすべて特定した。ちなみに、KIF3は発生において体の左右を決定する働きがあり、KIF17は記憶・学習に関連するNMDA型グルタミン酸受容体を含むvesicleの輸送に関与している。KIF17をノックアウトされたマウスの行動実験からも、そのことが証明されている。余談であるが、1994年および95年に科学研究補助金総合研究A『軸索輸送の生理と病態』のシンポジウムに班員として参加したとき、あのいつも怒ったような顔つきの廣川信隆先生と親しく接する機会があった。廣川先生はKIFsの業績で、今日ノーベル医学生理学賞に最も近い日本人であ

るとの評判である。

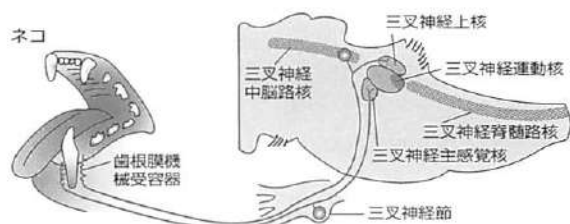
三叉神経中脳路核とは何か

さて、本論に入っていくことにする。一般に、感覚受容器を支配する一次感覚ニューロンの細胞体は中枢（脳と脊髄）の外、すなわち末梢側に存在する神経節（ganglion）に集合している。手足・躯幹の感覚受容器を支配する一次感覚ニューロンの細胞体は脊髄神経節（spinal ganglion）に集まっている。これに対して、顔面・口腔の感覚受容器を支配する三叉神経系の一次感覚ニューロンの細胞体は三叉神経節（trigeminal ganglion；別名、半月神経節またはガッセル神経節）と三叉神経中脳路核（trigeminal mesencephalic nucleus）の2箇所に存在する。中脳路核は、本来末梢側に位置するはずの神経節が脳内に取り込まれた例外的な神経核（nucleus）であって、神経堤と外胚葉プラコード（板）の2重の胚性起原を持つ特殊性によるためであると考えられている²⁾。

動物は進化の過程で餌を食うのに有利な顎を獲得したが、顎をもった現存する動物には必ず中脳路核が存在する³⁾。後でも述べるが、今日では中脳路核は、顎口腔の固有感覚に関与する低閾値機械受容器ニューロンの細胞体の集合する神経核であると理解されている。

歯根膜の2重神経支配について（図5）

三叉神経節ニューロンの末梢性突起が顔面・口腔の皮膚、口腔粘膜、歯肉、歯根膜、歯髓などに分布することは古くから知られていた。一方、中脳路核ニューロンの末梢性突起が咬筋、側頭筋、内側翼突筋といった閉口筋に分布することも古くから明らかにされていた。1940年Corbin⁴⁾がネコ中脳路核の破壊に伴う変性神経線維を形態学的に検索する実験によって、中脳路核が閉口筋以外に歯と歯肉を支配している可能性が提議された。さ



歯根膜受容器は三叉神経節と三叉神経中脳路核から支配を受けている

図5 歯根膜の2重神経支配

らに1963年Jerge⁵⁾が、1978年にはLinden⁶⁾が、それぞれネコ中脳路核に金属微小電極を挿入して、開口に応答するユニット活動と、歯根膜、歯肉、口蓋の機械的刺激に応答するユニット活動を記録し、Corbinの形態学的所見を電気生理学的に立証した。

その後、HRPトレーシング法⁷⁾あるいは微小電極記録法⁸⁾を用いて、ラットの中脳路核においても歯根膜受容器ニューロンの存在が確認されている。このように中脳路核の末梢性突起は筋紡錘および歯根膜、歯肉、口蓋の機械受容器を支配するので、中脳路核は顎口腔の固有感覚に関与する低閾値機械受容器ニューロンの細胞体が集合する神経核であるとのコンセンサスを得ている。歯根膜、歯肉、口蓋の機械受容器のサイドから言えば、図5に図示するように、三叉神経節と中脳路核から2重に神経支配を受けている。

ちなみに、中脳路核の中枢性突起は主として三叉神経運動核の閉口筋領域に投射するが、それ以外に三叉神経主感覚核や運動核周囲の網様体、とくに三叉神経上領域にも投射することがHRPトレーシング実験によって明らかにされている^{9,10)}。系統発生学的には、中脳路核は筋紡錘ならびに歯根膜、歯肉、口蓋の機械受容器からの感覚フィードバックを咀嚼筋運動ニューロンに反映しやすい三叉神経運動核の近傍部に移動していったと考えられている³⁾。

歯根膜の2重神経支配の機能的意義（図6）

1989年ByersとDong¹¹⁾はネコの三叉神経節と中脳路核に異なる放射性アミノ酸（トリチウムのプロリンまたはロイシン）を投与後、オートラジオグラフィーで歯根膜受容器に運ばれたシルバー・グレイン数をカウントした。その結果、三叉神経節は歯根中央部の機械受容器を、中脳路核は根尖部の機械受容器を、それぞれ密に支配していることが明らかとなった。この歯根膜受容器支配の機能分担が三叉神経節と中脳路核による2重支配の機能的意義とみなされている。

歯髓も歯根膜と同様に、三叉神経節と中脳路核から2重支配を受けているのではないかと

1980年頃、前任地の岐阜歯大においてラットの中脳路核から歯根膜機械受容器ニューロンの単一ユニット活動を記録する実験を行ないながら、私は冒頭の見出しのようなことを考えていた。当時、

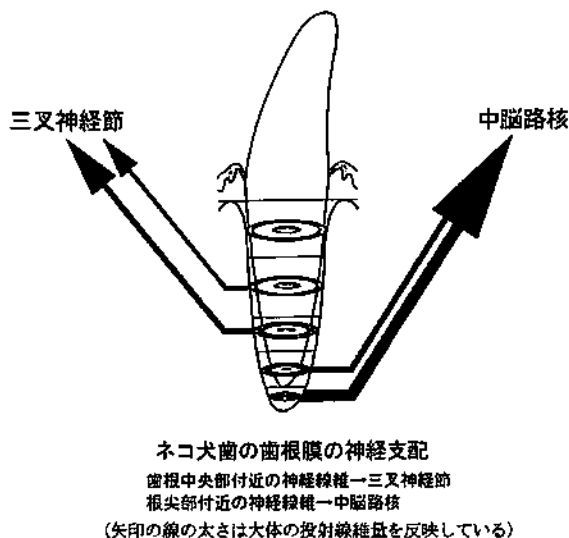


図6 歯根膜の2重神経支配に関するトレーシング研究 (ByersとDong, 1989; 文献11より改変)

私の頭には歯髄刺激によるプレペインの話と、歯髄に触・圧覚を司る太い神経線維の存在を示唆する報告があったからである。

歯髄の痛覚以外の感覚—プレペイン

古来、歯の電気刺激は純粋な痛みを起こす刺激として痛覚実験に盛んに用いられてきた。わたしたち口腔生理学の教師は学生にこう教える—「象牙質または歯髄に加えられた自然刺激は、それがどのような種類の刺激であれ、誘発される感覚は常に痛覚である」。しかし、歯の刺激によって誘発される感覚は本当に痛覚だけであるのか？

1964年発行のJournal of Dental Researchに東京医科歯科大学の清水徳三は、ヒトの歯の電気刺激によって痛みとは異なるプレペインが誘発されることを報告している¹²⁾。清水によれば、成人男性の上顎切歯を電気刺激すると、弱い刺激では明白に痛みと言えない一種独特の感覚、プレペイン (pre-pain; painの前に起こる感覚の意) が生じ、その時点から刺激強度を30%程あげると、明確な痛みとなる。

清水の報告から17年後 (1981年)、東京医科歯科大学顎口腔総合研究施設の角野隆二¹³⁾はより厳密な方法を用いて、すなわち成人被験者の健全な上顎中切歯の唇面に2mm四方の通電性ゴム膜 (陰極電極) を、また同側口角部の粘膜面に2cm四方の銀板 (不関電極) をそれぞれ接着し、被験者を暗い静かな部屋に仰臥させ刺激歯に注意を集中させた状態で、アイソレーターを介して一定頻

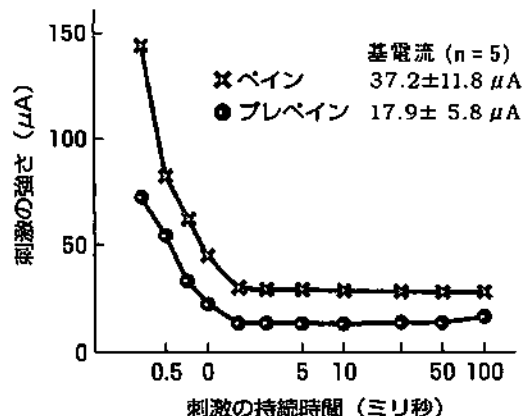


図7 ペインとプレペインを誘発する閾値電流の平均値 (三輪ら, 1981; 文献13より改変)

度で単発の矩形波電流刺激を与え、歯に何らかの感覚が生じたときランプのボタンを押して知らせた。

プレペインの感覚内容は、刺激歯に局限した「何かがかすかに触れる」ような感覚で、10Hz以下の繰り返し電流刺激では「叩かれる」ような感じであり、10Hz以上の高頻度刺激では「歯に風が当たる」ような感じで、いずれも痛みとは明らかに異なっていた。さらに刺激強度をあげると、今までの感覚は空間的および時間的広がりを持ち、被験者はこの時点で初めて痛みを訴えた。

図7は、プレペインとペインの強さ・時間曲線を5人の被験者について測定した結果を平均値で示している。持続時間を0.3ミリ秒から100ミリ秒まで変化させると、閾値電流 (基電流と同義) は持続2ミリ秒以上ではほぼ一定となり、プレペインで約18 μA 、ペインでは約37 μA であった。このようにペインの閾値電流のおよそ半分の強さでプレペインが誘発されることが判明した。

さらに角野¹³⁾は、体性感覚の最高中枢である大脳皮質一次体性感覚野では、プレペインとペインを互いに異質の感覚として受容していることを誘発脳波の違いから証明することを試みた。

図8は、1人の被験者の上顎中切歯に持続10ミリ秒の矩形波電流刺激を1Hzの頻度で繰り返し与えたとき、反対側の頭頂部から誘発される脳波を50回平均加算処理した結果である。刺激強度30 μA で脳波に初期成分N1-P1が現われ、このとき被験者はプレペインを訴えた。その後、刺激強度の増大とともにN1-P1の振幅は増大し、それに並行してプレペインの強さも増大した。刺激強度が70 μA に達したとき、脳波に明瞭な後期成分N2-P2が

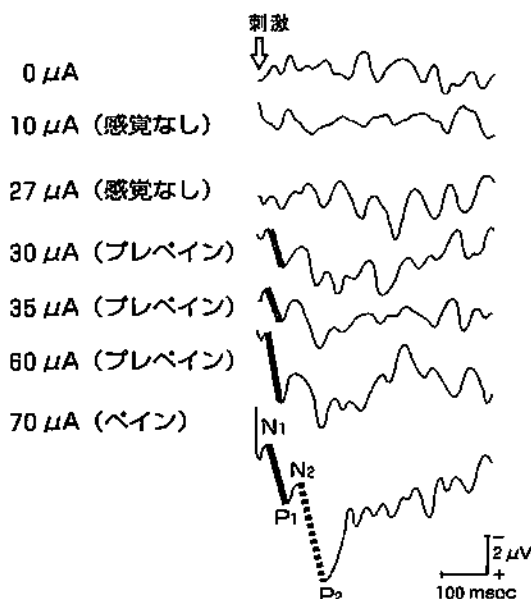


図8 1人の被験者の上顎中切歯を50回反復電流刺激したときの誘発加算脳波（三輪ら、1981；文献13より改変）

出現し、このとき被験者は痛みを訴えた。その後、N2-P2の振幅は刺激強度の増大とともに大きくなっていった。角野らは、歯髄から大脳皮質への入力にはプレベインのための伝達速度の速い触・圧覚経路と、ペインのための多シナプス性の、伝達に時間のかかる痛覚経路の2つが備えられていると考察した。

歯髄に触・圧覚を司る太い神経線維および機械的受容器の存在を示唆する報告

既述のように、歯の電気刺激が純粋な痛み刺激として1950年頃から痛覚実験に盛んに用いられてきた理由は、歯髄には痛みを伝える細い有髄のA δ 線維（直径2～5 μ m）と無髄のC線維（直径1 μ m以下）だけが分布すると信じられていたからである。1983年HollandとRobinson¹⁴⁾はネコにおいて、下歯槽神経から分かれて脈管神経隙を通り下顎犬歯に入ってきた歯髄神経について、根尖側1 mmのレベルで神経線維の直径スペクトルを電顕で調べた。興味ぶかいことに、多い場合は1犬歯当り323本の有髄線維のうち約40%が触・圧覚を伝える太いA β レンジ（直径5～12 μ m）であった。それではなぜ、歯髄には細いA δ およびC線維しか分布していないと考えられてきたのか？

図9は文献14に掲載されているFig. 6である。ネコ下顎犬歯の歯髄に分布する有髄線維の直径スペクトルを3つの部位について比較している。三角で示めされた歯冠レベルでの有髄線維はA δ レ

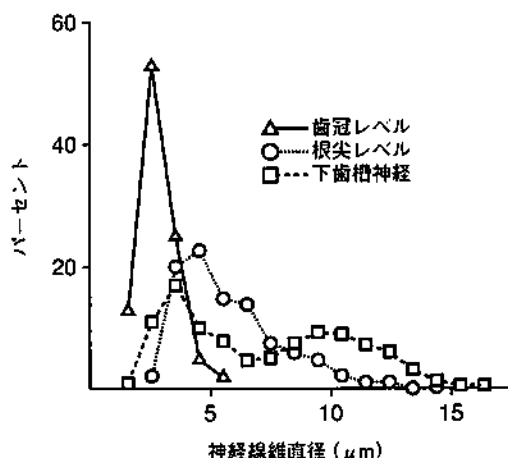


図9 同一ネコの下顎犬歯歯髄の神経線維直径スペクトル（Holland, 1983；文献14より改変）

ンジ（直径2～5 μ m）の1峰性分布を呈するのに対して、丸で表された根尖側1 mmのレベルでの有髄線維はやや優勢なA δ レンジの分布に加えて、A β レンジ（直径5～12 μ m）の分布も認められた。すべての有髄線維の約40%という高い比率で、根尖孔から入ってきた太いA β レンジの有髄線維は根管を上昇するさい“branching and narrowing”¹⁴⁾を繰り返し、歯冠レベルの髄室に到達するときにはすべてが細いA δ かC線維に変わってしまっているのである。昔の組織学者は、歯冠レベルで調べた歯髄神経線維の直径スペクトルの結果をもって、歯髄には細いA δ とC線維しか分布していないと考えていたようである。

一方、Caddenら（1982）¹⁵⁾は、ネコ下顎犬歯の歯髄に入ってゆく下歯槽神経線維の伝導速度を電気生理学的に計測した。計測された80本の有髄線維のうち32本（40%）は28 m/秒を上まわる伝導速度を示し、これは皮膚の触・圧覚を伝えるA β 線維の伝導速度30～70 m/sに相当するものであった。

さらにDongら（1985）¹⁶⁾は、ネコの下顎犬歯の歯髄を支配する三叉神経節ニューロン・プールから歯髄の機械的刺激に応答する単一ユニット活動を記録した。インパルス衝突試験および冷却ブロック試験を用いて歯髄支配の一次ニューロン活動であることを同定後、図10に示すように、下顎犬歯の唇側エナメル質に種々の機械的刺激を舌側方向に加えたときのインパルス活動を記録した。Aの鈍な棒による4秒間の圧迫は無効であったが、Bのタッピング刺激では1～3発の発射があった。CおよびDはそれぞれ128 Hz、256 Hzの音叉による3～4秒間の振動刺激であるが、Eおよび

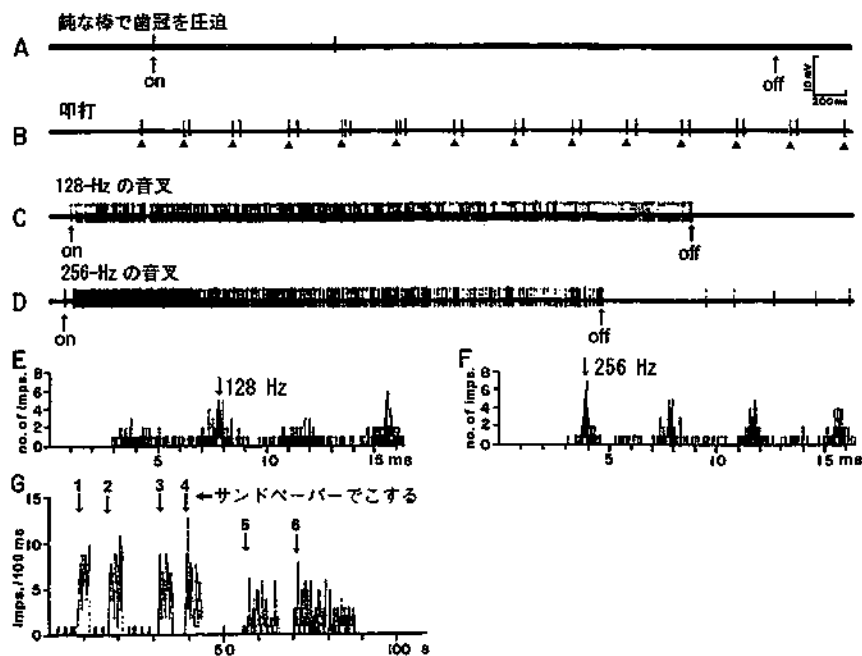


図10 ネコの歯髄の機械的刺激に反応する三叉神経節単一ユニット活動 (Dongら、1985; 文献16より改変)

Fのそれぞれのタイムインターバル・ヒストグラムには128 Hzおよび256 Hzに相当する部分と倍音部分に発射のピークが認められた。Gは歯冠をサンドペーパーでこすったときのペリスチムラス・ヒストグラムで、1から4へとペーパーの目は粗くなってゆく。5は滑らかな木の棒、6は金属の棒でそれぞれ歯冠をこすった場合である。

歯冠に対するタッピングと振動刺激に反応するこれら歯髄単一ユニットは、歯冠への温熱刺激には反応しなかった。このように、ネコの歯髄には動的な機械的刺激に反応する速順応性機械受容器が存在することが提議されたが、これらの受容器の形態や存在部位はまだ不明である。Dongら¹⁶⁾は、歯髄には咀嚼や嚥下時のtooth contactを感知する重要な非侵害性機能が備わっていると考察した。

HRP逆行性標識法による歯髄支配の一次ニューロンの所在に関する研究の歴史

ヒトの歯の電気刺激によるプレペインの話と、ネコの歯髄に触・圧覚を伝えるAβ低閾値機械受容線維が多いという報告が私の頭の中で重なり合っており、ネコの歯髄にHRPを適用すれば、ひょっとすると中脳路核においてHRPで逆行性標識された歯髄支配の一次ニューロンが発見できるのではないかと考えるようになった。

ところで、HRPが神経トレーサーとして神経

解剖学実験に初めて用いられたのは、1971年Kristenssonら¹⁷⁾によるウサギ舌下神経運動ニューロンの中枢内局在に関する研究であった。表1から明らかなように、Kristenssonらの報告の4年後(1975年)、Furstmanら¹⁸⁾とArvidsson¹⁹⁾は、それぞれラットおよびネコの歯髄にHRPを投与した後、逆行性標識された歯髄支配の一次ニューロン細胞体を三叉神経節で見いだしている。表1に掲げた7例の実験を見ると、Chiegoら(1980)²⁰⁾が初めて中脳路核において歯髄支配の一次ニューロン細胞体の存在を報告するまでは、誰も中脳路核に注目しなかった。Chiegoらの報告の後、ラットおよびネコでそれぞれ実験を行ったMarfurtとTurner(1984)²¹⁾、およびCapraら(1984)²²⁾は中脳路核も調べているが、歯髄支配のニューロンの存在を否定している。中脳路核において歯髄支配の一次ニューロンの存在を報告しているのは、Chiegoら(1980)²⁰⁾と我々(1987²³⁾、1988²⁴⁾、1989²⁵⁾、1994²⁶⁾、1996²⁷⁾、1997²⁸⁾、1999²⁹⁾)だけである。

1980年ミシガン大学歯学部でChiegoら²⁰⁾は、5頭のサルの片側下顎小臼歯と大臼歯の頰面に5級窩洞を形成し、露出させた歯髄組織に放射性アイソトープでラベルした³H-HRP溶液1μlを、歯根膜または歯肉を汚染させないように手術顕微鏡下に注入し、窩洞をアマルガムで密封した後、動物を72時間生存させた。彼らの研究目的は、三叉神経節と、上顎神経節、耳神経節などの自律神経節の歯

表1 歯髄支配の一次ニューロンのHRP逆行性標識実験の歴史

Authors (year)	Animal	Teeth injected with HRP	State and amount of HRP injected (per tooth)	Administration of Prednisolone	*Number of labeled cell bodies in TG (per tooth)	Number of labeled cell bodies in MTN (per tooth)
Furstman, L. et al. (1975)	Rat	Incisor	20% solution, 5 μ l	No	5	Not examined
Arvidsson, J. (1975)	Cat	Canine	50% solution 0.5–1.5 μ l	No	24	Not examined
Chiego, D.J. et al. (1980)	Monkey	Premolars and molars	Isotope (3 H-HRP) 1 μ l	No	+Not counted	6–10
Arvidsson, J. & Gobel, S. (1981)	Cat	Canine and posterior teeth	5% solution 0.5–2 μ l	No	15–27	Not examined
Marfurt, C.F. & Turner, D.F. (1984)	Rat	Molar	40% solution or 5% WGA-HRP 0.5–1.0 μ l	No	+Not counted	0
Capra, N.F. et al. (1984)	Cat	Canine	Crystalline 4mg	No	+Not counted	0
*Yoshino, K. et al. (1987)	Cat	Canine	30% solution 1–2 μ l	No	24	0
	Cat	Canine	30% solution 1–2 μ l	Yes	90	33

* : Number of labeled cell bodies is shown on the average.

+ : HRP-positive cells were found, but their numbers were not counted.

* : Present authors

髄支配について検討することであったが、予想外の結果として、5頭すべての注入側の中脳路核に6個から10個の 3 H-HRP標識細胞体が見いだされた。また、アイソトープの微細な痕跡も見逃さないオートラジオグラフィによって 3 H-HRP投与歯の根尖部に何らの放射性痕跡も検出されなかったことから、 3 H-HRPの他組織への漏洩の可能性を否定し、細胞体の 3 H-HRP標識は歯髄から中脳路核に軸索輸送された 3 H-HRPによるものであることを強調した。

1984年ペンシルベニア州立大学のMarfurtとTurner²¹⁾は、歯髄支配の一次ニューロンの中枢性突起の投射経路を調べる研究において、ラットの大臼歯の歯髄に投与したHRPを他組織に漏洩させないような工夫を行った。片側上顎第一大臼歯の3つの髄角が露出するまで歯冠を削去し、髄室の歯髄組織を取り除いた後、次亜塩素酸ソーダで洗浄した髄腔内に0.5–1.0 μ lの40% HRPまたは5% HRP-WGA溶液を満たした。歯髄神経線維の断端からのHRP取り込みを直視下に1時間行わせたのち、髄腔内のHRP溶液を新鮮な液に交換し、なおも1時間直視下にHRPの取り込みを行わせた。灌流固定後、HRP投与歯を周囲の歯槽骨も含めて摘出し、HRP酵素を失活させないよう中性EDTA溶液に浸漬し2、3週間かけて脱灰し、凍結連続切片を作成し暗視野顕微鏡下で投与歯脱灰標本を観察した。その結果、根尖周囲組織へのHRPの漏洩はまったく見られ

ず、根尖孔を1本の細い糸となって通過してゆくHRP反応産物の痕跡が観察された。

以上のような厳密な方法によってHRP漏洩の問題を解決したMarfurtとTurner²¹⁾は、ラットの中脳路核に標識細胞体が見いだされなかった結果を受けて、仮にラットの歯髄に機械的刺激を感じる機能があったとしても、その神経情報は三叉神経節を経由して脳に運ばれるに違いないと考察した。もちろん、サルの中脳路核に少数の 3 H-HRP標識細胞体を見いだしたChiegoら (1980)²⁰⁾の結果について言及している。

わたしたちの実験方法

我々 (1987)²²⁾は、歯髄にA β 神経線維が特に多いネコを用いて実験を行うことにした。歯髄組織にHRPを適用する方法は、表1のいずれの研究者も行っているように、切削によって生活歯の歯髄腔を開放し、その窩からHRPを歯髄組織に投与する方法をとらざるを得ない。このような方法で歯髄腔にHRPを投与する限り、1) 歯の切削や外科的処置に伴う機械的および熱的刺激、あるいはHRPそのものの化学的刺激により急性歯髄炎が引き起こされ、浮腫に伴う歯髄腔内圧の亢進により軸索輸送が停止してしまう問題と、2) 歯髄腔内に投与したHRPが根尖孔外に漏れ出て、付近の歯根膜神経線維末端から取り込まれ中脳路核に軸索輸送されたのではないかというHRP漏洩の問題がつきまとう。

まず、1)の問題に対処して、我々はMarfurtとTurner²¹⁾の厳密な実験方法を土台にして、以下のような改良を加えた²⁴⁾。8頭の成猫において、図11に示すようにHRP投与歯（下顎の1犬歯、但し1頭のみ下顎の1犬歯と後続の3臼歯）のX線撮影を行い、歯髄腔の形態および根尖の完成度を把握。歯の切削に伴う発熱を極力抑えるため、エアータービンで注水下に歯冠をハーフクラウン状に削去し、歯髄腔を開放。デンタルファイルを用いて根管の歯頸側2分の1を越えない部位まで抜髄および根管拡大（図11, a）。次亜塩素酸ナトリウムと過酸化水素水を用いて根管内を清掃後、さらに滅菌生理食塩水で洗浄。再びX線撮影を行い、HRP投与部位が根管の歯頸側2分の1を越えていないことを確認後、5頭のネコでは30% HRP・生食水1~2 μ lをゼラチンスポンジ小片に含ませ歯髄表層部に貼付。残りの3頭では歯髄腔の開放後、マイクロシリンジで同量のHRP溶液

を歯髄表層部に注入（図11, b）。歯髄腔の開放部をガラスアイオノマーセメントで完全に封鎖。

さらにHRP投与直後および術後3日間の生存期間中、急性歯髄炎を防止する目的で6頭の動物にステロイド系抗炎剤プレドニゾロン2.5 mg/kgを12時間ごとに筋内投与。但し、残りの2頭はコントロールとしてプレドニゾロンを非投与。すべての動物にHRP投与直後のみ抗生剤を筋内投与。

わたしたちの実験結果—中脳路核に多数のHRP標識細胞体の出現

HRP投与後3日目に脳幹および両側三叉神経節の凍結連続切片を作製し、すべての切片にMesulamのTMB反応（1978）³⁰⁾を施しHRPを発色させた。

驚いたことに、HRP投与側の三叉神経節および中脳路核に黒紫色のHRP反応産物を含む多数の大型の神経細胞体および軸索が観察された。表2は、すべての動物から得られたHRP標識細胞体数を集約したものである。図12は、下顎1犬歯にHRPを投与したネコEから得られた組織所見である。図13は、下顎1犬歯と後続の3臼歯にHRPを投与したネコFから得られた組織所見をカメラルシーダを用いて描写したものである。

表2から明らかなように、下顎1犬歯の歯髄組織にHRPを投与したネコA~Eの投与側三叉神経節に60~149個のHRP標識細胞体が出現した。HRP投与歯が犬歯を含む下顎4歯の多数歯の場合（ネコF）は933個に増加した。また、下顎4歯の歯髄を支配する一次ニューロンは三叉神経節の後外側部に広く局在した（図13の上左）。下顎犬歯を支

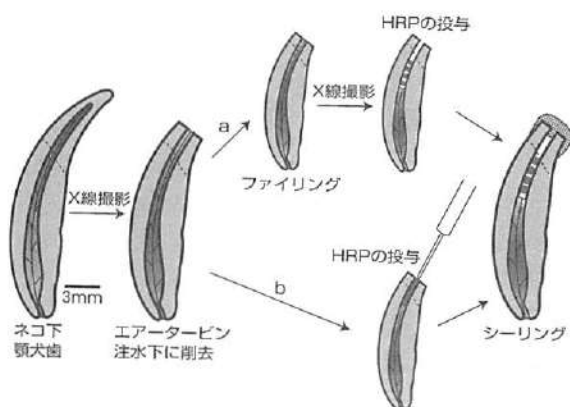


図11 私たちの実験におけるネコ歯髄へのHRP投与方法

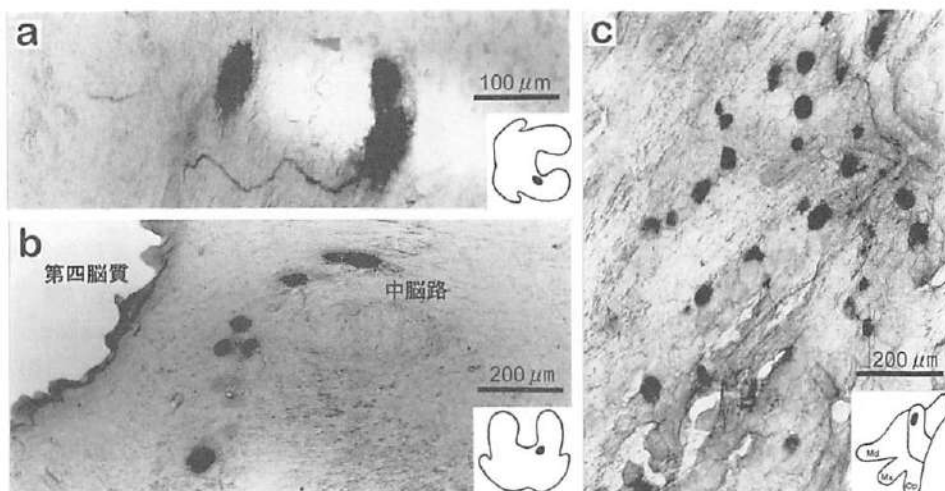


図12 抗炎剤投与ネコ（E）の中脳路核（a, b）および三叉神経節（c）で見いだされたHRP標識ニューロンの細胞体と軸索

配するニューロンは、臼歯支配のニューロンに比べて三叉神経節のより後外側方に偏在し、図12, c右下のさし絵のように外側隆起部に密集していた。

中脳路核においては、抗炎剤投与の6頭すべて(ネコA~F)に23~92個のHRP標識細胞体が確認された(表2)。下顎犬歯を支配するニューロンは、中脳路核の吻尾的ほぼ全領域(耳孔の前方3.5 mmから後方3.5 mmの範囲)に見いだされた(図14の右上参照)。下顎4歯の歯髄を支配するニューロンの吻尾的分布(図13の下半分)は、下顎犬歯支配ニューロンの場合とほとんど差がなかった。これら歯髄支配の中脳路核ニューロンの吻尾

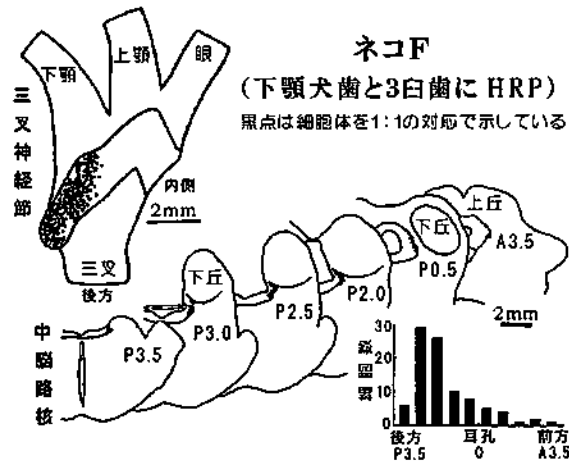


図13 下顎犬歯と3臼歯の歯髄にHRPを投与したネコ(F)の三叉神経節および中脳路核におけるHRP標識ニューロンの分布動態。連続切片上の標識細胞体をカメラルシダを用いて1:1の対応で黒点として描写した。

的分布はまた、歯根膜支配の中脳路核ニューロンのそれ³¹⁾に似て、中脳路核の尾側端に集中していた(図13の右下グラフ)。抗炎剤非投与の2頭(ネコGおよびH)においては、従来の報告²²⁾のように中脳路核に1個の標識細胞体も見つけることはできなかった(表2)。なお、HRP非投与側の三叉神経節および中脳路核には、すべての動物において標識細胞体は1個も見いだされなかった。

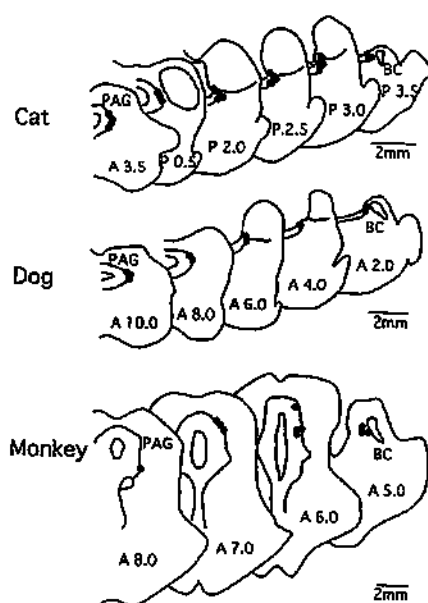
以上の結果から、ネコの歯髄は歯根膜と同様に三叉神経節および中脳路核から二重支配を受けていることがわかったので、歯髄を支配する三叉神経節ニューロンと中脳路核ニューロンの数の比率を算出した。表2の右端に示すように、歯根の完成した下顎犬歯の歯髄(ネコB~E)では三叉神経節ニューロンと中脳路核ニューロンの比は約3:1であるのに対して、歯根未完成の犬歯の歯髄(ネコA)では1.5:1であった。また、下顎4歯の歯髄(ネコF)における支配比は約10:1であった。

中脳路核における歯髄支配の一次ニューロンのラベリングには、HRP投与後の抗炎剤プレドニゾロンの全身投与が不可欠であり、プレドニゾロンを投与しなかった2頭のネコでは、中脳路核に1個のラベルされたニューロンも見いだされなかった。この重要な所見を、我々は抗炎剤プレドニゾロンが密封された歯髄腔内での急性歯髄炎の発生を抑え、浮腫形成に伴う局所圧によるHRP軸索輸送の停止を中和したと解釈した。どのぐらいの強さの圧迫により軸索輸送の停止が起こるかについては、ウサギ迷走神経に注入した三重水素ロ

表2 抗炎剤投与群(ネコA~F)と非投与群(ネコG, H)の三叉神経節および中脳路核で検出されたHRP標識細胞体の数

ネコ	HRP投与歯 (下顎)	抗炎剤プレ ドニゾロン の投与	投与歯の根尖 の完成程度	HRP標識細胞体の数		三叉神経 節/中脳 路核の比
				三叉神経節	中脳路核	
A	犬歯	あり	未完成	60	40	1.5
B	犬歯	あり	完成	77	23	3.3
C	犬歯	あり	完成	81	26	3.1
D	犬歯	あり	完成	82	33	2.5
E	犬歯	あり	完成	149	45	3.3
F	犬歯と3臼歯	あり	完成	933	92	10.1
G	犬歯	なし	完成	24	0	-
H	犬歯	なし	完成	25	0	-

動物種	HRP投与歯	HRP標識ニューロン細胞体数	
		三叉神経節	中脳路核
ラット	A 1 臼歯	148	0
	B 2 臼歯	197	0
	C 2 臼歯	200	0
	D 2 臼歯	301	0
ウサギ	A 4 臼歯	8	0
	B 4 臼歯	14	0
	C 4 臼歯	28	0
	D 4 臼歯	128	0
ネコ	A (左側) 1犬歯 + 3 臼歯	106	2
	A (右側) 1犬歯 + 3 臼歯	225	20
	B 1犬歯 + 3 臼歯	427	33
	C 1犬歯 + 3 臼歯	461	10
	D 1犬歯 + 3 臼歯	933	92
イヌ	A 1犬歯 + 3 臼歯	39	5
	B (左側) 1犬歯 + 3 臼歯	77	3
	B (右側) 1犬歯 + 3 臼歯	182	12
	C 1犬歯 + 3 臼歯	565	33
サル	A 1犬歯 + 1 臼歯	197	2
	B 1犬歯 + 3 臼歯	924	13



中脳路核歯髄ニューロンの
吻尾的分布

図14 5種の動物の三叉神経節および中脳路核における歯髄支配ニューロンの数と吻尾的分布

イシンまたはメチオニンの軸索輸送が毛細血管圧より少し高い圧 (30 mmHg) で停止することが実験的に確かめられている³²⁾。

HRP漏洩の問題

もう1つの問題、HRPの漏洩の問題であるが、歯髄腔内にHRPを投与する方法を選択する限り、HRP投与量をできるだけ極微量に抑えても、あるいはHRP投与部位をできるだけ根尖孔から遠ざけても、HRPが根尖孔の外に漏れ出た可能性を完全に否定することは不可能である。しかし、HRP漏洩の可能性を打ち消す目的で、我々は以下の2つの実験を行なった。

1 番目は、MarfurtとTurner (1984)²¹⁾が行なったように、HRP投与歯の根尖孔からのHRP漏洩を組織学的にチェックする実験である。灌流固定の終わったネコのHRP投与犬歯と周囲の歯槽骨を一塊のまま取り出し、HRP酵素を失活させないよう低温下でEDTAを用いて脱灰した。凍結連続切片を作りTMB反応を施した後、暗視野顕微鏡ですべての切片を観察したが、HRPが投与部位から遠く離れた根尖孔や歯根膜にまで拡散している像は全く見られなかった²⁵⁾。仮に、暗視野顕微鏡で検出できない程度の微量のHRPが根尖孔外に漏れ出ていたとしても、そのような微量

のHRPによって、表2の中脳路核に認められたような23個から45個におよぶ大型の一次求心性ニューロン細胞体のラベリングが惹起されたことを説明することは不可能である。

2 番目の実験では、5%ポリアクリルアミド・ゲルに30% HRPを閉じ込め、その1μlを抗炎剤ブレドニゾロン処理したネコの下顎犬歯の髄角部に置いた。ポリアクリルアミド・ゲルは電気泳動の支持体として常用され、重合される架橋の作用により検体分子の移動を遅らせる効果がある³³⁾。5%のポリアクリルアミド・ゲルは、重合される架橋 (網目) のサイズが分子量45,000のHRP分子をゆるく閉じ込めるのに有効であるので、HRPの歯髄組織内での拡散を局在化させると同時に神経終末への作用時間を延長させる³³⁾。この方法を用いても、中脳路核に10~13個のHRP標識細胞体が確認された²⁵⁾。もちろん、この場合もHRP投与歯と周囲の歯槽骨を脱灰後検鏡したが、HRPの漏洩は認められなかった²⁵⁾。

5種の動物における歯髄支配の中脳路核一次ニューロン

既述のように、歯髄支配の中脳路核一次ニューロンはサルで見いだされた (Chiegoら)²⁰⁾が、ラットでは見いだされなかった (MarfurtとTurner)²¹⁾。

しかし、我々はネコにおいて見いだした²³⁻²⁶⁾。そこで教室の吉野 (1996)²⁷⁾は、ネコを含めてラット、ウサギ、イヌ、サル、の、5種の動物の歯髄にHRPを投与して、中脳路核と三叉神経節における歯髄支配の一次ニューロンの数、分布および細胞体のサイズを比較した。ラット (Wistar)、ウサギ (日本白)、ネコ (雑種)、イヌ (雑種) の実験動物はいずれも4匹を、サル (*Macaca fuscata*) については2匹を用いて行われた。なお、2匹のサルは、愛知県犬山市にある京都大学霊長類研究所の共同利用プロジェクトを利用して頂いた。

5種の動物の中脳路核と三叉神経節において歯髄支配の一次ニューロン細胞体の数を比較する実験では、種間の差なく同数の歯に同一量のHRPを投与する必要がある。そこで、1歯の歯髄に投与する、30% HRP・生食水を含ませた一定の大きさのゼラチンスポンジ小片の数を統一することにした。ゼラチンスポンジ小片の湿重量の測定値から推定した1歯の歯髄に投与されるHRP重量は、ネコ、イヌ、サルでは470 μ g、またウサギでは190 μ gであった。ネズミでは第1および第2臼歯の狭小な歯髄腔に同一量のHRP結晶末を投与した。HRPの他組織へのコンタミネーションを防止するため、すべての操作は手術顕微鏡下で行なわれた。術後すべての動物に抗炎症剤プレドニゾロンを全身投与した。

実験結果²⁷⁾については誌面の都合で、歯髄支配の一次ニューロン細胞体の数だけについて述べる。HRPでラベルされた歯髄支配の一次ニューロンは種にかかわらず、三叉神経節、中脳路核とも、もっぱらHRP投与側に出現した。図14の左の表は、5種のすべての個体におけるHRP標識ニューロン数を示している。注目すべきことは、ラットとウサギの三叉神経節には相当数の標識ニューロンが見いだされたのに、中脳路核では1個も認められなかったことである。

一方、ネコ、イヌ、サルの中脳路核では、それぞれ2~92個、3~33個、2~13個の標識ニューロンが見いだされた。図14の右にネコ、イヌ、サルの中脳路核における標識ニューロンの吻尾的分布を示している。標識ニューロンの数は5種の動物間ではもとより、同一種の個体間でも相当の変動があったが、これは実験系に働く種々の要因のせいと考えられた。

以上のような歯髄支配の中脳路核一次ニューロンの存在に明瞭な種差が見いだされた結果^{27, 29)}

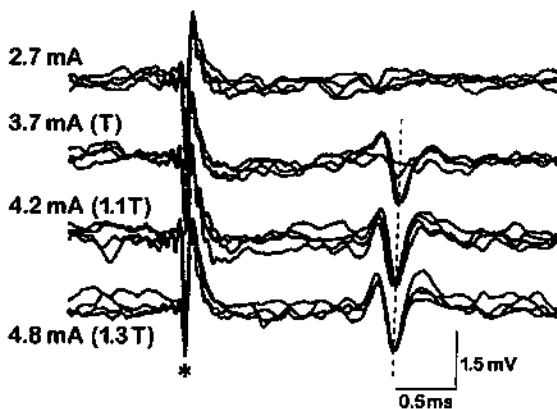
は、HRP漏洩の問題を払拭するものであった。

おわりに

教室の吉野²⁷⁾が行なった5種の動物の中脳路核における歯髄支配の一次ニューロンの有無に関する実験結果は、サルにおけるChiegoら²⁰⁾の結果、およびラットにおけるMarfurtとTurner²¹⁾の結果にそれぞれ一致した。歯髄に受容野をもつ中脳路核一次ニューロンは、ネコ、イヌ、およびサルには存在するが、ラットとウサギには存在しないことが明らかになった。この結果を見てすぐに思いつくことは、歯髄支配の中脳路核一次ニューロンの存否が動物の食性と関係しているのではないかということである。ネコ、イヌ、サルでは巨大な犬歯による切り裂き機能が発達しているのに対して、ラットとウサギではノミのような鋭い切歯による齧り取り機能が発達している。歯髄支配の中脳路核一次ニューロンは肉食をする動物に豊富に存在するようなので、クマやブタ、あるいはイノシシなどにも存在する可能性が高い。

歯髄支配の中脳路核一次ニューロンの機能的意義について2つのことが考えられる。1つ目は、前述のDongら¹⁶⁾がネコの歯髄支配の三叉神経節一次ニューロンについて考察したように、歯髄内の機械的受容器が咀嚼や嚥下時のtooth contactを感知する非侵害性機能を果たしているのではないかという考えである。2つ目は、肉食をする動物の損耗の激しい歯の硬組織の修復を促すために、歯髄支配の中脳路核一次ニューロンが自律神経反射を誘発し、歯髄に分布する交感神経節後線維からの、象牙芽細胞の再石灰化機能を活性化させるCGRPのような生理活性物質の神経分泌機能を高めているのではないかということである。

教室の大学院生Pan (1997)²⁸⁾は、ネコの中脳路核に金属微小電極を刺入し、同側下顎犬歯の象牙質アマルガム窩洞を介する歯髄電気刺激に安定した短潜時の2相性応答を示す単一ニューロンの記録に成功している (図15)。これらの単一ユニット活動は666 Hzの歯髄高頻度刺激に1:1の様式で追従し、組織学的に中脳路核からの記録であることが確認されたので、歯髄を支配する中脳路核一次ニューロンと判定された。図15に記録応答の1例を示すが、20マイクロ秒、2.7ミリアンペアの歯髄電流刺激では閾値下であった単一ユニット活動が、3.7ミリアンペア以上でall or none応答を示す。この応答が歯髄支配の一次ニューロンから



刺激(*)の強さが増すにつれて応答潜時がわずかに短縮(点線)

図15 ネコ犬歯髄の電気刺激による中脳路核一次ニューロンの応答

の記録であることの傍証として、図15の右の点線で示すように、歯髄刺激強度の増加につれてスパイク(単一ユニット活動)の潜時がわずかに減少するという、Matthews (1977)³⁴⁾のつけた歯髄神経終末部カプリングに起因する現象が認められた。

今後の研究課題として、Dongら¹⁶⁾の実験のように、歯髄の自然刺激に対する中脳路核一次ニューロンの応答性の検討が残されている。

稿を終るに臨み、この学術記事の執筆の機会を賜った大阪歯科大学同窓会長三谷 卓先生ならびに編集委員各位に心よりお礼申し上げます。

文 献

- 1) 天野仁一朗(編・著), 九州歯科大学摂食神経科学分野(共著): 絵でわかる—歯科臨床に役立つ脳と神経の話, クインテッセンス出版, 2005.
- 2) Dubner, R., Sessle, B.J., and Storey, A.T.: Chapter 8, Peripheral components of motor control. In: Dubner, R., Sessle, B.J., and Storey (Eds.), *The Neural Basis of Oral and Facial Function*. Plenum Press, New York, 1978, pp. 211–245.
- 3) 楠 豊和, 岸田令次, 佐藤やす子, 門田哲夫, 小山洋道: 下等脊椎動物の顎運動中枢, 日本歯科評論, No. 516: 181–186, 1985.
- 4) Corbin, K.R.: Observations of the peripheral distribution of fibers arising in the mesencephalic nucleus of the fifth cranial nerve. *J. Comp. Neurol.* 73: 153–177, 1940.
- 5) Jerge, C.R.: Organization and function of the trigeminal mesencephalic nucleus. *J. Neurophysiol.* 26: 379–392, 1963.
- 6) Linden, R.W.A.: Properties of intraoral mechanoreceptors represented in the mesencephalic nucleus of the fifth nerve in the cat. *J. Physiol. (Lond.)*, 279: 395–408, 1978.
- 7) Gonz  ro-Sanz, L.M., and Insausti, R.: Fibers of trigeminal mesencephalic neurons in the maxillary nerve of the rat. *Neurosci. Lett.* 16: 137–141, 1980.
- 8) Amano, N., and Iwasaki, T.: Response characteristics of primary periodontal mechanoreceptive neurons in the trigeminal mesencephalic nucleus to trapezoidal mechanical stimulation of a single tooth in the rat. *Brain Res.* 237: 309–323, 1982.
- 9) Shigenaga, Y., Doe, K., Suemune, S., Mitsuhiro, Y., Tsuru, K., Otani, K., Shirana, Y., Hosoi, M., Yoshida, A., and Kagawa, K.: Physiological and morphological characteristics of periodontal mesencephalic trigeminal neurons in the cat— intraaxonal staining with HRP. *Brain Res.* 505: 91–110, 1989.
- 10) Jones, T.E., Yoshino, K., Kawagishi, S., Iwamoto, M., and Amano, N.: The central termination of trigeminal mesencephalic neurons in the rat. *J. Kyushu Dent. Soc.*, 55: 364–384, 2001.
- 11) Byers, M., and Dong, W.K.: Comparison of trigeminal receptors location and structure in the periodontal ligament of different types of teeth from the rat, cat, and monkey. *J. Comp. Neurol.* 279: 117–127, 1989.
- 12) Shimizu, T.: Tooth pre-pain sensation elicited by electrical stimulation. *J. Dent. Res.*, 43: 467–475, 1964.
- 13) 三輪全三, 小野博志, 角野隆二: ヒト歯髄の電気刺激により誘発される感覚と反応, 歯基礎誌, 23: 565–575, 1981.
- 14) Holland, G.R., and Robinson, P.P.: The number and size of axons at the apex of the cat's canine tooth. *Anat. Rec.* 205: 215–222, 1983.
- 15) Cadden, S.W., Lisney, S.J.W., and Matthews, B.: Aβ fibre innervation of tooth-pulp in the cat, with a discussion of the functions of nerves supplying tooth-pulp. In: Matthews, B. and Hill, R.G. (Eds.), *Anatomical, Physiological and Pharmacological Aspects of Trigeminal Pain*. Excerpta Medica, Amsterdam, 1982, pp. 41–49.
- 16) Dong, W.K., Chudler, E., and Martin, R.:

- Physiological properties of intradental mechanoreceptors. *Brain Res.* 334: 389-395, 1985.
- 17) Kristensson, K., Olsson, Y., and Sjöstrand, J.: Axonal uptake and retrograde transport of exogenous proteins in the hypoglossal nerve. *Brain Res.* 32: 399-406, 1971.
 - 18) Furstman, L., Saporta, S., and Kruger, L.: Retrograde axonal transport of horseradish peroxidase in sensory nerves and ganglion cells of the rat. *Brain Res.* 84: 320-324, 1975.
 - 19) Arvidsson, J.: Location of cat trigeminal ganglion cells innervating dental pulp of upper and lower canines studied by retrograde transport of horseradish peroxidase. *Brain Res.* 99: 135-139, 1975.
 - 20) Chiego Jr., D.J.C., Cox, C.F., and Avery, J.K.: H3-HRP analysis of the nerve supply to primate teeth. *J. Dent. Res.* 59: 736-744, 1980.
 - 21) Marfurt, C.F., and Turner, D.F.: The central projections of tooth pulp afferent neurons in the rat as determined by the transganglionic transport of horseradish peroxidase. *J. Comp. Neurol.* 223: 535-547, 1984.
 - 22) Capra, N.F., Anderson, K.V., Pride, J.B., and Jones, T.E.: Simultaneous demonstration of neuronal somata that innervate the tooth pulp and adjacent periodontal tissues, using two retrogradely transported anatomic markers. *Exp. Neurol.* 86: 165-170, 1984.
 - 23) Amano, N., Yoshino, K., Andoh, S., and Kawagishi, S.: Representation of tooth pulp in the mesencephalic trigeminal nucleus in the cat, as revealed by retrogradely transported horseradish peroxidase. *Neurosci. Lett.* 82: 127-132, 1987.
 - 24) 吉野賢一, 安東俊介, 河岸重則, 山本英次, 橋本元伸, 松岡弘毅, 岸本一雄, 天野仁一朗: HRP逆行性輸送による歯髄支配の三叉神経中脳路核および三叉神経節ニューロンの形態学的研究. *歯基礎誌*, 30: 293-305, 1988.
 - 25) Yoshino, K., Andoh, S., Kawagishi, S., Yamauchi, M., Jones, T.E., and Amano, N.: Innervation of the tooth pulp by the mesencephalic trigeminal nucleus in the cat: A retrograde horseradish peroxidase study. *Brain Res.* 503: 152-155, 1989.
 - 26) 吉野賢一, 河岸重則, 高月義子, 橋本元伸, 天野仁一朗: 電顕によるWaller変性判定法を用いた歯髄支配の三叉神経中脳路核ニューロンの研究 (ネコ). *九州歯会誌*, 48: 327-341, 1994.
 - 27) 吉野賢一: HRP法による歯髄支配の三叉神経節及び中脳路核一次ニューロンの種差に関する研究. *九州歯会誌*, 50: 600-610, 1996.
 - 28) Pan, C-Y.: Properties of primary afferent neurons in the feline mesencephalic trigeminal nucleus responding to electrical pulpal stimulation. *J. Kyushu Dent. Soc.* 51: 13-28, 1997.
 - 29) Amano, N., Yoshino, K., Kawagishi, S., Takatsuki, Y., and Yanase, Y.: Dual innervation of the tooth pulp by the mesencephalic trigeminal nucleus and trigeminal ganglion occurs in the cat, dog and monkey, but not in the rat and rabbit: An HRP study. *Dentistry in Japan*. 35: 25-29, 1999.
 - 30) Mesulam, M.-M.: Tetramethylbenzidine for horseradish peroxidase neurohistochemistry: A non-carcinogenic blue reaction-product with superior sensitivity for visualizing neural afferents and efferents. *J. Histochem. Cytochem.* 26: 106-117, 1978.
 - 31) Gottlieb, S., Tayler, A., and Bosley, M.A.: The distribution of afferent neurons in the mesencephalic nucleus of the fifth nerve in the cat. *J. Comp. Physiol.* 228: 273-283, 1984.
 - 32) Dahlin, L.B., and McLean, W.G.: Effects of graded experimental compression on slow and fast axonal transport in rabbit vagus nerve. *J. Neurol. Sci.* 72: 19-30, 1986.
 - 33) Schwanzel-Fukuda, M., Morrell, J.L., and Pfaff, D.W.: Polyacrylamide gel provides slow release delivery of wheat germ agglutinin (WGA) for retrograde neuroanatomical tracing. *J. Histochem. Cytochem.* 31: 831-836, 1983.
 - 34) Matthews, B.: Responses of intradental nerves to electrical and thermal stimulation of teeth in dogs. *J. Physiol. (Lond.)* 264: 641-664, 1977.

なお、記事の内容に関してコメント等がございましたら、下記住所宛ご一報賜われれば幸いです。

〒802-0052 北九州市小倉北区霧ヶ丘1-2-4

天野 仁一朗

支部だより

滋賀県

平成19年度滋賀県支部総会・学術講演会

平成19年9月9日、彦根城築城400年祭に沸く彦根市、彦根プリンスホテルにて滋賀県支部総会・学術講演会が開催された。厳しい残暑の中80名近い会員の先生方にお集まり頂き会計収支決算、事業計画案、予算案、役員改選等の協議がなされ、滞りなく議決された。

続いて行われた学術講演会には講師として母校、口腔治療学講座、林 宏行教授をお招きして

テーマ『信頼と安心、満足の歯科医院』、演題「エンドのモチベーションの展開にエビデンスを知る」との内容でご講演頂きました。その中で少し演題とは違う内容のことを話されました。今の学生は臨床実習で患者さんと話をすることができない、コミュニケーションが取れないとおっしゃられていました。今の若い人は自分と同年代の人とは話ができるけれども歳の離れた大人とは話をすることができないと近年言われていますが、このようなお粗末な精神構造のものが医療界にまで氾濫しているとは恐ろしい話で、将来に希望の見えない展開に暗澹たる気持ちにさせられました。

学術講演会後にご来賓の方々を交え記念写真撮影、懇親会を行いました。三谷 卓同窓会会長、村上 勝理事長職務代行・同窓会名誉会長、森田 章介学長代理・口腔外科学第一講座教授にご祝辞を賜り、佐々木幸夫教授から学内報告をして頂きました。また近畿地区の府県同窓会会長、近隣大学の同窓教授等大勢のご来賓の先生方にご来彦頂き盛況のうちに懇親会を終えることができました。お礼申し上げます。2次会を同ホテルスカイラウンジ、また場所を変えて3次会となかなか開放してもらえない方々もいらっしゃったようです。来年度は大津にて開催の予定です。

(大28回 井本達也 記)



滋賀県支部総会 於彦根プリンスホテル 平成19年9月9日

香川県

冊子「正しく噛んで食べる—食育と健康」発行

2005年6月10日、国民の「食」に関する教育に国や自治体が行き組むことを定めた「食育基本法」が成立しました。同法は、食育を知育・徳育・体育と並ぶ重要な教育と位置づけていますが、知育・徳育・体育には「基本法」がありません。「基本法」の多くは、国や自治体の責務を示すと同時に、国民の責務や努力規定を掲げています。

実質的に「基本法」の性格をもつ「健康増進法」は「生涯にわたって健康の増進に努めなければならない」と国民の責務を定めていますし、食育基本法は「生涯にわたり、健全な食生活の実現に自ら努めるとともに、食育の推進に寄与するよう努める」ことが国民の責務だとしています。

この食育基本法は条文からして「食育は……農山漁村の活性化と我が国の食料自給率の向上に資するよう、推進されなければならない」という内容で食のさまざまな要素のうち食料供給の側面があまりにも強く出過ぎていて、その「食育」のいろいろな要素を取り入れていません。その第一が、「噛んで食べる」ことに関しての歯科口腔保健からの観点です。2004年12月に発表された日本学術

会議の咬合学研究連絡委員会報告「咬合・咀嚼が創る健康長寿」では「食べる」ことを「身体的・精神的に健康な状態を維持するための基本的な活動」と位置づけ、健康長寿に必要なのは「噛んで食べる」ことだとしています。「健康長寿を確保するための歯科医療の推進」の具体的目標として、「口腔の健全な発育を促し、食を育む体制の整備」など、歯科の視点から「食育」への取り組みの必要性を指摘しています。

そこでこの度、香川県支部食育委員会は“専門職”として幼児から高齢者まで全員の最重要部位（顎口腔系）に関係する者として「基本法」に掲げる「生涯にわたり、健全な食生活の実現」に自ら努めるべきだと自覚し、食育の推進に寄与すべき食育の最も重要な案件を提言したく、冊子を作成致しました。

同窓会員からの忌憚のないご批判を仰ぎたいと存じます。

問い合わせ先

〒760-0052 高松市瓦町1-12

TEL・FAX 087-834-6622

編集文責者 小谷一晟（大17）

高知県

平成19年度高知県支部総会

去る平成19年8月25日(土)に、サンライズホテルにて平成19年度高知県支部総会が開催されました。

岡本千早也先生（大34回）の司会で開会し、まず去る8月16日にご逝去された理事長・学長の今井久夫先生、また平成18年9月6日にご逝去された桑名一彦先生（大5回）のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。

高知県支部会長・西岡征二郎先生（大12回）の挨拶の後、ご来賓の大阪歯科大学同窓会副会長・白神進先生（大8回）からは、石井みどり参議院議員の選挙戦の結果についての説明、10月20日に大阪のリーガロイヤルホテルで開催される第16



回全国同窓会会員大会への参加のお願い、大学経営改革の現状等について、また森田章介教授（大24回）からは、2011年の大学創立100周年に向けて大学経営改革や教育改革等についてのお話を賜



高知県支部総会 於 サンライズホテル 平成19年 8月25日

りました。

引き続き、大阪歯科大学同窓会専務理事・生駒等先生（大16回）から、平成19年春の叙勲で、川添光一先生（大3回）が旭日双光章を賜ったこと、平成19年11月25日（日）に同窓会学術研修会が大阪国際会議場で開催されること、9月16日（日）午後2時から今井久夫先生の大学葬が楠葉学舎にて行われること、および10月20日の全国同窓会会員大会への参加のお願い等の同窓会報告を頂きました。

そして、森田章介教授から学内報告があり、その主なものとして学長選挙が9月12日に行われること、歯科矯正学教授の川本達雄先生（大12回）が今春で定年退職を迎えられたこと、現在学生数788名中311名（約40%）、大学院生数75名中24名（約32%）と女性の割合が増えていること、今年度入試に関しては推薦入試が11月17日、一般入試が平成20年2月4日、5日の両日に行われること、

オープンキャンパスが楠葉学舎で今年はずでに2回開催され、3回目が11月3日の大学祭（楠葉祭）と同時に開催されること、厚生労働大臣と文部科学大臣の確認事項として大学入学定員の削減と歯科医師国家試験合格基準の引き上げが検討されていること、また本学では教員の教育資質の向上や学生の教育評価を適正に行い、国家試験の合格率を私立歯科大学の中で上位3校にまで上昇させるべく努力を重ねているなどの説明がありました。

議事では、前田芳久先生（大20回）が議長に選出され、長野健司先生（大35回）から会務報告、長野哲也先生（大21回）の会計監査報告、土本祐輔先生（大48回）による会計報告があり、支部総会は閉会しました。

懇親会には、高知県歯科医師会から恒石会長、秋山副会長、織田専務にご出席して頂きました。

（大41回 岡崎圭助 記）

佐賀県

平成18年度佐賀県支部総会、佐賀県・長崎県支部合同懇親会

6月9日（土）嬉野温泉大正屋において、平成18年度佐賀県支部総会が開催された。支部総会終了後、長崎県支部との合同懇親会が開かれ、来賓として

同窓会本部から三谷 卓同窓会会長、生駒 等専務理事、恩田信雄常務理事、大学からは口腔病理学田中昭男教授にご臨席を賜りました。また、長崎県・佐賀県からの会員の出席は24名であった。

懇親会は開会の辞を佐賀県支部副会長門司研一

先生（大14回）が述べられ、同窓会副会長・九州ブロック会長・佐賀県支部会長大坪 稔先生（大8回）、長崎県支部会長明石範俊先生（大9回）、来賓の先生方のご挨拶後、長崎県支部石橋隆介先生（専25回）の乾杯の音頭により宴がはじまり、和やかな歓談のうち、閉会の辞を長崎県支部専務理事山口邦雄先生（大16回）が述べられた。

（大34回 荒木和也 記）

長崎県

長崎県支部総会

平成19年6月9日（土）佐賀県嬉野温泉大正屋で総会を開催した。県外での開催は今回初めての試みである。

山口邦雄専務理事（大16）の進行で赤司範俊支部長（大9）の挨拶の後、議事に入った。音山泰宏副支部長（大14）、神谷治雄常務理事（大21）の会務報告、会計報告に続いて飯盛光朗監事（大10）が監査報告を行い承認された。会費未納が議題に上がり、未納会員の状況により本部預り、本人への最終的意思確認、除名が決定された。

総会後の懇親会は同旅館で総会を開催した佐賀

県支部の諸兄と合流した。合同での記念撮影のあと司会進行は福島正博先生（大21）で門司研一先生（大14）の開会のことばがあった。大坪 稔佐賀県支部長（大8）、赤司範俊長崎県支部長のご挨拶のあと来賓の三谷 卓同窓会会長（大8）、生駒 等同窓会専務理事（大16）から今秋開催される第16回全国同窓会会員大会への参加を依頼する旨のご挨拶を頂いた。大学からは田中昭男教授（大22）から人事、教育などの学内の状況が報告された。

会場最長老で唯一専門学校卒である石橋隆介顧問（専25）の元気な乾杯の掛け声で宴会に入った。佐賀県支部の人脈の広さで、ずらりと芸子衆が揃えられ華やいだものになった。

山口三男先生（大23）が学歌斉唱の指揮をとり、恩田信雄同窓会常務理事（大21）の万歳三唱で合同懇親会は無事閉められた。

筆者は三次会まで同行したが、その後は何次会まで盛り上がったものやら詳細未確認のため記載しない。

この度の合同総会の開催にあたり、佐賀県支部の先生方には準備などで大変お世話になりました。心より感謝申し上げ報告と致します。

（大22回 寺田賢太郎 記）



長崎県・佐賀県支部合同懇親会 於 嬉野温泉 大正屋 平成19年6月9日

クラス会だより

専 15

2007夏号に投稿して早6カ月が過ぎました。今年は7月以来格別の猛暑が続きましたが、級友の皆さんお変わりなく猛暑をのり越えて頂いたことと思います。10月の声をきいてやっと朝夕が涼しくなり凌ぎよくなりました。

歳を取ると一日一日は長く感じますが、過ぎてみると3カ月5カ月6カ月と時の経つのがやたらと早く感じます。

先の2007夏号にお約束致しましたので次の号にも何か投稿しなければと、勇気を鼓舞してペンを取りました。



平成19年5月1日 香川県直島にて

15回生のクラスメートも数少なくなり、いつも皆さん如何お過ごしかと思ひながら、なつかしい思い出を大切に日々過ごしている私です。お蔭様で私至極元気で何をするともなく過ごしていますが、今ごろは毎日の日課として1日1万歩を目標に朝と夕方歩いております。まだまだこの状態は当分大丈夫であろうと自分にいい聞かせて、定刻がくると、服装を整えて運動靴をはいて外出、外気を存分に吸って歩きます。出逢う人たちから声をかけられ大いに元気付けられています。こんな毎日を過ごせる幸せを感じています。

掲載の写真は本年5月1日、アートの島として有名な香川県直島（岡山県宇野港沖にある島）に私にはよく判らない芸術アートを見学してきたものです。元気な内にこうしたいろいろのものを気候の良い時に出掛けて見たいと思っております。

どうぞ級友の皆さん、くれぐれもご健勝にてお過ごし下さいますようお願い申し上げます。

平成19年10月2日

（高木恭三 記）

専 21

天作会（専21回）お便りは、まずは会員の訃報から行います。非情なことながら、天命というか、よる年波に勝てず他界されました。最近では京都府、中川学兄（18. 8. 26永眠）は学生時代はラグビー部で活躍され、卒後は開業の傍ら大歯同窓会の役員として、永らくその任に当たられました。

非常にユーモアのある元気なお方で、人を笑わせることが得意なお見受けしました。京都で天作会開催の折、観光のご案内を頂きました。日野学兄と私と3人で東山近辺の南禅寺などに行った思い出があります。

四国・松山市の日野学兄（19. 8. 28永眠）は風貌見るからに駿英で、人を引きつける英才であったと思います。小生も学校校医会全国大会の折、時々お目にかかりましたが、いろいろの役職をもって、歯科医師会というに及ばず地域社会に貢献

されている由、承りました。四国・松山市の俊英を失い、誠に残念と思っております。

次に天作会大阪の開催について

①平成19年5月5日

天作会大阪の会合を開催。当日は正午に梅田北新地・木曽路に集合。出席者は板谷、村上、上田、岡本、後藤、浜口、赤根、以上7名（敬称略）。

上田学兄は遠路、奈良県三輪から参加、ご息女が送ってこられまして、いろいろ写真を撮って頂きました。

岡本学兄は、久しぶりに懐かしい顔を見せてくれました。ご息女が同伴してご出席して下さいました。

和気あいあいのうちに時のたつのも忘れ、昔話に花を咲かせました。次期開催を約束し3時頃解散しました。

②平成19年9月5日(水)

平成19年度会計監査をかねて、本年度第2回目の

会合を、梅田北新地・木曽路に6時集合で行いました。

出席者は板谷、村上、浜口、赤根、以上4名（敬称略）。席上、板谷学兄から、中川、日野両学兄の死去、ならびにその他の会員の状況の報告がありました。その後、会計監査に入り、また村上会計から18. 9. 1～19. 8. 31の期間の詳細な報告を受けました。村上学兄には計報、会報、会計一切の報告、資料収集、印刷、発送に至るまで全てお引き受け頂き、感謝致しております。

今年は大菌同窓会、全国大会（19. 10. 20）が大阪ロイヤルホテルにおいて開催されますが、高齢のため参加は見送る由でした。その他、次期開催を平成20年5月5日、梅田・木曽路において正午集合、昼食会を行う予定です。

他府県の会員の皆様も多数、ご参加下さいますようお願い致します。（板谷、村上、赤根 記）

専 22

清澄会だより

例年にない猛暑が続き、体調維持に苦労したが、やっと秋らしくなり、ホッとしている。清澄会の諸君は如何にお過ごしですか。

さてこの号も尼崎市の椿君、大阪の高垣君、愛媛（大阪から転地）斉藤君の三君の計報を記載しなければならない。高齢者の集団となったので止むを得ないと思うが、寂しい限りだ。

故 椿 正美君、平成19年5月26日逝去。兵庫県尼崎市で、我々より元気で診療に従事していたのに、先に旅立ってしまった。まことに残念である。謹んで哀悼の意を表します。

故 高垣雄二郎君、平成19年6月23日逝去。思えば学生時代からハーモニカの名手で、いろいろ私達を楽しませてくれた。大変な世話好きで、第一生命ビルで盛業中にもかかわらず、清澄会の親睦旅行の計画などをしてもらって、大阪駅の駅長室を見学した思い出など数々ある。それで渾名が国鉄総裁で、旅行は何でも彼に相談したものだ。

甲陽高校の同窓会長も引き受けて後進の指導にも当たっていた。

これ以上の詳細なエピソードなどは、ご長男の健太郎君の麗筆にお任せすることにする。



故 高垣雄二郎君

父の想い出

6月23日(土)、家内から10時半頃電話があり、「お父さんが大変なことになっているから、すぐ帰ってきて」とのこと。90歳になって近頃は歩くのも覚束なくなっていたので、転倒して気でも失ったのか——と軽く考えて、いつものように診療を終え帰宅しました。

ベッドに眠っているような感じで横たわっている父を見た時、思わず肩を揺さぶって「如何したのですか？」と声をかけたい衝動に駆られました。それ程穏やかで何か楽しい夢でも見ているような

表情でした。

父との思い出というと、やはり家族旅行です。それは高校まで続きました。どの列車に乗るか？どこで下車し歴史博物館の見学をする等々、あまりにもたくさん行き過ぎて頭に残っている旅行は少ないのですが、「天皇、皇后両陛下がお泊まりになった部屋です。今日はこの部屋に泊まって頂きます」と言われたことは覚えています。子供には贅沢すぎる経験をさせて貰っていたようです。

父は観光開発をするのが得意で、各々の県の特徴を見出し、旅人を運び、楽しませることを考えるのを喜びにしていました。その関係で各県の知事、市長の方々とも親しくお付き合いをして頂いていました。

それが国鉄時代の「長距離エック」、一枚のキップで日本（東京、大阪）からソウルへ行く日韓共同キップを提唱、発売となりました。

最近では日韓トンネル（日韓鉄道海底トンネル）を作ることを夢見、「今の技術水準だと可能だ、ネックになる北朝鮮の金正日に掛け合ってこようか？」などと冗談混じりに楽しそうに話していました。

後4、5年は生きると思っていたようで、そのように行動していた父に急逝され、長男の私は残務整理に追い回される毎日を過ごしています。

（大17回 高垣健太郎 記）

このように、高垣君は観光開発の大きな夢を胸に抱きつつ楽しい一生を終わったこと、さぞ満足であったと察します。残されたご家族を優しくお見守り下さい。謹んでご冥福をお祈り致します。

合掌



故 斉藤 昇君

大阪の住吉で開業していた斉藤 昇君が、9月23日に逝去した。一人娘さん（歯科医）が、愛媛県の宇和島市の田中氏と結婚、老夫婦で生活していたが、4年程前に娘さんの近くへ引っ越して幸福に暮らしていた。一昨年ぐらゐに膀胱癌を発症し抗癌剤の投与を受け、春頃まではまずまずであったが、今年の酷暑が堪えたか症状悪化、遂に帰らぬ人となった。彼は絵も字も上手で、時々私に絵葉書で近況を知らせてくれたのに、残念なことである。しかし愛娘に見守られながら89歳の天寿を全うしたことは満足であったと思う。天国の昇君、どうか残されたご家族をお守り下さい。謹んでご冥福をお祈り致します。合掌

（和田茂之 記）

専 23

前号に私の内藤先生に対する追悼文掲載後のご報告を申しあげます。

徳島県歯科医師会があるたびには、ご挨拶だけはしていた先輩の先生から、「君の追悼文を読んだぞ」とのお手紙を頂いたことで非常に感激し、それから文通が始まりました。この先生とのお付き合いを始められたのは、内藤先生が取り持つ先生からのプレゼントだと思っています。

内藤先生の奥様と若先生から追悼文に対してご丁寧なお電話を頂き、いつも変わらぬお心遣いに感謝しています。今までにたくさんの追悼文を書

きましたが、お返事を頂いたのは初めてでとてもうれしく思っています。

平成18年10月6日に友村忠彦君が亡くなっていると会報を見て知りました。彼も立派な体格の持ち主でした。牧野に下宿していたように思いますが、卒業後会っておりませんでした。ご冥福をお祈り致します。

君の追悼文読んだと同級の先生からお手紙を頂き、「元気と思っていた学友が次々に亡くなり、生かされている日々を大切にボツボツ過ごしましょう」とのうれしいお便りを頂き同感です。お心遣いを頂いてとてもうれしく感じました。有り難うございます。

このように4人の方々から、それぞれのうれしいお便りを頂き、クラス会だよりの取り持つご縁

で親睦の輪が広がりうれしく思います。クラスの皆様も「クラス会だより」を利用して頂いて、クラス会を開く代わりに投稿して頂き、残された人生を学友同士の親睦の糧として広げたいもので

す。

この原稿はボケ防止のために私がワープロで作りました。

専23回の皆様お元気で。 (吉田敏夫 記)

専 27

第60回牧陵会開催

今年の夏は温暖化のため、暑い陽が照りつけ、9月23日の秋分の日をすぎても続き、10月6日になりやっと29℃-17℃となり、すこし涼しくなってきました。会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。

私達が卒業後毎年欠かさず続けてきたクラス会は60回をかぞえました。今年はH19. 9. 27に大歯大14Fのレストラン「プラザ14」で開催されました。午後1時から1階の所で堤君、藤田 和君の出迎えを受け、14Fへ向かう。受付を終了して特別室で手荷物を預かり『ODCウェルネスホール』の附属病院の名物温泉につかって頂く。上気した頬で大阪城を目前にし、また天神祭の舟渡御を眼下に、東に生駒山をながめる景観のよさに話ははずむ。4時に写真撮影をして会合がひらかれる。まず堤 真澄君世話人代表が進行をあずかり、

挨拶ののち物故者に黙祷を捧げる。本年度は三重県津市一身田町の池部 完君と香川 博君の二氏でありました。

ついで議長に北島君がつき、菊池が庶務会計報告を行い承認を得ました。物故者数が卒業時の半数を超えました。また本人のご病氣や家族の不調のため欠席が多くみられたのは残念なことでした。協議題には牧陵会はもうしばらく続けるということになり、次回は京都・滋賀の方々をお願いすることになりました。どうか健康に気をつけて多数の来場をお待ち致します。

さて懇親会は各自がなにかをしゃべることになり和気藹々のうちに時間となり再会を約束してお開きになりました。今回は曇りとなり生駒の山の端にでる居待月はみれませんでした。午後9時頃には真円の満月が中天にかかり帰宅を見守ってくれていました。

出席者 堤君、壺坂君、小早川君、菊池が同伴で、単身者は岡田、三木、藤田和、藤田三郎、西原、野添、稲川、山本勝、北島、堀井でした。

岡田 武君が「大空への翔り」という私小説を



専27 第60回牧陵会総会 於 大阪歯科大学附属病院 平成19年9月27日

発刊されました。下北半島東通村の尻屋崎での九郎太の努力と先見性を見事に書きつくしておられます。必読の書と思いました。先生の前著書「一万七千六百九十七石」を出版されたのに続きまし

たものですが、次の刊行としては「四代の罫」「なんの五千石」「君が代考」等を予定されています。

住所 高槻市高槻町10-20-502 TEL 072-681-8760です。
(Y. K. 記)

専 29

“太田名誉教授の受章祝賀会盛大に行われる”

クラス会会長の太田君が、研究成果と長年の教育活動が認められて、瑞宝中綬章受章の栄に浴されました。

この栄誉の祝賀会が、解剖学講座が中心となり、8月11日、京都ホテルオークラで行われました。

太田君は祝賀会は地道に行いたいとの意向でしたが、学術的な功労と人柄とで、大学、学会、歯科医師会関係等から100名の出席がありました。祝賀会は、諏訪教授や岡野名誉教授から、研究室でのエピソードを含めての祝辞等々、終始なごやかで、功績を讃えるのにふさわしい会となり、出席した29回生京都人会の我々も鼻高々でした。そ



太田義邦名誉教授

して、同級生一同、太田君を中心として八十路を元氣ですごすことを約束した一日でもあったことをあわせて報告致します。

平成19年8月3日笠井武生君逝去、ご冥福をお祈り致します。
(増田一郎 記)

専 30

専門30回クラス（みとは会）だより

全国みとわ会の皆様、お元気ですか？後期高齢者の同輩でご体調を崩され、病院生活や自宅療養でご不自由な先生方には1日も早くご回復をお祈り申し上げます。

毎年クラスだよりには、悲しいお知らせばかりで申し訳ありませんでしたが、今回は平成19年秋の叙勲で、小川靖彦先生（兵庫県）が旭日双光章を受章され、不肖木下は瑞宝中綬章を受章致しました。小川先生は多年にわたる歯科医師会関係のご功績が認められ、私は皆様のご指導ご協力の

賜物と感謝致しております。

一方、同窓会報176号以降に柴田 徹先生（奈良県）が平成19年9月5日にご逝去され、クラス会の京都府地区代表として大変お世話になりました安岡四郎先生（京都府）が9月8日に永眠されました。ここに謹んでお知らせを申し上げるとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

また、大阪歯科大学同窓会では、全国会員大会が盛大に開催され、この機会にみとわ会もクラス会を開催致しましたところ、会員26名、ご家族11名のご参加を頂き、ご来賓として大阪歯科大学学長川添堯彬先生（現在理事長・学長）、理事長職務代行村上 勝先生、大歯同窓会副会長桜井眞行先生、大歯同窓会大阪府支部専務理事恩田信雄先生、大阪府歯科医師会副会長下村錢三郎先生、同

常務理事加藤信次先生のご光来をえまして錦上花を添えて頂き、盛大にしかも和気藹々のなかで開催することができました。ご参加の会員並びにご家族の皆様方に厚くお礼申し上げます。来年も大阪みとわ会が中心となって大阪で開催を予定しておりますので、よろしくご参加下さいますようお願い申し上げます。(クラス代表 木下善之介 記)



安岡四郎君を偲んで

平成19年度のクラス会のご案内と同時にアンケートのお願いを発送したのが、8月8日のことでした。いつも真っ先に参加するとの返信があるのに、今回はご令息の良介先生(大学30回卒)から、親父は体調を崩して入院しておりますので、参加ができず残念がっておりますとの返信を頂きました。さっそくご令息に電話して詳しい内容をお聞きして、8月6日に京都医療センターにお見舞いに行きましたところ、今まで入院したことのない、また、歯科医師会での集団検診でいつも異常がないと自慢していた安岡君がすでに胃癌の末期症状で抗癌剤や緩和ケアで入院しており、あまりにも残酷な現実の姿を拝見して思わず涙がこぼれ落ちそうになりました。今年の夏は例年になく猛暑で体力の消耗も著しく、早く涼しい秋の到来を願

うのみでした。ご家族の手厚い看護と薬石効果がなく、ご令息から9月8日のお昼前に父が亡くなりましたとの訃報が入りました。

死生、“命なり”とは申しながら、これはなんたる非常の運命でありましょうか。四郎君はすでに幽明境を異にして、永久に相見ゆることができないのであります。

四郎君とは学生時代からの親友で、よく遊びよく遊んだ仲であり、ダンス、ゴルフを私が教えておりながら、いつしかプロ並みの腕前になり、ゴルフは毎年夏にご夫婦でハワイで数日プレーすることを楽しみにしておられたが、もうその勇姿を拝見することができず、多分あの世でプレーされていると思います。

先生は、昭和27年に京都市伏見区でご開業され、京都府歯科医師会で共済委員、会館建設委員、共済部員、学術部員、保険部員、伏見区支部長、京都府歯科医師会理事、監事等を歴任され、特に、国保審査委員、社保審査委員、基金副審査委員長、社保専任審査委員等の数々の要職を歴任されてこられました。その功績が認められ、京都府知事保険功労章、厚生大臣保険功労章等の他、数々の感謝状、表彰等を受けられております。

生者必滅、会者定離とは申しながら、今後四郎君と相見えることができない悲運ではありますが、彼との結ばれた友情の思いでは終生消えることがないでしょう。生前の友情に感謝するとともに、残されたご家族のご加護とともに、安らかにお休み下さい。心からご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

(木下善之介 記)



三二会

皆さん、お元気でいらっしゃいますか。前号で今後の三二会運営についての役員会の結果をご報告致しました。従って現在会費の徴収は致しておりません。次の第51回総会は東海地区で行うようお願いしており、いま常喜副会長と名古屋の磯貝氏が連絡をとり合っておられます。後日お知らせできると思います。

悲しいことですが、大阪歯科大学理事長・学長の今井久夫先生がお亡くなりになりました。同級の今井政一氏の弟君ですので私など学長には大切に頂きました。先生は病気にもかかわらず、大学の経営に、学問の研究に日夜を分かたずご尽力をされておられたお姿が偲ばれます。心からお悔やみ申し上げます。

さて6月になった頃であったか渡部相談役から電話があり、和歌山の鈴木住尚君が我が国古武道の弓道界での最高の功労章を受けられたとのことでした。私など鈴木君とは個人的なおつき合いもなく、鈴木君が和歌山県歯で長年役員としてご活躍され、また三二会においても副会長としての職責を務めておられました。平成13年秋に勲五等双光旭日章をお受けになっておられ、三二会からお祝いを送らせて頂いたことがありました。渡部氏の話によれば…鈴木君の父上は弓道に秀でておられ（範士）、鈴木君が若い時から父上に師事されておられたそうです。昭和55年範士になられ、その後平成19年に九段になられ殿堂入りをされておられます。現在は和歌山県弓道連盟会長、全日本



鈴木住尚氏

弓道連盟副会長を務めておられます。また今はフランス・ノルマンディに道場を作り弓道での夢を持ち続け精神的にもアウフヘーベンしておられます。このたびの我が国弓道界の最高峰に立たれたご功績を称えると同時に今、今後のご活躍をお祈りします。またお顔を見せて下さい。

10月20日、リーガロイヤルホテルで第16回全国同窓会会員大会が盛会裡に行われました。会場は多人数で溢れ、中で颯爽と現われたのは高木順彦君、元気者の徳島の加藤邦義君、いつお会いしても和む心にさせて頂ける奥さま、ファッショナブルな岸本律子さん、学生時代階段教室での笑顔そのままの坂野貞恵さん、賢夫人然とした黒瀬益子さん、いつお会いしても仲の良い安田清子さんご夫妻、ご主人は私より10歳も上であられますが（専23回）、お元気そのもののお方で私にもよく運動せよと励まされました。皆さんお顔を見せて頂いてありがとうございました。

（報告）

受章

平成19年春 瑞光双光章 志水和夫（兵庫）

おめでとうございます。

訃報

平成19年6月1日 大野経則（大阪）

25日 林 正治（大阪）

26日 森 毅（京都）

10月15日 増田義勝（大阪）

心よりお悔やみ申し上げます。

（木村慎一郎 記）

大学2回クラス便り

今年の盛夏は何十年ぶりの猛暑で、40℃を超える地域もあり、地球の温暖化と関係があると報じられていました。しかし9月中旬を過ぎるとやはり初秋を肌を感じ、私たち老軀には有り難い季節の訪れです。

次期同窓会会報への投稿時期が毎年10月30日であることに気がついて、慌てて投稿原稿を作成しました。今年の2回生クラス会が実は11月10日に大阪ヒルトンホテル（ヒルトン大阪）で開催されることになっていたのです。そのクラス会報告も兼ねて会報へ投稿すればよいと当初から錯覚していました。同窓会事務局編集部をお願いして投稿受理の期間について配慮して頂きました。

9月18日(火)、級友今井康夫君の訃報が突如として大阪歯科大学同窓会本部から私の手元にファックスで送られてまいり、あまりにも急なことでその真偽を疑うほどでした。年度初めに西田昭二君、寺内一彦君両名の訃報に接して、続いての悲しい知らせにがっくりと肩を下ろす思いで胸が痛みます。改めて紙面を借りてご家族へ敬弔の意を捧げ、お悔やみを申し上げます。また、併せて今井康夫

君の安らかな眠りとご冥福をお祈り申し上げます。

さて今年のクラス会は、大阪在住のクラスメートのお世話で開催されることになりました。現在、連絡のとれない級友を除いて61名のクラス会員ですが、クラス会総会ならびに懇親会への参加者は32名になります。久方ぶりに多数の参会で、再会と楽しいひとときをタイムスリップして話題に花が咲くことを楽しみにしています。

戦前、戦中、戦後の世相の中で生きてきた私たち世代にとっては、戦争によって荒廃した時代から生きる望みを未来に託して上を向いて歩いてきたことが、今更ながら走馬灯のような時代模様をみている思いです。

敗戦によって失われたものに、物的財産はもちろんのこと、戦争で命を賭けて散っていったあまりにも大きい知的財産、そして戦前に培われてきた儒教、仏教、神道、易教などの東洋文化の衰退があり、そのあまりにも激しい変転に目を覆いたくなる思いです。最近「壊れた日本人」と評されています。確かに多くの大事な遺産を失った日本。私たちが愛してきたこの日本を何とか心ある日本、個人それぞれが責任をもった行動がとれる(responsible)日本人であってほしいと願うのは、年寄りの老婆心であろうか。

(並河 勇、芳村清一 記)



大2 第53回大学第2回卒業生クラス会 於 ヒルトン大阪 平成19年11月10日



今井康夫君の往時を偲んで

今井康夫君とは予科の3年間毎日顔をつき合わせていたので、その頃の印象が最も強い。

同じ神戸からS・Lに乗って、片道3時間近くかけて一緒に通学していたし、また3年間同じクラスでもあった。

個性豊かなクラスの面々の中で、ダス・キンと呼ばれていて、ウブ（初心、または生まれて本来のままの経験の浅い）だった私と彼との二人はどこかウマが合っていたのかもしれない。

入学した当時、昭和23年頃は未だ戦後の色濃く、衣・食・住はもちろん交通も大混雑、列車の窓も椅子も板張りの時代、今井君が二本の白線入りの帽子、黒いマント、下駄履きで大阪駅のホームをカタカタと音を立てて、走って乗り換えるときの

姿を今でも思い出す。大学キャンパスに着いたら、ヤレヤレ、「腹がへったナー」と笑い合ったものだ。もちろん喰うものはない。

亡くなった香西君など神戸の連中と連れ立って、ハンドボール部に入れてもらったり、六甲山に飯盒炊飯に出かけたりしてよく遊び、その間に少し勉強した（今は後悔している）その頃のことは今でもよく思い出す。

最近、兵庫県の面々（友達）とは、毎年1～2回会合を持って昔話に花を咲かせている。今井君はこの数年、体調が悪いくかで誘っても出て来なかった。一度ぜひ会って…と思っているうち幽明境を異にすることになってしまった。

夫人によると、彼はここ数年パーキンソン氏病で手足がだんだんと不自由になり、入院は絶対に「イヤ」と言って自宅で闘病していたそう。今年になって肺炎を併発し、呼吸困難となり2カ月ほど入院加療、大分苦勞したが、ついに9月18日亡くなったとのことだ。残念至極！だが、あの世でまた近いうち会えるだろう。

少しの間、さようなら。（吉田欣也 記）

大 5

大五会卒後50周年記念総会開催

平成19年9月29日、些か曇り日、大阪ロイヤルホテルで、第50回総会と卒後50周年記念式典、祝賀会が開催されました。

大五会一大イベント、卒後50周年の記念事業ということで、例年より多い50名に及ぶ会員が参加され元気な姿を見せて下さり、体調不調とか都合があって欠席の方からも近況メッセージを頂きました。

総会は、日野君の司会、議長に貴治君を迎えて、報告事項のあと議事に入り、異議、質疑もなく水の流れの淀みなく承認されました。ただ第4号議案の代表幹事選出で、選出選考手続きで時間的にも余裕がなく、坂口代表の留任で引き継がれ、次期開催地の選考も、次期役員会の持ち越し案件と

なりました。それから、昨年の神戸の総会以後、平成18年11月の秋の叙勲で、愛媛県の田中雄三君が旭日双光章、大阪府の西浦 守君が文部科学大臣賞を受けられたことが披露されました。

来賓の先生方も交えての写真撮影のあと、記念式典は、吉田 洋君の司会、実行委員長の松浦君の開式の辞のあと、全員起立して力強く校歌斉唱。そして今回は急逝された今井学長をはじめ、その同じ日に亡くなられた田中雄三君のほか、卒業以来これまでの同窓の物故会員59名、そのご冥福をお祈りし追悼…黙祷。

坂口代表幹事の式典開宴挨拶のあと、ご来賓に大阪歯科大学理事長代行 村上 勝先生、学長 川添 堯彬先生、大阪歯科大学同窓会会長 三谷 卓先生、同専務理事 生駒 等先生、大阪府歯科医師会会長 岡 邦恭先生をお迎えし、ご祝辞のお言葉を頂き錦上添花を添えて頂きました。その祝辞の中から、歯科医業関係だけでなく歯科界全体を取り巻く環境が舵取りの難しい時代に暫時移り変わりつつあ

る中で、日野原重明先生の著書を引用しながら、「生涯現役、皆さんも後々の世代に伝えるべき何かを持っているはずだ、社会に貢献できる現役の人として、颯爽と先を歩いて下さい」と。「まだまだ現役」その身構えと過程が卒後50周年記念式典の主題であった、と。

引き続いて、井上一男君の司会、学長 川添堯彬先生の乾杯の音頭で始まった記念祝賀会は、一年ぶりの再会にあちこちのテーブルで、話と談笑の花が咲き乱れましたが、暫くして福原君の知縁の、大塚善章氏と長野昭子氏の「デュオプロジェクト」が登壇し、ジャズピアノとヴァイオリン演奏による絶妙なる独自アレンジした懐かしい曲の数々に暫し酔い、会場は華やかさに包まれました。

6時過ぎから始まった宴会は、9時少し前で同窓会長 三谷 卓先生の三本締めで幕を閉じ、一応、帰路につきましたが、福原君幹旋の二次会は、ホテル地階の「セラ・バー」で、時間が経つにつれ三々五々と集まってきて、秋の夜長の名残を友と語りあかしました。

昨年、神戸での総会は大阪と神戸支部の方々大変お世話になりましたが、今回も実行委員長の松浦君を中心に大阪支部の方々、幹事その他の全員が思い出に残る記念総会にしたいと、本当にご努力され、総会・懇親会を含め立派に華やかに演出して頂き、特に、行事進行プロセス設営では光満君、ホテルとの折衝関係では福原君が、写真アルバム作製では新田 賢君が、それぞれに人脈を

生かして頂いて、お骨折り頂きました。皆さん本当にそれぞれに有難うございました。

訃報

滋賀県彦根市の白石 尚君が、10月1日に亡くなられました。ご冥福をお祈り致します。

(大浦健司 記)

大五会卒後50周年（観光組）

四天王寺拝観と昼食会（平成19年9月30日）

大五会の一大イベントの記念総会祝賀会を無事に終え、翌日（9月30日）は観光に出発。総本山四天王寺、約1400年以前に聖徳太子が建立された日本仏法最初の官寺を拝観メインに午前9時30分ホテルロビーに集合、自家用タクシーに分乗、16名にて移動。

生憎の雨でも、広い境内を散策、出口管長の出迎えと自らのご案内の榮に授かり、中心伽藍、宝物館の拝観、本坊庭園、極楽浄土の庭の散策、和松庵の茶室で抹茶を頂戴し、出口順得管長のご講話を拝聴、「今日の四天王寺は聖徳太子の“和の精神”を実現するため“和宗”として独立し、教育、社会福祉など種々の事業を発展させ庶民信仰の寺として人々の心の故郷、拠り所になっております」と。

午後1時からの昼食会は都ホテル天王寺の17階の「松崎」にて、京風会席と浪速の味を楽しみ、和気藹々の団欒の一時で、次回を約束しながら、



大5 大五会全国同窓会 卒業50周年記念式典・祝賀会 於 リーガロイヤルホテル 平成19年9月29日

午後3時頃解散致しました。

出口管長の知人である光満先生など実行委員、代表幹事坂口先生はじめ役員の先生方々には、大

変お世話をおかけしたことを感謝致します。

(新田 賢 記)

大 6

六歯会だより

平成19年6月23日(土)、第49回六歯会総会・懇親会が神戸ポートピアホテルで、来賓に同窓会 権田悦通副会長と兵庫県支部同窓会豊川輝久副会長、神戸市歯科医師会西条 晃会長をお迎えして開催された。

総会は、鳥越副会長の開会のことばに続き、議長に地元の永井君を選出して進行。大野会長の挨拶に続き、慶事では日浦明吉君の瑞宝双光章受章と土井富美子君並びに山本けい君が知事表彰を受けられたことにお慶びを申し上げ、弔辞では丹田俊秀君と林 正則君の訃報が報告され、黙祷を捧げ、これにより会員数は90名となったと会務報告された。議事では、共済については会則11条の共済部規程を廃止する案が提案されたが継続審議となった。

また50周年記念事業について、準備委員会の状

況を権田準備委員長が、開催日は平成20年6月21日(土)とするが、詳細については後日お知らせしますので、ご夫人同伴で多数の参加を得て盛大な懇親会となるよう是非ご出席頂きたいと挨拶された。

(大野一郎 記)



森岡久樹君を悼む

森岡君、君は骨の髄までゴルファー

君との親密な付き合いは、ゴルフが縁で昭和60年から始まりました。その頃、私はおそまきながらゴルフを始めたいと思い、シングルプレーヤーとして有名だった君に教を乞うと、君は快く引き受けて下さり、懇切丁寧に指導してくれました。君は国内はもちろんのこと外国のゴルフ場まで連れて行って下さり、数々の思い出を作ってくれま



大6 第49回六歯会・総会 於 ポートピアホテル 平成19年6月23日

した。

君との思い出の中で特に印象的だったのは、久美浜ゴルフ場でのことです。その日は台風接近で、風は舞い、雨は縦横に激しく降っていて、とてもプレーできる状況にはありませんでした。私は最初からプレーを諦めていたのですが、君はこんな悪条件でのゴルフ体験も必要だと主張し、結局ゴルフをすることになりました。フェアウェーやグリーンは水浸しで、ラフはぬかっていました。私はゴルフを早く終えたいの一心で手抜きゴルフをしていたのですが、君は全く気をぬかず、力を抜くことなく真剣にプレーし、最後の一打までやり遂げられました。その姿は、今でも私の脳裏に焼きついており、君のゴルフ魂の一端を垣間見る思いがしました。後日、夫人から伺った話ですが、君は就寝前必ず1時間はゴルフ書を熟読し、真夜中でも目が覚めると、いつもゴルフクラブの素振りをされていたとか。君のゴルフへの情熱は、純粹というか、妥協がなく、ゴルフに対する姿勢は、奮励努力という四文字がピッタリです。君はまさ

しく『骨の髄までゴルファー』でした。

ゴルフ一筋の道をまっすぐに、休むことなく歩み続けていた君が、阪神・淡路大震災直後に脳硬塞の発作を起こして以来、11年間病魔に苦しめられ、ゴルフもできず、さぞかし無念だったことでしょう。はたから見ても辛いほどでした。しかし、花で埋まったお棺の中の君の顔は忌まわしい死の影がどこにもなく、穏やかで、ゴルフをしている時のいつもの表情に戻っていたので、ほっとしたものを感じました。お嬢さんのしず香さんが、涙ながらに君のゴルフの愛読書と手袋を君の胸の上にそっと優しく置く姿をみて、在りし日の君のゴルフ姿に思い合わせていると、目頭が次第に曇ってくるのをどうすることもできませんでした。

森岡君、どうか、君は君の好きなゴルフを続けて下さい。このことを、君への最後のはなむけにしたいと思います。

さようなら、森岡君。友情を、深く感謝致します。
(大矢信夫 記)

大 7

七夕会だより

昨年度(平成17年4月7日～18年2月20日)は9名にのぼる会員の逝去という悲しい出来事がありました。今年度の逝去者は梶山忠男君と寺本明生君のご両名でした。心からご冥福をお祈り申し上げます。

第48回七夕会総会並びに懇親会

今年度の第48回七夕会総会並びに懇親会は京都七夕が担当して、平成19年5月19日午後4時からホテルグランヴィア京都の5F草子の間〔エクレシア〕にて開催されました。昨年は44名、一昨年は27、8名の参加者でありましたので、準備委員会は京都では30余名を想定し会場の確保と準備を始めましたが、参加申し込み締め切り日までに47名の出席(うち来賓1名を含む)を得て、準備側は大慌て、ホテルの営業部長に無理をお願いし、

すでに予約の入っていた50席の部屋と交換して頂く羽目になりました。

今回特に留意したのは、料理の内容でした。以前に京都が担当したときに、会費は高いのに料理は旨くないという風評を耳にしたことがありましたので、今回は何が何でも「今日は旨かった」との声を聞きたいものとホテル側にその点を特別にお願いしました。私達の年齢になると量はあまり食べませんし、量は多くなくとも京都らしい和食を強く要望しました。その結果、ほとんどの出席者から「今日は大変満足した」との評価を頂戴し、準備に携わった者一同気分良く終えることができました。

総会は藤本会長挨拶に始まり、全ての議事が承認されました。写真撮影後、懇親会では来賓の大歯大同窓会副会長、京都府同窓会会長の堀先生のご挨拶を頂き、開宴しました。また、七夕会員の中から嘉ノ海壽八郎君、河合洋一君、藤本宣文君の3君が平成18年10月に、文部科学大臣表彰を受賞されたことが披露されました。続いて平成18年秋の叙勲に浴された嶋村昭平君に花束が贈られま



大7 セタ会総会 於 ホテルグランヴィア京都 平成19年5月19日

した。

今回の懇親会は極めて盛会裏に終了しました。卒業後久し振りに出席した人をはじめ、予想以上の出席者を得ました理由として、京都というブランドが今でも高いということ、参加費送金の方法として払い込み先指定振込用紙を使い、送金がこれまでよりも簡単であったことが考えられ、今後の総会催行のヒントになるものと考えます。

一方今、私達が会い寄りますと健康の話ばかりになりますが、そういえば京都のメンバーも五体不満足の者ばかりで、健康なうちに少しでも同級

生の皆さんと一回でも多くお会いしたい気持ちでいっぱいです。そのような思いを皆さんが抱いておられたものと考えます。今回、欠席とご返事頂いた中には現在、車椅子の生活をしているとか、腎臓透析中の身であるとかのお手紙などのお便りを頂きましたが、療養中の皆さんの一日も早いご快癒を心よりお祈り申し上げます。

最後に、本総会並びに懇親会に金一封を賜りました大歯大同窓会長 三谷 卓先生並びに同副会長、京都府同窓会長 堀 亘孝先生に厚くお礼申し上げます。
(谷 嘉明 記)

大 8

おやしらず会総会

第16回全国同窓会会員大会が平成19年10月20日にリーガロイヤルホテルで開かれたのを機に、おやしらず会の総会も開いた。毎度のことながら会員大会とクラス会の同時開催には異論の声もあるようだが、会員大会への協力、地方からの出席者はあらためて来阪しなければならないなどの事由で今回も同日開催に踏み切った。クラス会総会は大会懇親会の終了後、同ホテル6階扇の間で出席

者35名で開催した。

総会は井上君の司会ではじまり、クラス代表の会務報告、物故者への黙祷、旭日双光受章者の白神君へのお祝い金を手渡しと続いた。なお、物故者は前号報告以後、8月23日石井俊輔君、中山二郎君、9月1日船橋達天君、また8月16日には今井学長が鬼籍に入られた。以上の詳細は同窓会報175号、176号へクラス会たよりとして掲載した。

議事に入り、議長に別当君を選出、前年度クラス会の会計報告を樋口君が、クラス会の会計報告を野口君が、監査報告を藤田君が行い了承された。役員改選の件は次期も代表森谷、会計野口、監査藤田が再選された。また、来年度のクラス会開催



大8 大8回クラス会総会 於 リーガロイヤルホテル 平成19年10月20日

地に京都が推薦され、鈴木 実君に一任されたが、今回のクラス会へは京都からは他に出席者がなかったのも京都の会員と協議するとのことであった。

同窓会からは三谷君が会長として、白神君が副会長として生駒専務理事とともに挨拶に見えたが、ほかのクラス会へも招聘されているのでと集合写真にも入らずに退席した。集合写真撮影時に川添学長にも挨拶を頂いた。なお、会員名簿をク

ラス代表として訂正や校正をしたが、誤植があれば通知をお願いします。最後に本総会開催場所の確保に尽力頂いた井上君に深謝致します。

(森谷 記)

訃報

亀岡淳雄君が11月6日に膵臓癌で他界されました。葬儀に参列し代表して弔意を表してきました。

大 9

久栄会総会報告

平成19年5月26日、石川県山中温泉において、第46回久栄会総会が開催された。当日午後3時頃、加賀温泉駅前の広場で旅館からの送迎バスを待つ間、全国各地から三三五五集まった朋友達が再会を喜び合い、彼方此方でもう同期会が始まったかの雰囲気である。

松杉をほめてや風のかをる音 芭蕉

晩春の深い緑と溪流に囲まれて、心地よい緑の風が正に薫るような『よしのや依緑園』に到着し、ゴルフ組との時間差もなく余裕のペースで受付と

総会を無事終了。ご来賓の同窓会本部副会長の桜井眞行先生（久栄会）とご当地石川県支部会長の井東克孝先生も一緒に久栄会側家族会員も含め66名が記念撮影を済ませてから懇親会に入った。美味しい地酒と豪勢な料理、朋友との昔話で盛り上がり、二次会では長崎から参加した赤司君の『千の風』の熱唱でさらに盛り上がり、お開きの後一休みして再度の湯あみと鶴仙溪の夜は更けていく…。

翌朝、ほぼ全員参加のため、大型バスに計画変更して午前9時、旅館の人々に見送られて観光に出発。まずは前田藩の隠し城として建設された通称忍者寺こと『妙立寺』を見学、数々のからくり部屋や隠し階段で案内グループからはぐれると迷子になりそうだった。次いでこの時宜『かきつば



大9 久栄会 第46回総会 於 よしのや依緑園 平成19年 5月26日

た』が見頃の金沢城・兼六園を觀賞し、有名料亭『金城楼』で格調高い料理を十分な時間をかけての昼食、東茶屋街を散策して午後3時半、金沢駅で“次回は飛騨高山での再会”を約束して解散、各々の帰路についた。

最後になりましたが、このたびの企画から宿泊・観光・ゴルフ場の手配と当日の運行まで一切合財お世話をして下さった石川県出身の山本秀利君と、受付までお手伝い下さった内助の功和子様に心より感謝の意を表します。さぞお疲れになったことでしょう。有難うございました。



故 大島幹代さん

訃報

さて、北陸路の余韻も覚めやらん6月18日、門真市の大島幹代君の不幸の知らせが入りました。ここ数年、久栄会総会でお顔を合わせなかったと思っていたのですが、今、突然の訃報に驚いています。以前、静脈瘤云々の話を聞いたことがありますが…。高松市にお住まいのご子息、大島誠司様方でのご養生も効なく幽明境を異にされ、お通夜はご自宅、告別式は6月20日高松市ベルモニー会

館三條にてしめやかに相済まされた旨、聞き及んでおります。



故 米本 優君

また、7月10日には奈良県の米本 優君の悲報をご子息雅文先生（大39回）から拝受。糖尿病の療養中、突然の容態悪化により7月8日永眠、故人の遺志により近親者で葬儀一式を相済まされた旨とのことです。奈良県地区幹事として久栄会役員会では古いお付き合いの仲、あまりにも思いがけない訃報であります。ゴルフの上手な気さくで元気者だった彼の往年の姿が目に残ります。二度とあの笑顔を見ることができぬとは誠に悲しい。ご令室、陽子様から拝借した昨年末の古希の会の写真を掲げ、冥福をお祈り申し上げます。

さらに、10月1日、仲野直記君の訃報が同窓会本部から知らされました。彼は卒業後郷里の佐賀関町にて開院、大分県歯会で社保委員として活躍。平成元年大分市小池原に新医院を開設するも平成3年パーキンソン病を発症し、新医院を閉じて療



故 仲野直記君

養に専念、以来16年間に及ぶ闘病生活の末、薬石効なく9月28日冥土に旅立たれ、近親者によりし

めやかに葬儀が相済まされました。ご子息貴明先生（大39回）の今後の活躍を祈り、16年間偏に闘病生活を支えられたご令室、都先生に敬意を表します。

人はただ、無常の身に迫りぬることを、心にひしとかけて、つかの間も忘るまじきなり。さらば、などかこの世の濁りもうすく、仏道をつとむる心もまめやかならざらむ。 吉田兼好（徒然草）

ここに3名の朋友の御霊に安らげく眠りにつかれますよう、心より哀悼の意を表し、謹んでご報告と致します。俱会一処 （池田英綱 記）

大 10

ひとわ会45周年記念同窓会

9月22日、60名余の参加を得て、総会を開くことができました。今まで毎年開催し、今年で45回目になります。私達仲間も古希を迎え70歳になりました。これを機にスタイルを変えようという、総会での話し合いがあり、来期から梅谷雄一君に代表をお任せして、運営していこうということが決議されました。

祝宴は、加藤隆正君の司会で会長としての私の

挨拶ののち、大歯同窓会 三谷 卓会長からのメッセージが同副会長 堀亘 孝君から披露され、大阪府歯科医師会副会長 下村錢三郎先生のご祝辞を頂き、続いて浪速の演歌師三門忠司さんの「なつかしのメロディー」があり、同窓会専務理事の生駒 等先生の乾杯のご発声により和やかに祝宴に入りました。歯科医師会から田口洋見先生もご臨席賜り、錦上華を添えて下さいました。

今回は、北は北海道北見から飯田君が、南は九州から西原君が、四国からは日の丸の西岡君をはじめ広島、岡山、島根、愛知など各方面からの参加があり、さらに12名の奥様方をお迎えして、本当に賑やかなものでした。後半再び演歌を聞き、



大10 ひとわ会45周年記念総会 於 リーガロイヤルホテル 平成19年9月22日

時間の経つのがわからないうちに、再会を誓って散会しました。

健康第一、元気であればまた会えます。あわててあの世に行かんようにお願いします!!

2007年10月

(ひとわ会代表 中島尚壬 記)

平成19年度総会

平成19年度第45回総会は9月22日(土)午後5時から、大阪リーガロイヤルホテル28階エメラルドルームにおいてとり行われた(会員出席者48名)。開会のことばの後、すぐに昨年総会以後にご逝去された会員、川上龍一君、小川充盈君、山本利彦君の3名の他、ご家族7名の方々のご冥福を祈り黙祷を捧げた。次に中島会長の挨拶(略)、議長選出と会を進行した。報告事項(会務・広報)を終え、加納議長のもとで承認事項の議事進行に移る。

議事

1. 平成18年度会計収支決算報告

同監査報告

2. 平成20年以後のひとわ会の運営及び方針について

合同委員会決議事項(平成19年4月7日施行)

1) 従来のA～E組に至る隣番による会長制を廃止し、梅谷雄一君に代表をお願いし会の運営を一任する。

2) 会費について平成19年度分まで徴収し、20年度分以後は徴収しない。同時に弔慰見舞金も廃止するが、連絡あれば弔電はする。

3) 「北から南から」の発行中止、会員の連絡等あれば必要に応じて、新聞形式の簡単なものを発行、あるいは大歯大同窓会報に掲載する。

以上の事柄について全会一致のもとで承認された。

上記の事項の決定で総会を閉会した。

(福原幹二 記)

大 12

十二支会

皆様お元気でお過ごしでしょうか?

平成19年度十二支会総会が7月21日(土)、神戸六甲アイランドの神戸ベイシェラトンホテル&タワーズで開かれました。当日は雨の予想が幸いにも降らず、神戸の街を眺めながら三々五々懐かしい出会いを楽しみました。

総会では各報告の後、役員改選が協議され、大頭会長が再任されました。また、次回は大阪の地での開催が決まりました。懇親会にご来賓三谷同窓会会長、同生駒専務、井堂兵庫県同窓会会長、同岩田専務、今井理事長・学長、恩師の外海名誉教授、地元歯科医師会から橋本猛伸会長の7名のご出席を頂きました。

今井先生におかれましては、例年私達の会に出席して励ましを頂いていたのですが、今年の私達の会が最後の公式の場になられ8月に他界されました。どんなにか残念で悔しい思いをされたので

はないかとお察しします。ご冥福をお祈り致します。

わが同窓は49名の出席で、大頭会長が「十二支会の縁ができて50年、強い絆を育んで今日に至っています。これからは何事にも挑戦する気概を持つことが必要である」と力強く挨拶されました。日ごろの思いのたけを打ち明け、美味しい料理と笑いの絶えない会になりました。

来年は大阪で!

(時岡寛子 記)



内藤陽行 逝く

長い病魔との闘いに耐え、最後までがんばりとおし、ついに平成19年8月12日、君は逝ってしまった。

スポーツマンとして鍛えた君ならばこそその健闘を讃えたいと思います。そして、セコンドを務め、



大12十二支会総会・懇親会 於神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ 平成19年7月21日

君を励まし続けた奥様には、“ご苦労様”の言葉を心から捧げます。

君は負けん気が強く、自分の主張を譲らず、大阪歯科大学入学の直後からしばしば、やりあったものです。近鉄線の今里と布施、通学路が同じで始まった付き合いが、こんなに永く続くとは思っていませんでした。

学生時代から望みを高く持ち、大学院卒業後も歯科理工学教室で研究を続けていた頃、開業後も臨床レベルを頑なに守り続け、多くの後輩を育成していた頃の、誇りに満ちた顔が懐かしく思い出されます。

君がなぜ歯科を選んだのか知らぬままですが、ご子息は医師に、お嬢様は歯科医師として立派に君の後を歩んでおられます。親としての役割は、十分果たされたことと思います。

誰も病を望んではいません。もっとやりたかったこともあったのだと思い、本音で話し合える時期を待たず逝ってしまったことがとても残念です。

徹夜マージャンに興じていた大学生時代の笑顔と重なる遺影に向かって。

さようなら。

(北條博一 記)

大 14

寿歯会だより

B組クラス会高野山にて開催

去る6月23日(土)・24日(日)、一泊二日にて15名参加の下、開創1200年聖山 高野山の普賢院において、B組クラス会を開催しました。

梅雨のシーズンもあり、両日雨の中約3年振り

の同窓会とあって、皆様楽しみにしており、久方振りに日頃のストレスを存分に発散して頂けたものと思います。

遠くは山口の西島君、岡山から小山さんが参加してくれました。都会中心の開催地から一転、霊場高野山ということもあり、皆様、興味津津の様子でした。平均年齢65歳ともなると、自分自身の体調変化を訴える人達も増え、あの人か…彼もか…といったように、思いも寄らない人が体調不良を理由に欠席を余儀なくされた人が前回よりも増

えたというのが実感でした。

当然ながら宴席料理は精進料理、日頃糖尿病、メタボリックシンドロームに悩んでいる人には効果があつたのではなからうか？ ご婦人方2名（大西、伊東家夫婦）同席して頂き、口裏合わせができていたのか大体同席ご夫婦仲よかったように思いました。

小山女史のお酒、性格の豪快さに並み居る男達もたじたじ、といったところ、夜の更けるのも忘れ話し込んでいました。

午前中、海堀君の健康施術を受けた方もあり、元気になった様子で一夜を楽しんでいました。

明るく早朝6時30分、普賢院全僧侶によるお勤めに参加し、日頃の浮世の心の垢を落としてまいりました。汚れた心眼は濁り放し、まともに本尊を正視できないのが実態でした。

奥の院弘法大師堂を参拝し、10時頃解散、下界へ下って行きました。

次回、大阪近辺、来年とのことです。会計バッチリ、世話人一同より感謝!! （新谷宏道 記）

大阪寿歯会グルメ探訪の会

平成19年6月24日(日)、梅雨の真ただ中、やっぱり激しい雨の中、大阪寿歯会主催のグルメ探訪の会が、ロータリークラブで美味探訪の会のリーダーであります瀬浦先生の勧めで、外国の要人達が来れば必ず立ち寄ると言われる名門京都の「つる家」にて開催されました。

美しい庭園を觀賞しゴージャスな気分となり、また瀬浦先生の奢りにて芸者さんと呼び楽しい昼食会でありました。出席者は少なかったのですが皆様には満足して頂けたと思っております。

（植田 貢 記）

寿歯会旧A組クラス会

平成19年10月20日(土)、第16回大阪歯科大学全国同窓会会員大会に合わせて、午後4時からリーガロイヤルホテル6階宝の間にて開催致しました。いつものように、A組ではありませんが寿歯会会長大西先生、銭谷、佐々木先生にご出席して頂き、恩師の外海啓一先生には87歳とは思われない元気な様子で参加して頂きました。昨年の卒後40周年記念の集いにはA組の参加者が少なく、5年前京都で行われて以来開かれていないということで、辻本先生の強い要望にて計画致しました。

子息や孫の話で時のたつのも忘れ楽しい時を過ごしました。閉会間際に新学長、理事長の川添先生、補佐役の星野先生が顔を出され新しい歯科大学の抱負等をのべられました。

来年1月13日(日)に祝賀会が開催されます。ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。来期神戸の本庄先生のお世話で10月18日(土)、ゴルフコンペは六甲国際、クラス会是有馬グランドホテルにて開催するそうです。ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。（植田 貢 記）



大14 大阪寿歯会グルメ探訪の会 於 つる家 平成19年6月24日



大14 寿歯会旧A組クラス会 於 リーガロイヤルホテル 平成19年10月20日

大 15

いちご会卒後40周年記念クラス会

謹啓 いちご会諸兄弟にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。我々大歯15回生は昭和42年の母校卒業以来、早いもので本年卒後40年が経過致しました。

先般、卒後40年を記念してクラス会を大阪で開催し、85名の同級生の参加を得て旧交を温めました。大阪いちご会の岩間君、升本君、宮井君には大変お世話になりました。

いちご会同級生は間もなく全員が65歳以上になり、前期高齢者の域に達し、あらためて友情の絆と健康の大切さを確認致しました。

全国各地でご活躍中の同級生諸兄弟の今後の更なるご発展を祈ります。敬具

(クラス代表 蒲生 洵)

追伸 明年4月から全国いちご会のクラス代表を岩間総一郎に引き継いで頂くことを総会で決定致しました。永年にわたる小生へのご協力に感謝するとともに、岩間君に対しても変わらぬご支援とご協力を何卒よろしくお願い致します。

いちご会卒後40周年

平成19年10月20日午後5時30分、母校大学病院玄関にはいちご会85名がそろいました。

集合の記念写真を例のようにさわがしく撮影しました。大学病院には卒業以来初めての同級生もおられて、めずらしそうにしておりました。

午後6時から病院14階のレストランプラザ14にて総会を開催し、議長に入江恒夫君を選出し、あいさつ、報告(事業内容、会計報告)、さらに報告に対する承認をもとめ、無事全件承認されました。次回開催地については、次期会長が中心となって決定していくこととなりました。

午後6時40分から記念式典および祝宴を開き、北折忠之君の司会進行により、あいさつ、黙祷(死亡者20名)と進め、ご来賓として出席して頂いた本部同窓会三谷 卓会長、母校川添堯彬学長、地元大阪府歯科医師会岡 邦恭会長、母校学校法人の村上 勝理事長職務代行からそれぞれご祝辞を頂戴致しました。母校に対して記念品贈呈(寄付金目録)を実施し、乾杯・祝宴へと進み、参加者各自久しぶりの旧交をあたためました。午後8時30分閉会まで盛り上がりが見られました。その後は各自得意の場所へ移動されたとのことです。

二次会をキャッスルホテルにて開催しました。30名の参加があり、午後12時までわいわいがやがやとやりました。

10月21日、水運華やかなりし水都大阪の味をと



大15 いちご会40周年記念式典 於 大阪歯科大学附属病院 平成19年10月20日

考えました。14名の参加者、好天に恵まれて楽しい1日を過ごしました。10月20日は同時に大阪歯科大学第16回全国会員大会が開催されまして、1500名参加者があり、いちご会会員も47名の参加を致しました。

ありがとうございます。準備段階での不手際も

あり、もっと内容のあるいちご会を開催したいと思いましたが準備不足、体力不足、気力不足であったと思っております。健康に留意されて今後もいちご会の発展にご協力下さい。

(大阪いちご会

岩間総一郎、升本孝行、宮井芳二 記)

大 16

天章会

今年初めての役員会を大阪歯科大学西館7階共用会議室にて大阪天章会、全国天章会の順で行いました。

1) 大阪天章会役員会

出席者：池田修造、山口邦夫、日野哲雄、河見忠雄、辻準之助、生駒佳子、鶴身敬三、大迫 勲、上田雅俊、大野 榮、北村康栄

会長挨拶の後、報告事項、協議事項、その他と進み、無事終了しました。その内容は、来年（平成20年）は卒後40周年になり、大阪天章会がその役割を担います。そこで、現会長の上田雅俊君が教授に就任されたので、大野 榮君に再任（全会員一致）してもらうことに決定し、後日準備委員会をもうけることで終了しました。

2) 全国天章会役員会

出席者：福田 滋、高島 徹、吉田統司、田村忠昭、大野 榮、池田修造、大迫 勲、生駒佳子、河見忠雄、辻準之助、日野哲雄、鶴身敬三、堀井宏雄、上田雅俊、高島 洋、浜田邦夫、天羽 峻、岡田太郎、西田 健、内藤正知、佐本高明、西田武泰、新谷 衛、北村康栄

訃報

古波蔵健一君（平成18年12月8日）

会長挨拶：岡田太郎

1. 平成18年京都での総会についてのお礼

1. 来年（平成20年）卒後40周年になるので、大阪天章会の先生方よろしく願います。

1. 同窓 古波蔵君が昨年12月8日に逝去されました。

報告事項

1. 庶 務 日野哲雄
2. 会 計 佐本高明
3. 同窓会本部

4. 学 内 上田雅俊
5. 広 報 北村康英
6. その他

内容は、平成18年度の同窓会（京都での報告を高島 衛君が）についての報告。全国会計担当から京都へ援助金を少し出したとのこと。古波蔵君の逝去の報告。大学の国家試験の結果の状況の報告。助教授の名前が消え准教授となった。全員で古波蔵君に合掌。

協議事項

(1)平成20年度天章会総会

卒後40周年記念式典・懇親会

- a. 大学、同窓会のスケジュールから、10月に開催
- b. 場所はリーガロイヤルホテル
- c. 準備委員会を発足

(2)その他

総会の出席での無断欠席は会費を取るように!!

第1回準備委員会（平成19年9月1日）

出席者 岡田太郎、大野 榮、辻準之助、岡本吉一、佐本高明、浜田邦夫、池田修造、日野哲雄、北村康栄

卒後40周年記念式典・懇親会

日時：平成20年10月25日(土) 午後5時

場所：リーガロイヤルホテル（大阪）
光琳の間

日程：総会→集合写真→祝賀会

後記

開業当時は自分のため、10年後は家族のため、現在は患者のため、奉仕の精神で楽しく仕事ができるこのごろです。

肩こり、足のネンザ、四十肩…etc. また、うつ病の患者も来るようになり毎日楽しく仕事をしています。

◎ほどほどの優越感

ほどほどの劣等感

それに努力があれば

いい仕事出来る

◎まっすぐな木

まっすぐ使え

曲がった木

曲がったまま生かせ

（北村康栄 記）

追伸

平成19年10月20日(土)リーガロイヤルホテルにて、全国会員大会が開かれ、我がクラスは40名弱の参加で大いに話がはずみました。生駒 等君、おつかれさまでした!!

大 19

いく会総会開催

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。第16回全国同窓会会員大会が開催された平成19年10月20日(土)、一九会総会が大阪のホテル日航大阪5階「鶴」の間で開催されました。

総会は、城村幸治君の「久しぶりに会う顔、また顔を見てもすぐに思い出せない方もあるかと思いますが、今日一日楽しく旧交を温めて下さい」と開会のことばのあと、会長の塩見 總君の「2月3日の臨時総会で故神馬知明君の後、クラス代表を拝命致しました。今日までいろいろやってまいりました。本日、無事に総会が開けたことを喜

んでおります。そして、クラス会の副会長に、秋田健造君、城村幸治君、榮 弘毅君、会計に庄司武君、広報に井上泰介君、監事に村上英夫君、岩本 哲君にお願いしております。昨年の8月1日に林 宏行君が、我々同級生の中で初めて母校の口腔治療学講座の教授に就任されました」と挨拶があり、続いて林君から「これからも健康に留意しながら大学のために頑張っていきますので、これからご支援よろしく」と就任の挨拶がありました。

次に議長に村上彰廣君を選出して諸報告に入り、まず今までに亡くなられた19名の同級生の方々に弔慰黙祷を捧げました。

続いて、庄司 武君が会計報告を、岩本 哲君が監査報告を、林 宏行君が学内報告を詳しく話されました。この後議事に入り、クラス代表は引き

大阪歯科大学19回同窓会 一九会総会



大19一九会総会 於 ホテル日航大阪 平成19年10月20日

続き塩見 總君の留任が決まり、また、次期総会は、全国大会に併せて行うことが決まりました(場所及び日時は未定です)。

最後に栄 弘毅君の閉会の辞で総会は終わり、記念撮影をしたあと、懇親会に移りました。

懇親会では、来賓の川添堯彬学長、大阪府歯科医師会副会長橋本 武氏から挨拶があり、大歯同

窓会副会長の田治米保夫氏の乾杯の音頭で幕が開き、久しぶりの再会で、酒を酌み交わしながら、36年前の牧野校舎の思い出話からの最近の近況を語りました。少しは無理が利かなくなり、酒が残る年齢になりましたが、土曜の夕べ、学生時代学んだ大阪の地で大いに友と語り、気分爽快とされたことと思いました。(文責 井上泰介)

大 21

第17回咬龍会開催

平成19年夏、異常に暑かった夏も一段落した9月1日(土)、三重県桑名市長島町、ホテル花水木コンベンションホールにて第17回咬龍会が、来賓に同窓会本部より、三谷 卓大阪歯科大学同窓会会長、恩田信雄・古川哲郎常務理事、浜口陸郎三重県同窓会会長、田中勇雄・中村宗矩三重県歯科医師会顧問の各先生方のご臨席を頂き、総勢65名にて賑やかに開催されました。

1時間くらい前から多くの懐かしい顔が集まり始め、浴衣に着替え、湯あみの島の大自然露天風呂で早々と心と体を癒している人もいました。

5時半、懇親会が峰 正博準備委員長の開会の辞で始まりましたが、まず去る8月16日惜しくもご逝去されました今井久夫大阪歯科大学学長・理事長のご冥福を祈り黙祷を捧げました。そのあと、弓倉威己咬龍会会長の開会の挨拶、ご来賓の方々のお祝辞を頂き、大学学内の状況や歯科界の展望についてのお話があり、皆が真剣に耳を傾けている様子は大変印象的でした。次いで田中勇雄三重県歯科医師会顧問の乾杯の音頭で宴に移りました。それまで静かだった会場内は打って変わって大変賑やかとなり、隣どうしはまだしも前に座っている友とは、なかなか会話が聞き取れないほどでありました。還暦を迎えた(迎える)我々咬龍会会員、大学入学から数えると今年でちょうど40年、久しぶりに顔を合わせた旧知の友は、40年前と全く変わらない者、少し面影を残している者、

第十七回 咬龍会 懇親会



大21 第17回咬龍会 於ホテル花水木 平成19年9月1日

すっかり変貌し別人としか思えない者までさまざま、懐かしいやらおかしいやら、各テーブルを回っていろんな話に花が咲いたことでしょう。楽しい時間は早く過ぎるもので、あっという間の2時間余でした。

閉会后、長島温泉恒例の花火を見るため遊園地内に出、涼しい風に吹かれながらスターマインや間近で見る庭園花火など見事な光の世界を觀賞し

少し酔いを醒ました。そして、ホテル内に用意した二次会会場、カラオケ・すしバーに席を移し夜が更けるまで宴は続いたようです。

今回、三重の地まで足をお運び頂きました咬龍会会員の皆様、本当にありがとうございました。三重県世話人一同、厚くお礼申し上げます。

(横山正一 記)

大 25

ふたご会30周年記念祝賀会開催！

平成19年10月20日(土)、大阪リーガロイヤルホテルにおいて、「ふたご会」卒後30周年記念祝賀会が盛大に開催されました。前日は激しい雨の一日でしたが、その当日は我々の記念祝賀会を祝福するような秋晴れに恵まれ、全国から84名の同級生が集まりました。

昭和52年大阪歯科大学を卒業した「ふたご会」会員も50歳半ばとなりましたが、ある意味、仕事にも家庭においても、人生の中でもっとも充実した時期であるように思われます。

ちょうど人生80年から85年といわれる現代におきまして、このあとの30年をどう生きるか、またどのような目標に向かって人生を全うするか、この30周年記念が節目であることは間違いありません。

当日午後4時から開かれた総会におきまして、来年度から「ふたご会」の当番県が京都から大阪に移行するのに伴い、平塚靖規現代表から大阪府の村井 健君へのバトンタッチが全会一致で信任されました。そして今年京都府歯科医師会の会長に就任した平塚君から、選挙協力に対する謝辞がありました。

また5時からの記念祝賀会ではご来賓として大阪歯科大学同窓会長の三谷 卓先生、大阪歯科大学理事長職務代行の村上 勝先生、大阪府歯科医

師会会長の岡 邦恭先生、大阪歯科大学学長川添 堯彬先生、そして常務理事の田口洋見先生に錦上花を添えて頂きました。各先生にはお忙しい中をご臨席賜り、また我々ふたご会会員に対して励ましのお言葉を賜りましたことに誌上をお借り致しましてお礼申し上げます。ありがとうございます。

時の経つのは早く短く感じられる30年でしたが、我々が母校のため、歯科界のため、これからの社会のため、精一杯生きていこうとすると、同窓生の団結力がお互いにとって大切な一助となると思います。これから先、大阪歯科大学創立100周年、我々ふたご会会員の還暦の催など再びお目にかかる機会があるかと存じますが、皆様、健康にはくれぐれもご留意され、元気な姿で再会できることを楽しみに致しております。

最後になりましたが、村井君を代表として大阪の先生方よろしくお願い申し上げます。また会員の皆様のご協力も重ねてお願い申し上げます。

(柴田鉄也 記)

水口幸一君追悼文

もう散るか、いやまだ散らざるか—いくら惜しんでも桜の花びらはいつしか散るもので、しかし、人はいつもこの散り行く桜をわが一生にたとえてその儚さを愛でようとする—散り行く桜のように平成19年4月10日、57歳の生涯を終えた水口幸一君のことを偲んでみたい。



故 水口幸一君

彼との付き合いは、学生時代入学当初からで、彼の予備校時代の共通の友人を通して知り合った。予科でのクラスは私と異なって、Cクラスだった彼は、長髪で、下駄を履いて通学していた。彼は比較的年長組であって、皆から「水口さん」と敬語で呼ばれていたものの、たいへん慕われていた学生だった。私は彼との実家が近いこともあり、ご家族ともとても親しくして頂いたし、彼の中学高校時代の友人とは現在でも懇意にさせてもらっている。これも、ひとえに彼との篤い友情の賜物だと思われる。

卒業してからはお互い家庭を持ち、一時期同じマンションの上下階を接して家族ぐるみの交際をした。多才な趣味人であった彼には私も大いにその影響を受けた。中でも鮎釣りでは、彼の竿さばきの腕に舌を巻かされた。荒瀬での難所に遭遇しても、飄々とやり過ごしてしまう彼の姿を幾度となく目の当たりにして、私はいつしか彼を敬意と親しみをこめて「師匠」と呼んでいた。ゴルフの



大25 ふたご会卒業30周年記念祝賀会 於 リーガロイヤルホテル 平成19年10月20日

練習でも、研究熱心な「師匠」はいつも私に的確なアドバイスを与えてくれたし、スキー旅行も何度か共に楽しんだものである。そんな彼を一言で言い表すなら「アスリート」、いや「鉄人」そのものであった。

壮年をなお過ぎて、体力気力ともにますます充実していた彼が、まさかこんなに早く……私は夢にも思わなかった。彼は常々「川で釣竿を持ちながら死にたい」と冗談交じりに漏らしていたせいか、今でも半ば彼の早世を受け入れがたい気持ちが残っている。

約2年前に病臥するまで、彼は日ごろの多忙な診療をこなす一方、伏見支部でさまざまな要職に就き、その気取らない人柄から学生時代以上にたくさんの方の先輩や後輩の先生方に慕われた。2人の

お嬢様も成人され、これからは密かに孫の顔が楽しみだという矢先だったのに、本当に残念でならない。約2年間入退院を繰り返し、負担の大きな抗がん剤治療を受けながらも、患者さんのために診療を続けた彼は、最後までアスリート精神でポジティブに生きた。それは彼自身のためであり、また彼が最も大切にしていたご家族のためでもあった。懸命に、精一杯生きた彼に、今は一言「お疲れさま」と言いたい。今頃はきっとどこかの秘湯で、心ゆくまでこれまでの疲れを癒していることだろう。そして、好きなジャズを聴きながら、こよなく愛するビールを喉越しよく飲んでいるはずだ。いつまでも、いつまでも……。 合掌

(橋本輝夫 記)

大 27



山口十紀夫君を偲んで

山口君と私は、3年生の時に彼からグリークラブ（男声合唱団）に誘われ入部しました。私が入部したときすでに、彼はベースとしてすごい声量と確かな音感を持ち合わせていました。その後、パートリーダー、指揮者として団を引っ張り、関西学生合唱コンクールで銅賞の榮譽に輝き全団員で美酒に酔いました。その間、奈良女子大学との合同演奏や定期公演などに中心的役割を担っていたことを思い出します。夏の合宿では1週間毎日10時間以上も練習し、トップテナーの面々は中日

を過ぎる頃には声がでなくなっていました。ベースは最後まで低音の魅力を持ち続けていました。練習終了後のアルコール消毒が効いたのかも知れません。音楽だけでなく書道、茶道にも通じる山口君には数々のエピソードがあります。その一つに奈良女子大との合同合宿で彼が怪我をしたとき、献身的に看病をしていたのがご令室のなお子さんです。卒業後も患者さんのための献身的な治療ばかりでなく、歯科医師会の発展のためにも尽力されていると聞き頼もしく思っていました。また、ご長男の莊一君は大阪歯科大学6回生在籍中で、来年国家試験に合格され、お父さんの意志を継いでくれるものと期待しています。

音楽とお酒の楽しみを教えてくれた十紀夫ちゃん、天国でも素晴らしいハーモニー奏で美酒を堪能していることでしょう。ご冥福をお祈りします。

合掌

(和唐雅博 記)

庚申会

庚申会の皆様。新年を如何お過ごしでしょうか？暖冬とはいえ、心身共に整えて、今年一年を乗り切りましょう。

丁亥の年もあつという間で、過ぎ去りし人・物・事もまた夢の如くという有様です。近年、同窓の方の訃報を発するたびに、年の明けたる有り難さを痛感する年齢になりました。庚申会の皆様はどんな目的をもって今年の一步を踏み出されたのでしょうか？

昨年(1998)の10月21日には全国同窓会大会に合わせて、大阪大学中之島センターにて、大阪歯科大学庚申会総会、懇親会を開催しましたところ、多くの方々が集まって下さり、盛会となりました。総会の内容につきましては、庚申会のFAX、インターネットページにてご覧下さいますようお願い申し上げます。

さて、懇親会には同窓会本部から同窓会副会長 白神 進先生、同常務理事、大阪府同窓会専務理事 恩田信雄先生にご臨席を賜り、大学の改革について熱く語って頂きました。庚申会の皆様も、母校の危機的な状態を白神先生のお話を通して知って頂くことができ、大変有意義でした。

懇親会は、毎年のことながら余興いらずの、話、

話、話…。これが毎年やっていて、実に楽しい、力の源となる一時であります。この2時間は、出席したものだけが味わえる共有感というべきでしょうか？

去年の暑い暑い夏に、光安君が他界されました。ここに心から、ご冥福をお祈り申し上げます。

5カ月以上の時が流れても何とも言葉になりません。以前、伊勢で同窓会を開いた際、京都から伊勢まで、行き帰りたまたま一緒に過ごしたことが昨日のように思われます。ご子息の不慮の事故からやっとキリスト教の力を借りて、歩み始めていく光安君を見て、これからだと思って京都の駅を後にしたことを思い出しました。同窓の誰も何も尽くせぬまま至ったことは、如何に庚申会同窓生の一人ひとりが日常生活の中で忙しい日々を送り、友人の中の友人を思いやる意思の疎通のないまま、時が流れていっているかを思い知らされました。

光安君の追悼文は中井孝佳君に紙面を譲りたいと思います。

故 光安正守君を偲んで

昨年、盛夏、8月15日、「光ちゃん」こと光安正守君が52歳と4カ月の生涯を閉じました。信じられぬ突然の悲報を私が耳にしたのは、2日後でした。親友の中塚君の遠方の私に対する配慮だったのです。

得意の毒舌をふるいながら周囲の者を笑わせる



大28 庚申会総会・懇親会 於大阪大学中之島センター 平成19年10月21日



故 光安正守君

光ちゃんの姿を、多くの同窓が思い出すことでしょう。私の中の彼の人間像を紹介致しますと、

○アウトロー的な振る舞いを真似つつも、中身はとても繊細かつ努力家で、何に取り組んでも自分流にこだわる。

○願望や夢を一つずつ叶えていきたいと自己実現への欲求が強い。

○家族愛とか友情に対して、特別な思い入れがある。

彼は姿こそ無く、これからもう年を重ねることはありませんが、ご家族や私たちの想いの中に在り続けることでしょう。

錦秋の秋の晴れた日、四十九日の法要がしめやかに執り行われました。京都国際ホテルで忌明けの宴では、ご親族や身近な友人が彼を偲びました。そこは、奥様と彼が27年前に結婚披露宴を開いたまさにその場所でした（そのときの司会が私が務めました）。そこでは悲しい時間ではなく、楽しい思い出にみたされたむしろ和やかな時間を過ごすことができました。法要を終えたとき、不思議

にも心が慰められ安堵にも似た気持ちになったのは、私だけではなかったことでしょう。

人の一生はその長さではなく、いかに家族を愛し、また愛されたかということではないかと思います。立派なご子息達と気丈さを感じさせることなく、おもてなし下さった奥様、そして私の敬服する現役歯科医師のお母様。この素晴らしいご家族の皆様と彼が過ごしてきた時間はとても濃密で充実したものであったことは想像できます。

私の人生に掛け替えのない友情を示してくれた光安正守君に感謝と敬意を込めて、彼のご冥福を、そして、ご家族の皆様が少しでも早く、心穏やかにお健やかにお過ごし下さることを衷心よりお祈り致します。追悼の言葉とさせていただきます。

合掌

(中井孝佳 記)

クラス会案内

世話人代表として、同窓生の不調を聞くのは、記憶の範囲を超えてきました。他言してはいけないという同窓の方を含めて、ストレスという言葉以上のものがあります。庚申会の皆さん、30周年は、3年後の2010年に開催することが決まりました。

今年は10月25日(土)に神戸の夜景をお楽しみ下さい。同窓会に出ると、不調が全部治るとまではいいませんが、元気になって帰れることは確かです。

「歳月は人を待たず、
庚申の会もまた同じ」

掬水聞香

(永谷 敏 記)

紫媛会

平成19年度紫媛会総会

晴天に恵まれた平成19年6月16日(土)、ホテルニューオータニ大阪はくちょうの間にて第46回紫媛会総会が開かれました。

見野副会長(大22)司会のもと藤木郁子副会長(大15)の開会のことばに続き、蒲生典子会長(大15)の挨拶があり、橋高副会長(大22)が議長を務め議事が進行されました。

会務報告、学内報告に続き平成18年度会計収支決算、及び平成18年度紫媛会総会懇親会決算が丹田信子先生(大6)、三輪基子先生(大9)の監査にて収入支出残高において適正であることが承認されました。また平成19年度の事業計画が各部から発表され会計予算案とともに原案どおり可決承認されました。最後に藤木副会長の閉会のことばで無事閉会となりました。

今後とも紫媛会にご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。(広報)

平成19年度紫媛会懇親会

平成19年度紫媛会懇親会は大学42回生が当番学年を担当させて頂き、6月16日(土)、ホテルニューオータニ大阪翠鳳の間にて開催致しました。

ご来賓として、三谷 卓同窓会会長、今井久夫理事長・学長、山本一世教授、高松平人大阪府歯科医師会副会長、生駒 等同窓会専務理事、恩田信雄大阪府同窓会専務理事、加藤信次大阪府歯科医

師会常務理事の各先生方にご臨席を賜りました。

蒲生典子会長の挨拶の後、ご来賓の先生方のお話を頂戴し、和の食材をふんだんに使ったおいしい初夏のお料理を味わいました。メインのお料理が並ぶ頃、42回の同期生で歯科医師でありながらラスベガスでも公演され、現在プロマジシャンとして活躍されている岡崎まさひろ先生によるマジックショーを披露して頂きました。ステージ狭しとイルージョンが繰り広げられ、その後はテーブルをまわってのテーブルマジックです。各テーブルからは歓声と拍手がおこり楽しい時を過ごしました。今年は6人もの初々しい新入会員の先生方がおみえになり、とても華やかな会になりました。

来年度の当番学年、大学43回生から次回の総会・懇親会は平成20年6月15日(日)に天満橋OMMビル東天紅にて開催予定との報告がありました。

今回の催しを終え、準備から当日及びその後にわたりご指導、ご尽力を賜りました多くの役員の先生方、先輩の先生方、そして、お忙しい中ご出席下さいました多くの先生方に心よりお礼を申し上げます。

最後になりましたが、今井久夫先生が闘病中にもかかわらずご出席下さり、大学の現状、将来について力強く語って頂きました。これからのご活躍を切望しておりましたのにとっても残念でなりません。先生のご冥福を一同心よりお祈り申し上げます。(大42回生 記)



紫媛会 於 ホテルニューオータニ大阪 平成19年6月16日

紫媛会学術講演会

平成19年9月9日(日)午後1時から天満橋OMMビル2F会議室にて、講師に山本浩正先生(豊中市開業)をお迎えして、「Dr.Hiroのメンテ・ザ・ペリオ 紫媛会特別編」と題して講演をして頂きました。

当日は日曜日にもかかわらず、学術講演会始まって以来の140余名の出席者があり、場内は人であふれておりました。

先生は歯科界のトップアスリートと称されるように、朝から10kmのランニングをされ、日焼けした少しイケメン顔に運動と食事療法を兼ねて1カ月で10kg痩せたとおっしゃるスマートな体型でとても人気の先生らしく、やさしく、分かりやすく、時々ジョークを交えながらお話をして下さいました。

歯周動的治療といわれる初期治療や歯周外科の目標は、よくなることすなわち“よくなった喜び”を味わってもらいます。メンテナンスの目標は、悪くならないことすなわち“悪くならない喜び”を味わってもらうことです。どちらも大切なことですが、後者は長期にわたりモチベーションを維持しなければならず、それなりの戦略が必要となります。歯周外科をポケットセラピーと歯周形成外科に分け、ポケットセラピーをまた、切除療法、組織付着療法、再生療法に分け、その後のメンテナンスも含めて、アンダーブラッシングオーバーブラッシングという用語を用いて説明して頂きました。

次に歯周治療における歯科医師の役割、歯科衛



紫媛会学術講演会 於 天満橋OMMビル 平成19年9月9日

生士の役割、衛生士のための院内環境の整備をチェアー3台、衛生士5人の山本歯科のメンテナンスプログラムに沿って、問診、診査、セルフチェック、プロケアについて解説して頂きました。

最後に細菌バイオフィルムの説明、バイオフィルムの破壊について話され、オベの種類にかかわらず、メンテナンスが一番大事であり、歯科医によるオベは衛生士のメンテナンスに支えられているといっても過言ではないとおっしゃり、メンテナンスにおいて一番大事なことは、患者さんに気持ちよく帰ってもらうことだと力説されました。

常に“Happy PMTC”を心がけ、くれぐれも“Over PMTC”にならぬようにと結ばれ、9月16日にはスタッフと万博公園での駅伝に出場されるとお聞きし、山本歯科でのHappyも伝わり、とても心温まる有意義な講演でした。(広報)

漕艇部松籟会 (OB会)

松籟会千葉先生追悼文

先日電話で話をして、元気そうなので安心しておりましたのに、本当にお疲れさまでした。

21回 江原昌弘

一緒に船をこいでくれて有り難う。

22回 寺田寛太郎

同じ県内に住み、これから老いの年月を一緒に遊びたいと思っておりましたのに、こんなに早く

旅立たれてしまい、本当に残念でなりません。

23回 朝野征大

自分のことを後回しにして、周りのことばかり考えてくれましたね。有り難うございました。

24回 武田治士

頼りないコックスでしたが、先生のおかげでボート部を卒業できました。安らかに眠り下さい。

26回 岸和久

いつも叱られていた四井です。なんでなんですか？
31回 四井資隆

いつもの確なコーチングと、モーターボートに乗って追いかけてくる千葉先生を思い出します。

天国でもボートを漕いで下さい。有り難うございました。
31回 林 靖久

入部の時からご指導頂きました。理論的にボートを教えて下さいました。ボートの楽しさを熱く語っておられた姿が印象に残っています。

厳しいながらも温かい目で見守って下さったように思います。

いつも情熱をもって、そして常に自分に厳しく。その姿勢は変わりませんでした。岡山へ行ってからも先生の背中からいろいろなことを学びました。ありがとうございました。
32回 岡崎 景

平成19年正月3日、お屠蘇気分の中、広島の菅波先生（大27回）から電話があった。「千葉先生が具合悪いらしいけど知ってるか？」びっくりして山内先生（大26回）に電話して問うてみると、確かにそうらしい。松籟会会長の山本彰美君（大33回）と次の日曜日（1月7日）に大阪から2人でお見舞いに行った。岡山駅からは岡崎君（大32回）に案内してもらい、3人で岡山大学付属病院に向かった。部屋に入るなり千葉先生の「おう遠い所すまん」と元氣な声が聞こえた。彰美君と

2人思わず顔を見合わせた。血色もよく、いつもの元氣な千葉先生がそこにいた。先生はたんたと自分の病状の経過・症状を説明し、「俺はまだまだ死ねんのや。どんどん腫れも引いてきてるしな。人間死を意識すると、人生観変わるぞ。お前らもきっちり生きないかん」と逆にこちらが励まされる次第であった。そして「よく来てくれた。調子が良いので明日退院する予定なんや」と言われた。それから菅波先生がお見舞いの際、置いておかれたボート部時代の写真などで昔話に花が咲き楽しい時を過ごさせてもらった。その時は本当にこのまま元氣になれるような感じだった。

しかし2月中旬に牛嶋先生（大28回）とお話をする機会があり、千葉先生の容態のことを尋ねると「抗癌剤を打った日はしんどそうやで」と報告をうけた。2月25日ボート部の「追い出しコンパ」の際に岡崎君から急にメールが入り、「千葉先生が体調悪く、緊急入院された」とメッセージを受けた。あわてて手分けしてボート部のOBの先生方に連絡し「千葉先生への励ましメッセージ」を作成し、1週間後の3月4日ボート部 OB 8名で再び岡山へお見舞いに行った。面会できないかもしれないと言われていたが、千葉先生の体調が比較的良い時期だったみたいで、面会することができた。かなりしんどそうで、声も出しにくいなか「遠い所わざわざ来んでもいいのに」と言われた。意識はしっかりしていた。後ろ髪を引かれながら数十分で病院を後にした。そして3月9日永眠さ



千葉卓克先生を偲ぶ会 平成19年9月16日

れたとの報告を受けた。

先生とは私が昭和53年大学へ入学し、ボート部へ入部した時初めてお会いした。関西選手権に優勝しメキシコオリンピックをめざしていた坂本先生（大20回）の時代をボート部第1期黄金期とすれば、全日本3位、中日本レガッタ2位などの山内先生の第2期黄金期にコーチをされ、昭和52年に監督就任された。当時、関西勢で東京（全日本）で勝負できるのは、エイトで東レ滋賀・同志社大学、フォアは大阪歯科大学だけで、「瀬田（関西）に大歯の赤オールあり」と関西では名が通っていた時代である。千葉先生は卒後2年目、仕事も忙しかったと思う。また本気で全日本に勝つつまりの時代でOB等からの重圧も相当だったと思われる。私はちょうど先生が就任して2年目に入部し、先生の監督時代の最後の主将だった。1回生だった私に「ボート潜いでオリンピックに行こう」と真剣に言われたこと。「俺は大阪歯科大学のボート部を早稲田大学のラグビー部みたいにしたんや」と熱く語られたことが昨日のこのように思い出される。

コーチングではたくさんのことを言わずにポイントのみを指導された。ハードな練習をこなしてもタイムが上がらず、ジレンマに陥ってる時に千葉先生が見に来られ、岸辺から「ハンザウエを早く」とか、「キャッチだけあわせ」と一言言うだけでそのとおりにすると、スーッと艇が早く走った記憶がある。根性主義から脱皮し、科学的トレーニングを最初に取り入れた人だった。しかし私の時代は本当に勝てなかった。千葉先生には怒られてばかりだった。1回だけ「よし」としてもらったことはよく覚えている。私が4回生の夏、2年ぶりに関西選手権で準決勝まで残り、8月下旬の全日本選手権に向けて東京へ出発する前日、最後の瀬田での練習で同志社艇庫前～船台ま

で「スタートスパートコンスタント50本ピッチ36」であわせた時、初めて「よっしゃ、それで東京で勝負できる」と言ってもらった。

千葉先生が監督を辞め、郷里の岡山へ帰ることになり、ボート部で「慰労会」を開いた。その時生まれたばかりの先生の長男「浩之君」に、ベビー服に名前を刺繍して渡したことをよく覚えている。その浩之君が今春見事歯科医師になり、千葉先生のご遺志を継がれたことは誠に感慨深い。

千葉先生に教えられることが多かった。卒後ボソッと「洋一、お前に勝たしてやられんで悪かったな」と言われた。いつも他人に気を遣っている人でした。ご苦労様でした。ゆっくりお休み下さい。 合掌 32回 山本洋一

大歯大のボート部といえば、現役クルーはいつも練習ばかりのクラブでした。初めてお会いしたときから、千葉さんは監督として毎週毎週、桜宮や琵琶湖の瀬田に教えに来られてましたね。その情熱と、厳しい指導のなかにも優しさがあふれ出ている笑顔を決して忘れません。

ボート部での経験のすべてが、歯科医師としてまた人間としての、現在の僕自身を形成してくれたと思っています。それは何にも代え難い大きな財産となっています。そして大歯大ボート部に出逢えたことに、心から感謝しています。

本当に有り難うございました。安らかにお眠り下さい。 33回 山本彰美

ボートでも、また座禅でもお世話になりました。有り難うございました。 35回 長野健司

お疲れさまでした。お世話になりました。ゆっくりと次世を過ごして下さいますよう、お祈りしております。 36回 中野通伸

相撲部OB会

平成19年度総会・OB会設立50周年記念式典開催

平成19年度の相撲部OB会が8月25日(土)、京都市左京区岡崎の「ホテル平安の森 京都」で開催されました。また、本年をもってOB会は設立50周年の節目を迎えましたので、これを記念して式

典ならびに祝宴が理事会・総会に引き続いて盛大に催されました。

総会に先立って開かれた理事会では、平塚哲夫会長が若いOB会員にバトンを手渡したいとの強い要望があり、協議の結果、那須 馨OBに新会長



相撲部OB会設立五十周年記念式典・懇親会 於 ホテル平安の森京都 平成19年 8月25日

を引き受けてもらうことになり那須OB了承の上で、総会にて全員一致で決まりました。

平塚先生は前田 勝先生、藤井東次郎先生に続く第3代目の会長であり、20年にわたりOB会長として陣頭指揮に当たられ、OB会の発展に大いに尽くされました。弛まなきご努力でOB会を支えてこられたご苦労を目の当たりにしている者として敬意を表する次第です。OB会が滞りなく毎年盛大に開かれるのも平塚先生のリーダーシップによるものであるとの会員一同の思いです。本当に有り難うございました。心から感謝申し上げます。

また、長らく休刊していた大歯大相撲部OB会誌「しこな」が田村直也OBの尽力で復刊したことが報告され、総会の場において参加者に配布されました。その復刊版「しこな」の第1面に掲載されている「我相撲部は平成24年に創部100周年を迎えます。会員全員参加で100周年を成功させよう」との文言を今後5年間のOB会関連の通信文に冠して広報することが取り決められました。さらに、部長の西川泰央OBから「牧野学舎相撲道場の改築に関する進捗状況」も報告されました。

午後6時からの記念式典では田村OBの司会で平塚会長の式辞があり、半世紀前のOB会発足当時のエピソードを紹介され、先生の記憶力のすごさに感心しながら聞き入りました。ついで、大学理事長職務代行の村上 勝OBの挨拶があり、相撲連盟や各クラブOB会の皆様へご臨席を賜ったことのお礼、そして会長職を全うされた平塚先生へ

の労い、さらに那須新会長への期待を述べられました。来賓21名を代表して西日本学生相撲連盟会長 北村光雄先生と大阪府相撲連盟副会長 古市盛人先生による祝辞があり、歴史ある大歯大相撲部の更なる発展と相撲部現役学生の活躍を期待するとのお言葉を頂きました。そして、西川OBから主催者挨拶がなされ、祝宴は大阪OB会を代表して大内 隆OBの乾杯発声で始まりました。新入部員2名を含めた現役の紹介、OB会から現役への助成金贈呈へと続き、新旧会長交替のセレモニーとして平塚名誉会長に那須新会長から花束が贈呈され、那須新会長が「今後ともOB会員皆様のお力添えで、相撲部OB会を盛り上げたいと存じます。皆様方のご協力をお願い申し上げます」と力強く挨拶されました。その後、高橋幹也OBによるエール、最後に皆が母校相撲部とOB会の発展を祈願し、学歌斉唱して散会となりました。

ご参集の相撲連盟各位、各クラブOB会長および相撲部OB各位と日頃ご支援を賜っている皆様に心から感謝申し上げます。次年度は奈良OB会が世話役となり準備致します。多数のご参加をお待ちしております。

なお、後日（9月22日(土)）開かれた那須新会長のもとでのOB会理事会において、新役員が以下のように決まりました。名誉会長：平塚哲夫（専25）、会長：那須 馨（大30）、副会長：水沼和夫（第18）、竹中武彦（大20）、西川泰央（大24）、専務理事：前田潤一郎（大31）、会計理事：高橋幹也（大31）、理事：大森直弘（大27）、豊田幸愛

(大30)、田村直也(大31)、他7名、監事：米田
攝郎(大12)、北條博一(大12)、顧問：村上 勝
(専28)、大内 隆(大5)

今後ともOB会員皆様方のご支援ご協力の程、
よろしくお願い申し上げます。

(大24回 西川泰央 記)

ラグビー部OB会

ラグビー部OB会報告

去る11月17日(土)に今年度のOB会がプラザ14にて開催されました。例年に比べ参加者は21名と少ない結果になりましたが、総会では久保憲昭会長(大13)の挨拶があり、その中で、我々OBがもっとマウスガードの普及に積極的に努め、社会に対してより貢献できる団体となるべきであるという力強いメッセージが発せられました。会長ご自身も現在のところかなりの難関である、スポーツ歯学の認定医をすでに取得され、ますます私たちOBのお手本となられている以上、我々も本当に見習わないといけないと感じました。

続いて、今井信行(大22)OBが議長に指名され、全ての議事がスムーズに承認されました。その後行われた懇親会では、冒頭、濱口隆三(専21)

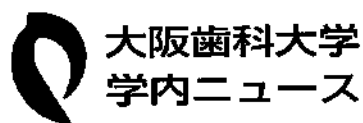
OBに対し、久保会長から米寿と来年迎えられる卒寿を祝して記念品の贈呈があり、濱口OBから今までの長いラグビーとの関わり、そして思い出深いお話がありました。引き続き石田 尚前会長(大3)による乾杯の音頭のあと、木下善之介(専30)OBが叙勲の栄誉を受けられたとのうれしい報告がなされました。

その後、久保好史(大17)OB、河津正文OB会副会長(大21)をはじめ参加者全員から近況報告がされました。その内容の面白さはこの紙面では報告できませんので、今年出席できなかった皆さんは、ぜひ来年のOB会に参加して頂いて、その素晴らしい内容を体験して頂きたいと思います。

(OB会代表幹事 窪田義夫(大22) 記)



ラグビー部OB会 於 プラザ14 平成19年11月17日



大阪歯科大学

1. 法人役員 (平成19年10月25日付)

理 事 長	川添 堯彬 (大14)
常務理事 総務	村上 勝 (専28)
常務理事 人事	新田 孟 (専30)
常務理事 教学・財務	中村 正明 (大13)
理 事 総務	三谷 卓 (大8)
理 事 調査	岡 邦恭 (大11)
理 事 財務	田治米 保夫 (大12)
理 事 調査	橋本 猛伸 (大12)
理 事 人事	井上 宏 (大13)
理 事 財務	伊達 洋彦
理 事 教学・人事	田中 昭男 (大22)
監 事	下村 錢三郎 (大7)
監 事	白神 進 (大8)

2. 大学人事

学 長	川添 堯彬 (大14) 平成19年10月1日付
歯科矯正学講座 教授	松本 尚之 (大31) 平成19年10月1日付
法人理事長	川添 堯彬 (大14) 平成19年10月25日付
法人理事	田中 昭男 (大22) 平成19年10月25日付

3. 平成19年 秋期褒章・叙勲 (平成19年11月3日付) (叙 勲)

卒回	支 部	氏 名	摘 要
専30	兵庫県	小川 靖彦	旭日双光章
専30	大阪府	木下善之介	瑞宝中綬章
大6	愛知県	植田 年夫	瑞宝双光章
大8	和歌山県	岩橋 延直	旭日双光章
大8	滋賀県	桜井 守	瑞宝双光章
大10	和歌山県	西山 剛一	瑞宝双光章

〔歯科技工士専門学校〕

平成20年度 歯科技工士専門学校の入学試験日程および内容

推薦入試・特別入試・一般入試とも

入学試験日	出願期間	合格発表	入学手続	試験場
2月3日(日)	1月15日～1月30日	2月6日	2月7日～14日	本校（牧野学園）
3月1日(土)	2月12日～2月27日	3月5日	3月6日～13日	
3月23日(日)	3月3日～3月19日	3月26日	3月27日～4月3日	

区分	推薦入学試験	特別入学試験	一般入学試験
受験資格の条件	高等学校長の推薦書(評価C以上)または社会人自己推薦書を提出	学校見学説明会1stステージおよび2ndステージを受講していること	高等学校卒業以上の学力があると判断される者
	学校見学説明会1stステージに参加すれば、入学試験時の適性試験の内容が理解できます	学校見学説明会2ndステージで配付した資料に基づき、自宅で作文作成・入学願書と共に提出	
試験科目	適性試験および面接	面接のみ	小論文または一般教養試験(どちらか選択)、適性試験および面接を行う

募集人員：45名（男・女）

入学検定料：15,000円

学校見学説明会のご案内

みなさんに、歯科技工の内容および本校を身近に知って頂くために学校見学説明会を開催しています。

区 分	内 容
1stステージ	本校の紹介、歯科技工士の現況、資格試験、就職状況、入学試験について 体験実習（歯科材料を用いてオリジナル作品の制作）、在校生の体験談とフリートーク 学校内の見学
2ndステージ	適性試験に関する作品の製作（60点以上で入試科目が免除） 歯科技工の基本的な技術（研磨の方法、エンジンの使い方）、質疑応答

目 程		曜日	午前10：00～午後3：00
第16回	1月20日	日	1st・2nd ステージ
第17回	2月17日	日	1st・2nd ステージ

※なお、上記日程以外でも学校見学は随時受け付けておりますので、前日までに下記へお申し込み下さい。

月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで（土・日曜および祝日は休校）

問い合わせ先：大阪歯科大学歯科技工士専門学校

大阪府枚方市牧野本町1-4-4

TEL 072-857-3905 FAX 072-857-0080

ホームページ：<http://www.odutech.com>

歯科技工士求人のお申し込み

求人のお申し込みにつきましては（求人申込書）がございますので下記までご連絡賜りますようお願い申し上げます。

問い合わせ先：大阪歯科大学歯科技工士専門学校 就職係

大阪府枚方市牧野本町 1 - 4 - 4

TEL 072-857-3905 FAX 072-857-0080

ホームページ：<http://www.odutech.com>

※本校ホームページ上で「卒業生の皆様へ」から「就職関連情報」へ進んで下さい。

※ 平成19年度就職希望者出身地

歯科技工士学科 43名

出身地	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	三重県	岡山県
在籍者数	18名	7名	3名	1名	3名	1名	1名
出身地	広島県	山口県	島根県	愛媛県	高知県	鹿児島県	沖縄県
在籍者数	1名	1名	1名	2名	1名	1名	2名

歯科技工士専攻科 8名

出身地	大阪府	京都府	奈良県	兵庫県	広島県	山口県	愛媛県
在籍者数	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名

〔歯科衛生士専門学校〕

平成20年度 歯科衛生士専門学校 入学試験情報

○ 歯科衛生士学科

募集人員 定員50名（女子）

修業年限 3年（昼間）

試験日程

試験種類	出願期間	試験日	合格通知	入学手続期間
推薦四次 A B C 一般三次	平成20年 2月4日(月)～2月19日(火)	平成20年 2月23日(土)	平成20年 2月27日(水)	平成20年 2月29日(金)～3月6日(木)
推薦五次 A B C 一般四次	平成20年 2月27日(水)～3月11日(火)	平成20年 3月15日(土)	平成20年 3月20日(木)	平成20年 3月21日(金)～3月27日(木)

推薦入学試験

推薦入学試験資格

推薦A ●高等学校を平成19年3月に卒業した者または、平成20年3月に卒業見込みの者で、学校長が責任をもって推薦し得る者。

●全教科の評点平均値がC段階以上の者。

推薦B ●大学・短期大学を卒業した者または卒業見込みの者で、学長または学部長が責任をもって推薦し得る者。

推薦C 以下の条件を満たす社会人で自己推薦する者。

●高等学校卒業者。

●通常の課程による12年の学校教育を修了した者。

●監督庁の定めるところにより、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

一般入学試験資格

○高等学校卒業者。(平成20年3月卒業見込みの者も含む)

○通常の課程による12年の学校教育を修了した者。

○監督庁の定めるところにより、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

学校見学説明会日程

平成20年

●時間

1月19日(土)

牧野学舎 [午前10:00~]

2月23日(土)

天満橋学舎 [~午後2:00]

※学校見学は随時行っていますので、お問い合わせ下さい。

入学試験場

大阪歯科大学歯科衛生士専門学校

大阪府枚方市牧野本町1丁目4番4号 TEL 072-856-9901

●京阪電車牧野駅下車

※詳しくは本校までお問い合わせ下さい。(月曜日~金曜日 8:45~17:00まで受付)

大阪歯科大学歯科衛生士専門学校

〒573-1144 大阪府枚方市牧野本町1丁目4番4号

TEL 072-856-9901 FAX 072-856-9902

e-mail eiseishi@cc.osaka-dent.ac.jp

本校ホームページもご覧下さい

<http://www.osaka-dent.ac.jp/eiseishi/>

学位取得者紹介

(1)主論文名 (2)受領日
(3)受領大学 (4)略 歴

中 辻 勇 志 (大39)

- (1) 機能低下における表面処理が異なるインプラント体周囲の骨と微細血管構築
- (2) 平成19年 6 月27日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 平成 3 年 3 月 大阪歯科大学卒業
平成11年 4 月 大阪歯科大学解剖学講座専攻生
平成19年 6 月 大阪歯科大学解剖学講座専攻修了

水 川 健 司 (大29)

- (1) 難治性根尖性歯周炎病巣から分離したバイオフィルムを形成する*Escherichia hermannii*の粘性物質産生に関わる遺伝子クラスター
- (2) 平成19年 6 月27日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 昭和56年 3 月 大阪歯科大学卒業
平成14年 4 月 大阪歯科大学細菌学講座専攻生
平成19年 6 月 大阪歯科大学細菌学講座専攻修了

松 浦 修 (大30)

- (1) *Prevotella intermedia*のバイオフィルムを構成する菌体外多糖成分が貪食細胞に及ぼす影響
- (2) 平成19年 6 月27日
- (3) 大阪歯科大学
- (4) 昭和57年 3 月 大阪歯科大学卒業
平成14年 4 月 大阪歯科大学細菌学講座専攻生
平成19年 6 月 大阪歯科大学細菌学講座専攻修了

2007年版 大阪歯科大学同窓会会員名簿訂正表

(名簿発刊後に住所等変更届者の訂正も記載しております)

卒回	氏 名	訂正箇所	訂正後の内容			
			氏 名	〒	住 所(勤務先)	電話
専24	岡崎 卓司	自宅電話				072-761-8678
専29	大河 学	自宅住所		601-0542	京都市右京区京北田貫町鳥谷13-38	
		診療所			診療所削除	
専30	近藤 豊	自宅		560-0003	豊中市東豊中町1-10-5	06-6858-6827
		診療所		561-0831	豊中市庄内東町1-4-15	06-6331-0357
専31	来司 信	自宅電話				0955-82-3822
		診療所電話				0955-82-5233
専31	吉田 実	自宅電話				0774-43-5102
		診療所電話				診療所電話削除
大2	財間 健夫	名前・自宅	財間 右典(健夫)	606-0835	京都市左京区下鴨神殿町1	075-711-1624
大2	庄司 幸雄	自宅住所		598-0021	泉佐野市日根野4039-4	
大3	今西 正雄	診療所電話				06-6723-4182
大4	賀来 俊和	自宅		659-0082	芦屋市山芦屋町4-17	0797-31-1371
		診療所		541-0047	大阪府中央区淡路町2-1-1 堺筋チシマビル3階 (86頁、死亡欄削除)	06-6231-2319
大5	天方 宏	自宅		540-0003	大阪府中央区森ノ宮中央1-18-22-402	06-6943-8041
大5	兼松 義男	自宅住所		415-0035	静岡県下川市東本郷1-9-21	
大5	小島 正嗣	診療所			診療所削除	
大5	中田 仁成	診療所			診療所削除	
大7	高千穂 九郎	自宅		536-0025	大阪府城東区森之宮2-9-2011	06-6967-2515
大8	片野 昭	自宅住所		664-0887	伊丹市南野北3-1-11	
大11	有本 隆行	自宅電話				073-431-2817
大11	久保 慶浩	診療所		160-0022	東京都新宿区新宿7-27-9 エンバイヤ歯科	03-5287-4182
大11	田丸 直隆	自宅		720-0081	広島県福山市向陽町2-2-7	084-961-0248
		診療所住所		720-0812	広島県福山市霞町1-1-26 モリノビル3階	
大12	大成 明美	自宅		651-0085	神戸市中央区八幡通4-1-27-3105	078-242-1059
大12	黒田 延彦	自宅住所		658-0064	神戸市東灘区鶴子ヶ原町1-2-7 万松園A-2	
大12	千田(中西)瑠子	自宅		063-0062	北海道札幌市西区西町南7-1-29-303	011-666-1650
大13	青野 紀昭	診療所住所		792-0811	愛媛県新居浜市庄内町1-8-35	
大13	加藤 仁朗	診療所住所		537-0002	大阪府東成区深江南2-3-19	
大13	河原 武	診療所住所		618-0013	大阪府三島郡烏本町江川2-11-4	
大13	木村 哲	診療所			診療所削除	
大13	松村 道哉	診療所			診療所削除	
大14	星野 茂	自宅		534-0015	大阪府都島区善源寺町2-2-5-1525	06-6928-1609
大14	真砂 成治	診療所住所		646-0042	田辺市南新町111 まさご歯科口腔外科クリニック	
大15	柏木 勉	自宅住所		631-0824	奈良市西大寺南町5-75	
大17	田中 利一	自宅		538-0033	大阪府鶴見区中茶屋1-1-61	06-6911-3622
		診療所電話				06-6911-3621
大17	村松 洋司	診療所住所		561-0802	豊中市曾根東町1-10-3 B101	
大18	木下 要人	診療所住所		541-0058	大阪府中央区南久宝寺町3-6-6 御堂筋センタービル地下1階	
大18	小石 雅也	診療所住所		563-0058	池田市栄本町9-2-A	
大18	中島 友行	自宅電話				0743-74-3371
		診療所電話				0743-74-5666

卒回	氏 名	訂正箇所	訂正後の内容			
			氏 名	〒	住 所(勤務先)	電話
大18	中平 正彦	診療所住所		583-0006	藤井寺市国府1-1-3 ハイツみささぎ2階	
大19	下野 楓弘	自宅住所		631-0061	奈良市三雄1-4-10 グランコート富雄302	
大19	藤田 茂信	自宅		631-0065	奈良市烏見町1-16-12	0742-44-0610
大19	山本 淳一郎	診療所住所		578-0924	東大阪市吉田7-1-9 S-Eビル1階	
大19	横田 順一	自宅診療所住所		534-0024	大阪市都島区東野田町1-21-1	
大20	小山内 惺	診療所		577-0803	東大阪下小阪3-4-18	06-6721-5274
大20	谷口 博昭	自宅		640-8023	和歌山市中ノ店北ノ丁20	073-431-0678
大20	千葉 和昭	自宅電話				0166-23-6521
大20	中島 徳人	診療所電話				06-6772-7364
大20	長久 巧一	自宅診療所住所		933-0871	富山県高岡市駅南2-2-14	
大21	中島 寛二	自宅電話				0743-63-5667
大22	川田 実	自宅		693-0213	島根県出雲市朝山町629-10	0853-48-1855
大22	川村 謙語	自宅		606-8022	京都市左京区修学院高部町6-12	075-724-0622
大22	滝川 秀司	名前	瀧川 秀司			
大22	永目 誠吾	診療所			大阪歯科大学 総合診療	
大22	三原 秀公	自宅		543-0027	大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-39-3701	06-7504-4876
大23	奥野 博茂	診療所		614-8158	八幡市上奈良北ノ口4-3	075-981-1051
大23	越村 公義	診療所			診療所削除	
大23	日根野谷 仁	自宅		598-0007	泉佐野市上町3-4-23	072-464-9220
大24	岡山 廣樹	自宅電話				06-6790-5353
大24	城下(馬場)景子	診療所電話				097-536-1111 (内線2348)
大24	林 景一	診療所住所		633-0254	宇陀市榛原区高萩台78-102	
大25	上村 宏之	診療所		651-0093	神戸市中央区二宮町3-5-15 1階	078-262-7705
大25	富塚 正敏	診療所住所		770-0841	徳島市八百屋町2-12	
大25	中川 重樹	自宅		561-0832	豊中市庄内西町4-9-26-701	06-6331-6224
大25	三山 隆史	自宅		665-0822	宝塚市安倉中5-24-3	0797-87-8377
		診療所		661-0012	尼崎市南塚口町2-17-14 サニーハイツ1階	06-6426-3488
大25	森田 清史(浩)	自宅住所		658-0065	神戸市東灘区御影山手4-1-17	
大26	中西 是生	自宅		658-0062	神戸市東灘区住吉台39-11	078-857-5232
大27	木村(杉田)圭子	自宅		543-0027	大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-39-1606	06-6771-0171
大27	中速 弘	自宅住所		594-0074	和泉市小田町2-3-3	
		診療所住所		594-0074	和泉市小田町2-3-47	
大27	中野 文隆	自宅		614-8366	八幡市男山泉8-4	075-983-0575
大27	山口 芳功(好則)	自宅		520-2102	大津市松が丘1-4-11	077-576-1510
		診療所電話				077-520-2102
大28	岡崎 古孝	自宅		563-0032	池田市石橋1-8-4	072-761-8678
大28	小林 顕一	診療所住所		565-0834	吹田市五月が丘北2-52-111	
大30	上村(山崎)則子	診療所		651-0093	神戸市中央区二宮町3-5-15 1階	078-262-7705
大30	土屋 健司	診療所		572-0064	寝屋川市対馬江東町11-8 立知ビル3階	072-838-0755
大30	吉岡 英人	自宅住所		723-0016	広島県三原市宮沖2-9-9	
大31	野瀬 将洋	自宅住所		607-8074	京都市山科区音羽乙出町13	
		診療所		607-8074	京都市山科区音羽乙出町13-7	075-501-2332
大31	小野 衛	自宅電話				072-772-8028
		診療所電話				診療所電話削除
大31	濱田 幸康	自宅		546-0044	大阪市東住吉区北田辺4-11-13-603	06-6713-4301
大32	藪田 宗孝	診療所		636-0802	奈良県生駒郡三郷町三室1-14-8 三室歯科	0745-72-0800

卒回	氏 名	訂正箇所	訂正後の内容			
			氏 名	〒	住 所(勤務先)	電話
大33	安達 典生	自宅住所		557-0042	大阪市西成区岸里1-1-72	
大33	稲田 佳代	名前・自宅 診療所	松下(稲田)佳代	572-0051	寝屋川市高柳1-12-17 診療所削除	072-827-2120
大33	宇野 尚枝	自宅		665-0053	西宮市松園町7-22-207	0798-22-0801
大33	卜部(玉置)智映子	自宅		674	香港灣仔道1号虎會議展覽中心會景閣3111	香港852-2829-7511
大33	大西 和久	自宅電話 診療所電話				088-642-8578 088-642-1339
大33	門脇(吉田)ゆかり	診療所			診療所削除	
大33	金 光旬	自宅住所			韓国 ソウル市永登浦区汝矣島洞廣場 APT2棟206	
大33	栗林 甚博	診療所住所		658-0072	神戸市東灘区岡本2-7-1	
大33	黒川 眞理	診療所		612-8141	京都市伏見区向島二ノ丸町307-31	075-622-1808
大33	小島 孝明	診療所電話				075-612-8086
大33	坂本 順一	自宅住所		723-0041	広島県三原市和田1-7-16	
大33	柴田 憲吾	自宅 診療所		658-0065	神戸市東灘区御影山手1-7-1-301	078-763-9009
				650-0021	神戸市中央区三宮町1-1-2-405 アスクデンタルクリニック	078-332-8241
大33	島田(浦崎)篤子	自宅住所		543-0002	大阪市天王寺区上汐5-3-7 東急トエルアルスタ日丘1001	
大33	嶋村 清次	診療所住所		629-0141	南丹市八木町八木野条33 吉田フラット1階	
大33	竹内 宏行	診療所		612-8450	京都市伏見区竹田島羽殿町9 メモワールビル4階	075-604-1810
大33	寺井 彰 (水川彰子)	診療所		569-0804	高槻市紺屋町8-33 ブラドビル2階 小宮山歯科	0726-83-9800
大33	寺野 敏之	診療所		534-0024	大阪市都島区東野田町5-2-23 医療法人 正和会協和歯科	06-6357-1130
大33	中井 康夫	自宅住所 診療所		659-0092	芦屋市大原町17-22-305	
				659-0091	芦屋市東山町6-12-201	079-734-7106
大33	中野 宏治	自宅電話 診療所電話				06-6731-0013 診療所電話削除
大33	夏見 淑子	診療所電話				0798-45-6677
大33	西島 真人	自宅住所 診療所住所		649-0306	有田市初島町浜1025-1	
				649-0306	有田市初島町浜1027-2	
大33	西原 一雅	自宅		659-0013	芦屋市岩園町10-9-202	0797-38-7861
大33	西村 博幸	診療所住所		581-0088	八尾市松山町2-2-6 サンハイツ松山1階	
大33	野阪 泰弘	自宅住所		659-0093	芦屋市船戸町8-15-201	電話削除
大33	埜田 芳弘	自宅住所		583-0881	羽曳野市島泉8-15-7	
大33	秀 有剛	自宅電話 診療所電話				078-795-4182 診療所電話削除
大33	福井 英夫	診療所		547-0045	大阪市平野区平野上町1-1-1	06-6795-0900
大33	船木 靖	診療所住所		689-3122	鳥取県西伯郡大山町塩津313-1	
大33	細見 環	自宅 診療所		582-0018	柏原市大県2-5-32	072-972-0589
				582-0026	柏原市旭ヶ丘3-11-1 関西女子短期大学	072-977-6561
大33	堀口 靖史	自宅住所		612-0088	京都市伏見区深草出羽屋敷町28-2 ルネ鳥楽2番館104	
大33	前田 和賢	自宅電話 診療所電話				059-293-0451 059-293-1450
大33	松井 孝志	自宅住所		880-0845	宮崎市新城町23-1 サンジェルマン607	
大33	宮田 順三郎	自宅住所 診療所		545-0021	大阪市阿倍野区阪南町5-5-16 フレール西田辺201 同上	06-6621-8506

卒回	氏 名	訂正箇所	訂正後の内容			
			氏 名	〒	住 所(勤務先)	電話
大33	森(波江野)麻美	診療所		113-0023	東京都文京区向丘1-1-16-201 東大前歯科クリニック	03-3814-1082
大33	山田 功	自宅電話 診療所電話				078-794-6511 078-794-4180
大33	吉田 修造	診療所			診療所削除	
大33	米田 修	自宅住所		651-1222	神戸市北区大原1-14-9	
大35	角谷 英樹	自宅住所		651-1121	神戸市北区星和台2-49-13	
大35	亀岡 強	自宅		662-0973	西宮市田中町3-1-2703	0798-22-4017
大35	佐野 吉信	自宅 診療所住所		545-0011	大阪市阿倍野区昭和町1-19-31-1505	06-7650-1181
				541-0044	大阪市中央区伏見町3-5-6 三菱東京UFJ銀行健康管理センタ ー(大阪)	
大35	田中 淳司	自宅住所		649-2323	和歌山県西牟婁郡白浜町庄川542	
大37	伊東 純子	自宅 診療所		739-0612	広島県大竹市油見3-3-4-901	0827-54-2757
				739-0611	広島県大竹市新町1-12-13	0827-52-4756
大37	多和 伸介	自宅住所 診療所住所		663-8104	西宮市天道町11-12-205	
				541-0052	大阪市中央区安土町1-7-13 トヤマビル8階	
大37	山内 義之	自宅 診療所		659-0072	芦屋市川西町2-28-203	0797-35-7239
				659-0012	芦屋市朝日ヶ丘町39-1	0797-31-8801
大38	石井 立人	診療所住所		564-0063	吹田市江坂町1-17-14 吉川ビル	
大38	大西 敬二郎	自宅 診療所		675-0066	加古川市加古川町寺家町423	079-424-8818
					同上	
大38	川崎(鈴木)欧美	自宅住所		683-0805	鳥取県米子市西福原11-2 松木ビル8階	
大38	川崎 一慶	名前・自宅住所	川崎 一慶	683-0805	鳥取県米子市西福原11-2 松木ビル8階	
大38	小林 久奈	自宅 診療所		534-0016	大阪市都島区友通町1-4-2-603	06-6925-6835
				531-0074	大阪市北区本庄東2-2-28 天神橋ホワイトハウス1階	06-6374-3043
大38	仲野 貴明	診療所住所		879-2201	大分市佐賀岡2224	
大38	村上 正一	自宅住所		546-0014	大阪市東住吉区鷹合1-16-1	
大39	安東 克之	診療所住所		537-0013	大阪市東成区大今里南2-21-8	
大39	今西 恒夫	自宅電話 診療所				06-6721-2412 06-6723-4182
大39	岡村(松崎)伸江	診療所住所		577-0807	東大阪市菱屋西1-18-15	
大39	花田 泰宜	自宅		603-8326	京都市北区北野下白梅町57-2	
大39	吉田 健	自宅 診療所		659-0091	芦屋市東山町12-2	0797-22-5412
				814-0002	福岡市早良区西新7-14-11	092-847-5040
				814-0005	福岡市早良区祖原1-1 テングッドシティ2階	092-845-6480
大40	巖 恭輔	診療所		553-0003	大阪市福島区福島7-21-17 リーガルタワー福島201	06-6451-8148
大41	船曳 真輔	診療所		651-0085	神戸市中央区八幡通4-2-18 郵船航空・福本ビル6階	078-222-8020
大43	丸山 裕	自宅電話 診療所				090-7352-2919 0797-32-5516
				659-0092	芦屋市大原町11-24 ラポルテ北館201	
大44	上田 伸浩	自宅		631-0824	奈良市西大寺南町1-19-106	0742-40-3286
大44	久保 成準	診療所		662-0078	西宮市菊谷町10-24	0798-70-4618
大44	熊本 憲之	自宅住所 診療所		633-0253	宇陀市榛原区萩原2559	0745-82-0002
					診療所削除	
大44	原 文宏	自宅 診療所		671-0221	姫路市別所町別所2-100	079-253-4658
					同上	
大44	山田 ヒロ	名前	油納(山田)ヒロ			
大45	速水 勇人	自宅		606-0964	京都市左京区松ヶ崎修理式町3-8	075-721-0525
大45	宮寄 克之	自宅		630-0213	生駒市東生駒1-77-7 4-B	0743-73-8678

卒回	氏 名	訂正箇所	訂正後の内容			
			氏 名	〒	住 所(勤務先)	電話
大46	小池 伸子	名前・自宅	任(小池) 伸子	650-0002	神戸市中央区北野町4-12-5 ユートピア北野603	078-242-1414
		診療所			診療所削除	
大46	宮本 武直	自宅		790-0053	松山市竹原2-13-20 ハイシティ松山205	089-913-1024
		診療所		790-0032	松山市土橋町20-3	089-945-6489
大48	山岸 保夫	診療所		596-0823	岸和田市下松町1-3-11	0724-36-1110
大49	奥野 博喜	自宅		612-8059	京都市伏見区南部町43-1 スコーレ伏見桃山502	075-601-0217
		診療所		605-0086	京都市東山区大和太路通三条下る 三丁目弁財天町13ホワイトビル5階	075-551-8148
大49	島谷 真理子	名前・自宅	吉江(島谷)真理子	657-0015	神戸市灘区篠原伯母野山町1-1 六甲グランドヒルズ1-205	078-805-2488
大49	千葉 朗代	自宅電話				0166-23-6521
大49	星野 圭吾	自宅		534-0015	大阪市都島区善源寺町2-2-5-831	090-6970-6925
大49	横田 恵	自宅住所		534-0024	大阪市都島区東野田町1-21-1	
		診療所			同上	06-6351-3983
大50	田中 格	診療所		890-0023	鹿児島市永吉1-24-12	099-253-9756
大51	鈴木 康一郎	自宅		530-0035	大阪市北区同心1-1-22-1003	06-6356-1399
大51	西田 尚敬	自宅		541-0043	大阪市中央区高麗橋2-35-209	090-1712-9292
大53	本田 尚子	自宅住所		648-0094	橋本市三石台3-14-3	
		診療所			診療所削除	
大53	吉田 剛	自宅		638-0301	奈良県吉野郡天川村川合291	0747-63-0010
大55	足立 慶輔	名前	足達 慶輔			

支部だより、クラスだよりの 原稿依頼について

(発行ごとの郵便による原稿依頼は行いませんのでご注意ください)

支部だより、クラスだよりをはじめ、同窓会報に掲載希望の記事は随時同窓会事務局へ「同窓会報原稿」と明記してご投稿下さい。

〔従来行っておりました発行ごとの郵便による原稿依頼は省略させていただきますのでご了承のうえ、多くの原稿が寄せられますようご協力をお願いいたします。〕

(年2回発行)	夏 号	冬 号
発行予定	8 月	1 月
原稿締切り 〔発行の2か月前〕 まで随時	5 月末日	10月末日
原稿枚数	1,000字以内、写真は一葉 〔部内の会計報告や名簿など紙面を多く〕 〔必要とする図表類はご遠慮下さい〕 (写真は返却します)	
投稿先(原稿送り先) (FAX 投稿可)	〒540-0008 大阪府中央区大手前1-5-17 大阪歯科大学同窓会 宛 TEL (06)6910-1061 (06)6941-3186 FAX (06)6943-1389	

編集後記

平成23年の大学創立100周年の前段と位置づけた第16回全国同窓会会員大会が、会員1500名を集結し、盛会裡に終えたことは、同窓会の誇りある発展を予感できるすばらしい100年の幕開けでありました。式典前に行われた講演会は早朝にもかかわらず満員の聴講者であふれました。マスコミの力の大きさ、また会員の同窓会愛というものを改めて認識した次第です。

前号からの間に今井久夫学長・理事長のご逝去があり、大学葬がとり行われました。数々の大会・会議などでの先生のスピーチをテープ起こしをした際のお声が耳の奥にやきついております。ご冥福をお祈り致します。

大14回卒の天野仁一朗先生から歯科臨床とニューロサイエンスという題で寄稿頂きました。高齢化社会におけるパーキンソン、アルツハイマー、脳卒中等などによる食機能障害のリハビリや、いま「食育」という言葉がクローズアップされていますが、それらのバックボーンとなる歯科領域のニューロサイエンスの一端を述べられたものであります。ご参考にして頂きたいと思います。

今回も支部、クラス会、OB会等から、それぞれの活発な活動状況報告や追悼文など多くの原稿をお寄せ頂き、感謝申し上げます。いつもながら、先生方の同窓会に対する情熱、意気をひしひしと感じております。ただ最近、投稿規定から大きく逸脱した原稿が目立つようになって参りました。各会でもう少し調整して頂ければと存じます。よろしくお願い致します。

私たち編集委員一同、少しでも充実した同窓会誌を目指していく所存です。会員皆様の編集部へのますますのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

大野 榮

編集委員長 大野 榮常務理事

委員 額田晃作常務理事、古田耕次、植田 勉、金田順三、後藤 進、野口洋司、
中谷 勝、池田修造、奥田 健、小寺亮一、梅津俊広、山本範子、古田誠孝
各理事

大阪歯科大学同窓会報（177号）

平成20年1月25日発行

〒540-0008 大阪府中央区大手前1-5-17

大阪歯科大学同窓会

TEL (06) 6941-3186 (直通)

FAX (06) 6943-1389

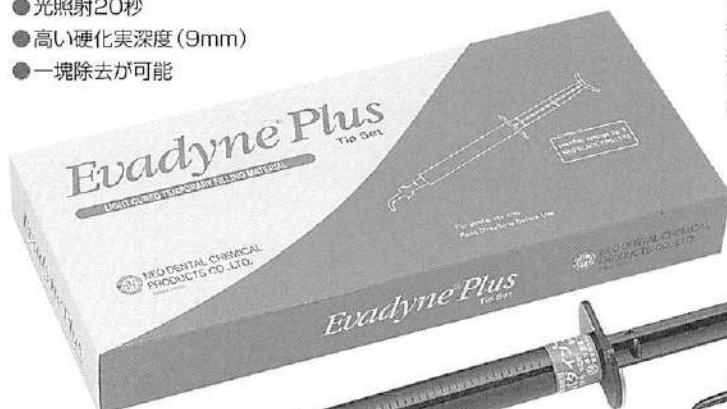
編集発行人 大野 榮

やさしい仮封材できました。

Evadyne® Plus

光重合型仮封材

- 無味、無臭
- チップ式ワンペーストタイプ
- アイオノマーガラス配合により高い生体親和性
- 優れた封鎖性(弊社従来品の約1.5倍)
- 光照射20秒
- 高い硬化実深度(9mm)
- 一塊除去が可能



ワンペーストタイプの操作性に加え、溶剤を使用しないことで、患者さんだけでなく診療環境へのやさしさも備えます。配合成分の改良により耐脱落性は弊社従来品の約1.5倍に。窩壁への高いヌレ性はそのままにベトツキを低減、さらに操作性が向上しています。

直接填入タイプながら、先端部をチップ式とすることにより、衛生面にも優れた製品構成となりました。

エバダイン® プラス

管理医療機器 医療機器認証番号 21500BZ200194000
(一般的名称: 歯科用高分子系仮封材料)

包装: 5g入シリンジ 1本

先端チップ 15本 標準価格 3,000円

補充用 ネオ ブラックチップ(L) 30本入 標準価格 2,000円
(一般医療機器 医療機器届出番号 13B1X00154000015)



ネオ製薬工業株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel. (03) 3400-3768 (代) Fax. (03) 3499-0613

お問い合わせ ☎ 0120-07-3768

LTP0709

ResiCem

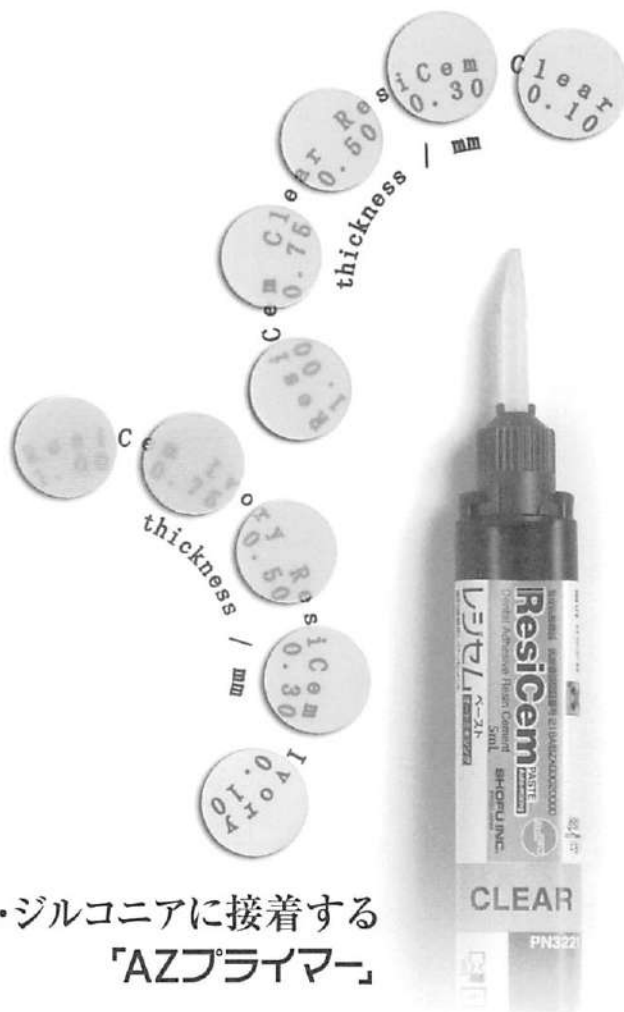


Esthetic Resin Cement System

ResiCem レジセム

Dental Adhesive Resin Cement

審美修復用レジンセメントシステム
(デュアルキュア型)



透明だから美しい
垂れにくく、薄く拡がる
レジンセメント



アルミナ・ジルコニアに接着する
「AZプライマー」

包装・価格



管理医療機器
医療機器認証番号 218AIBZX00020000
レジセム ベーシックセット 1セット ¥19,000
歯科接着用レジンセメント
レジセム ペースト オートミキシング(クリア) 5mL 2本、
プライマー-A 3.0mL 1本、プライマー-B 2.5mL 1本、他一式



【別売品】

管理医療機器
医療機器認証番号 218AIBZX00018000
AZプライマー
歯科セラミックス用接着材料
5mL 1本¥8,000

管理医療機器
医療機器認証番号 218AIBZX00018000
松風ボーセレンプライマー
歯科セラミックス用接着材料
5mL 1本¥5,000

管理医療機器 21400BZZ00224000
メタルリンク
歯科金属用接着材料
5mL 1本¥5,000

価格は2007年5月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。



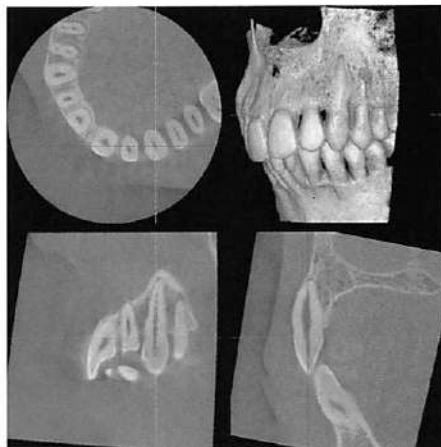
世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)299-2332/名古屋(052)709-7688/大阪(06)6252-8141/福岡(092)472-7595

<http://www.shofu.co.jp>



3DX FPD – Full Digital System 三次元デジタル時代、はじまる。

3DX MULTI-IMAGE MICRO CT FPD

スリーディーエックス マルチイメージ マイクロCT

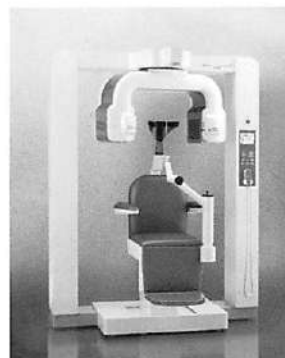
新世代のデジタルX線センサー

「フラットパネルディテクタ (FPD)」搭載。

少ない線量で高品質な三次元画像を提供します。

インプラント、根尖病巣、顎関節、埋伏歯
などの幅広い精査、診断が可能。

- 切替可能な撮像領域
Φ40×H40mm・Φ60×H60mm
- 撮像領域が大きくても
高解像度を維持
ボクセルサイズ0.125mm
解像度2.0lp/mm
- 軟組織から硬組織まで描出
広いダイナミックレンジと
豊かな階調表現能力
- ワンデータビューアースフト
- ボリュームレンダリング表示
- 院内ネットワーク対応



販売名 スリーディーエックス
マルチイメージ マイクロCT
標準価格 30,000,000円
2006年1月21日現在 消費税別途
医療機器承認番号
21200BZZ00757000

発売

株式会社モリタ

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18
〒564-8650 TEL (06) 6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15
〒110-8513 TEL (03) 3834-6161

製造販売・製造

株式会社モリタ製作所

本社工場
京都府京都市伏見区東浜南町680
〒612-8533 TEL (075) 611-2141
久御山工場
京都府久世郡久御山町大字市田小学新珠城190
〒613-0022 TEL (0774) 43-7594

www.dental-plaza.com

MORITA

高品質三次元画像を詳しく説明した資料をお届けします。

ホームページで

www.dental-plaza.com/3DX

ケータイで

携帯電話のバーコード読み取り機能から
簡単にアクセスできます。
www.dental-plaza.com/3DX



